

SHARP®

液晶プロジェクター

形名

エックスジー シー エックス
XG-C60X

取扱説明書



Notevision
SLIM & COMPACT LCD PROJECTOR

このたびはシャープ液晶プロジェクターをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。……4ページ

- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともに必ず保存してください。万一、使用中にわからないことや具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。

はじめに

接続と設置のしかた

基本操作

便利な機能を使う

付録

特長

1. 高輝度コンパクト

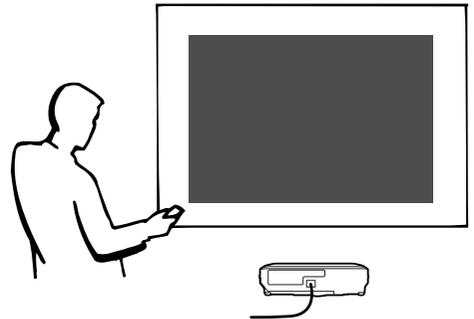
- 高開口率液晶パネルと300Wランプの組み合わせにより、明るい部屋でも使用可能な高輝度映像を実現。
- 省電力モード機能により、静音化、消費電力の削減、ランプの寿命延長を実現。

2. シンプルで簡単な操作

- 色分けされた識別しやすい端子配列と自動入力サーチ機能、そしてグラフィック・メニュー機能によりスムーズな設置を実現。
- よく使う接続部やボタンの配置を考慮した扱いやすい操作システム。
- 簡単レンズ交換
取り外しの簡単なレンズカバーと、新設計のレンズマウント構造を採用し、オプションレンズの交換を大幅に簡単にしました。

3. 幅広いコンピュータ対応

- 200Hzまでのリフレッシュレート(垂直周波数)に対応。
広範囲な同期信号に対応。
- UXGA(1600×1200)のコンピュータ出力画面で情報の欠落が少ない、**高品位圧縮**表示が可能。



4. 高画質設計

- 独自の新高画質ICの採用により、鮮やかな映像を実現。
 - 新I/P変換アルゴリズムで、動き検出I/P変換の性能向上
動き部分での斜め線やエッジ部分のギザギザ感を大幅に改善。
 - コントラスト制御ダイナミックガンマ
色相の変化を抑え、よりコントラスト感と階調再現性のある画像を実現。
 - カラーマネージメント機能
色再現性国際規格「sRGB」に対応。
赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタ6色それぞれの色に対し、明度、彩度、色相を個別に設定することが可能。
 - ノイズリダクション
リダクション効果を高めても画面のボケ感を感じさせない、ノイズリダクションを実現。
 - 新輪郭強調
斜め線になるエッジ部分の輪郭強調で起きるギザギザ感や、ちらつきを低減します。

5. システムロックと安全設計

- システムロック
キーコードが入力されなければプロジェクターが機能しないようにする機能です。
- **Notevision Lock Down**
Notevision Lock Down(天井取付部分のボルト)が金属製の光学機械と組み合わせられています。強い力がかかっても内部のナットが落ちないようにしており、プロジェクターは従来に比べてより堅牢に設置されるため、盗難防止と安全の両方の面において効果的です。

もくじ

はじめに

	ページ
特長	2
もくじ	3
安全に正しくお使いいただくために	4
使用上のご注意	8
各部のなまえ	10
本体	10
本体(後面)	11
リモコン(前面)	12
リモコン(上側)	12
リモコンの使いかた	13
リモコンの使用範囲	13
乾電池の入れかた	13
付属品を確認する	14

接続と設置のしかた

接続のしかた	16
接続する前に	16
接続例	16
電源コードの接続	17
コンピュータを接続する	17
ビデオ機器を接続する	19
アンプと接続する	21
プロジェクターをコンピュータで制御する	22
モニターを接続する	23
リモコンを接続して使う	23
リモコンのワイヤレスプレゼンテーション機能を使う	24
設置のしかた	25
アジャスターの使いかた	25
レンズ調整	26
スクリーンを設置する	27
画面サイズと投射距離	28
反転映像を投射するとき	32

基本操作

ボタンで設定	
投射のしかた	34
基本的な操作	34
画面表示言語を選ぶ	36
電源を切る(待機状態にする)	37
画面の台形歪みを補正する(キーストーン補正)	38
メニューで設定	
メニュー表示内容一覧	40
メニューの使いかた	42
メニューの選択(調整)	42
メニューの選択(設定)	44
映像を調整する	46
見やすい映像に調整する	46
信号の種類を設定する	47
プログレッシブモードを設定する	47
コンピュータの画面を調整する	48
コンピュータの映像を調整する	48
画面調整の内容を登録する	48
登録した調整内容を呼び出す	49
特殊モードを設定する	49
入力信号情報を表示する	49
自動同期調整	50
自動同期調整時の画面表示機能	50

便利な機能を使う

画像表示モードを選ぶ	52
静止画機能	54
映像をデジタル拡大する	55
ガンマ補正	56
2つの画像を表示する(P in P)	57

ページ

ブラックスクリーン機能を使用する	58
休憩時間を表示する	59
休憩時間の表示と設定	59
休憩時間表示を解除したいとき	59
カラーマネージメント機能(C.M.S.)	60
カラー設定モードを選ぶ	60
対象の色を選ぶ	60
対象色の明るさを設定する	61
対象色の彩度を設定する	61
対象色の色相を設定する	61
ユーザー設定で調整や設定した色の設定をリセットする	62
ユーザー設定で設定した6色それぞれの設定値を確認する	62
音声出力のタイプを設定する	63
内蔵スピーカーのオン/オフを設定する	63
自動入力サーチを設定する	64
ドットのちらつきやノイズを軽減する	65
画面表示を設定する	65
再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する	66
投映画像を取り込む(カスタムイメージキャプチャ)	67
画像を取り込む	67
取り込んだ画像を消去する	67
無信号時に表示する画面を設定する	68
オープニング画面を選ぶ	68
省電力モードを設定する	69
パワーセーブ機能	69
モニター出力/RS-232Cオフ機能	69
無信号時自動電源オフ機能	70
ランプの使用可能な残り時間を表示する(パーセント表示)	70
映像の左右反転/上下反転のしかた	71
プロジェクターの操作ボタンをロックする	71
キーロックの設定	71
キーロックの解除のしかた	72
RS-232Cの通信速度を設定する	72
パスワードを設定する	73
パスワードを入力する	73
パスワードを変更する	74
パスワードを忘れてしまったら	74
システムロックを設定する	75
キーコードを入力する	75
キーコードを変更する	76
設定内容を初期化する	77
調整内容を一覧表示する	78

付録

PDF取扱説明書の見かた(Windows, Macintosh)	80
お手入れのしかた	81
エアフィルターのお手入れ	82
お知らせ表示について	84
ランプについて	86
ランプについて	86
ランプ使用上のご注意	86
ランプを交換する	86
ランプ交換ユニットの取り外しと取り付け	87
ランプ残存率(%)をリセットする	88
本体のコネクタのピン配置	89
(RS-232C)仕様とコマンドの設定	90
ワイヤードリモコン入力端子の仕様	93
RGB入力信号(推奨信号)について	94
故障かな?と思ったら	95
アフターサービスについて	97
お客様ご相談窓口のご案内	98
仕様	99
寸法図	100
用語集	102
索引	103

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

警告

煙が出ている、変なおいや音がするなど
異常状態のときは電源プラグを抜く



- 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源を切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。

キャビネットは絶対にあけない



- この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

- サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあります。万一、さわると危険です。



- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

警告

表示された電源電圧で使用する



- 表示された電源電圧 (交流100～240ボルト) 以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

プロジェクターを落としたときは



- この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

レンズをのぞかない



- 投映中にレンズをのぞかないでください。眼を傷める原因となります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



高温部には触れない



- 投映中は、排気孔、ランプ交換ユニットカバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。



不安定な場所に置かない



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

天井へ取り付けるときは



- この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

内部にもものや水などを入れない



- この機器の開口部 (通風孔など) から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 異物や水がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない



- こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



- 感電の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

⚠ 警告

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着した状態では使用しない



- ほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままご使用すると、火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない



- 火災・感電の原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

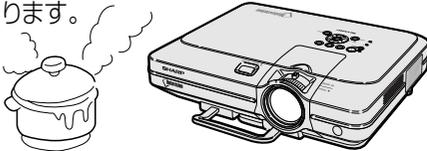
⚠ 注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となります。



重いものを置かない



- この機器の上に重いものを置かないでください。



- バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。
- この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。

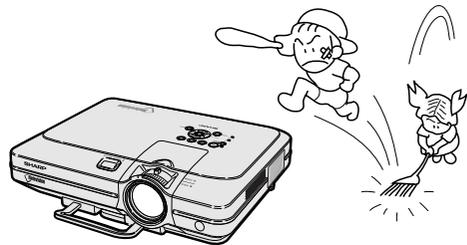
通風孔をふさがない



- この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから20cm以上はなして設置してください。

- 次のような使い方はしないでください。この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。



置台に据えつけるときは



- キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

⚠️ 注意

移動させるときは必ず接続線をはずす	電源コードを熱器具に近づけない
 <ul style="list-style-type: none"> ● 移動させる場合は、機器本体の電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない	旅行などで長時間で使用にならないときは電源プラグを抜く
 <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない	お手入れのときは電源プラグを抜く
 <ul style="list-style-type: none"> ● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む	3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する
 <ul style="list-style-type: none"> ● 差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。  <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグは、根元まで差し込んでみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。
指定以外の電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない	電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意する
 <ul style="list-style-type: none"> ● 機器で指定されていない電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 電池を機器内に挿入する場合極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。間違えますと電池の破れつ、液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

設置するときは次の点にご注意ください

設置時のご注意

ホコリ、湿気の少ないところへ

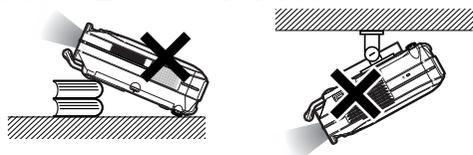
- 湿気やほこりの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが附着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。

直射日光や、照明の光はさけてください

- スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

プロジェクターは12°以上傾けないようにしてください

- 設置範囲は±12°までです。



高温、低温の場所はさけてください

- 使用温度範囲 5℃～35℃
- 保存温度範囲 -20℃～60℃

排気孔や吸気孔をふさがないように

- 排気孔側に壁やモノがある場合は、20cm以上スキ間をあけて設置してください。
- 排気孔や吸気孔をふさがないように設置してください。
- 冷却ファンがふさがれると、保護回路が働き自動的に電源が切れます。これは故障ではありません。プロジェクターの電源コードをコンセントから抜き、10分以上そのままにしてください。その後排気孔や吸気孔をふさがない位置でもう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。プロジェクターは正常な状態に戻ります。

衝撃を与えないでください

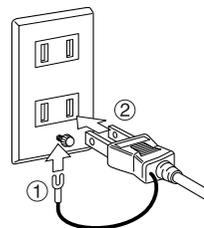
- レンズには、特にご注意ください。表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



使用時のご注意

電源コードの接続について

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。



- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。
- 電源コードに付いているフェライトコアは電気用品安全法に適合するために必要なものですので、絶対に取り外さないでください。

目をときどき休めてください

- 連続して長い時間画面を見ていると、目を疲れさせます。ときどき目を休めてください。

接続機器について

- プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。
- 接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。

持ち運びのご注意

- 持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、移動させる場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上行ってください。

- ・この製品は、クラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

温度モニター機能



温度

■ 設置状況や通風孔の目づまり等によりプロジェクター内部の温度が高温になると、「温度」マークが画面の左下で点滅します。さらに温度が上昇し続けると、光源(ランプ)が消灯し、プロジェクターの温度モニター表示(ランプ)が点滅し、90秒間冷却した後、電源が待機状態になります。詳細については 84 ページの「お知らせ表示について」をご覧ください。

お知らせ

- 冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変わることがありますが、ファンの速さを変えているため、故障ではありません。
- 投映中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

海外でご使用になるときは

■ お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、その国に合った電源コード(別売品)をご使用ください。

ランプ交換に関する注意

■ 「ランプについて」(86 ページ)もご覧ください。

■ 廃棄の方法について

このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ(HIDランプ)は、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

ランプ交換ユニットに関する注意

■ ランプが破裂するとガラス破片だけがをすおそれがあります。ランプが破裂した場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

クイックガイドラベル

■ 同梱されているクイックガイドラベルは本体に貼りつけてください。ただし、ラベルの特性上、右図で表示されている場所(Notevisionロゴの真上)以外へは貼らないでください。

クイックガイドラベル



- Microsoft、Windows、PowerPoint は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国々における登録商標です。
- PC/AT は米国 IBM 社の登録商標です。
- Macintosh はアップルコンピュータ・インクの米国および、その他の国における登録商標です。
- その他の製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- 本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアの一部を利用しております。

知的財産権

重要

製品を使用する前にお読みください。

本製品には Lineo, Inc. (以下「Lineo」という)がシャープ株式会社にライセンス供与したソフトウェアが含まれています。本ソフトウェアは著作権法、国際著作権条約及びその他知的財産法及び協定により保護されています。Lineo 及びそのサプライヤーが、本ソフトウェアのソフトウェア・コンポーネント及びそのコピー一切の所有権及び知的財産権(著作権を含む)を保持します。

但し、本ソフトウェアの一部コンポーネントは Lineo が支援している、GNU ジェネラル・パブリック・ライセンス(バージョン 2)に従いライセンス付与されているコンポーネントです。GNU ジェネラル・パブリック・ライセンスのコピーは <http://www.fsf.org/copyleft/gpl.html> にて入手できます。Lineo ではそれに従いライセンス付与されているコンポーネントのソースコードを提供しますので、希望者は OEM、embedix-support@lineo.com までご連絡下さい。

OS : Embedix(Embedded Linux) Embedix(TM)は、米国 Lineo, Inc. の登録商標です。

各部のなまえ

■の中の数字は、この操作マニュアルに説明がある主なページの番号です。

本体

ON(電源入)ボタン
電源を入れます。

電源表示
待機状態では赤色で点灯します。電源を入ると緑色で点灯します。

STANDBY(スタンバイ)ボタン
電源を待機状態にします。

ランプ表示
通常は緑色で点灯します。赤色で点灯したときはランプ交換が必要です。

温度モニター表示
内部温度が高温になると赤色で点灯します。

UNDO(戻す)ボタン
1つ前の操作の状態に戻したり、初期設定に戻します。

ENTER(決定)ボタン
メニューで選択調整した項目を決定します。

HEIGHT ADJUST(高さ調整)ボタン

アジャスター

キャリングハンドル

34

34

37

84

84

39

42

25

25

25

35

38

50

42

35

42

INPUT(入力切換)ボタン
入力モード(入力1、2、3、4)を切り換えます。

KEYSTONE(キーストーン補正)ボタン
キーストーン補正とデジタルシフトを設定します。

AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

カーソルボタン(▼▲▶▶)
メニュー項目の選択に使用します。

VOLUME(音量)ボタン
スピーカーからの音量を調整します。

MENU(メニュー)ボタン
各種設定・調整用の画面を表示します。

26 **ズームレバー**

26 **フォーカスリング**

81 **吸気孔**

13 **リモコン受信部**

82 **エアフィルター/冷却ファン(プロジェクターの底部に吸気孔)**

レンズキャップの取り付け
レンズキャップの2つのボタンを押してレンズに当てます。ボタンを離して取り付けます。

レンズキャップの取り外し
レンズキャップの2つのボタンを押して、レンズから外します。

画面表示やイラストは、説明のために簡略化してありますので、実際とは多少異なります。

本体（後面）

RS-232C端子 22
コンピュータを使ってプロジェクターを制御します。

AUDIO OUTPUT（音声出力）端子 21
INPUT（入力）1、2、3、4で共有の音声出力用の端子です。

INPUT（入力）1端子 17
コンピュータRGBとコンポーネント（色差）信号用の端子です。

OUTPUT（出力）（INPUT 1、2）端子 23
INPUT（入力）1と2で共有の、コンピュータRGBとコンポーネント（色差）信号の出力用の端子です。

INPUT（入力）2端子 17
コンピュータRGBとコンポーネント（色差）信号用の端子です。

AUDIO INPUT（音声入力）1、2端子 17
INPUT（入力）1と2で共有の音声入力用の端子です。

ワイヤードリモコン入力端子 23
リモコン信号が届かない場所で使用する場合には、リモコンのワイヤードリモコン端子と接続します。

INPUT（入力）3端子 19
ビデオ機器などと接続するときに使用します。

AUDIO（L/R）INPUT（音声入力）3、4端子 19
INPUT（入力）3と4で共有の音声入力用の端子です。

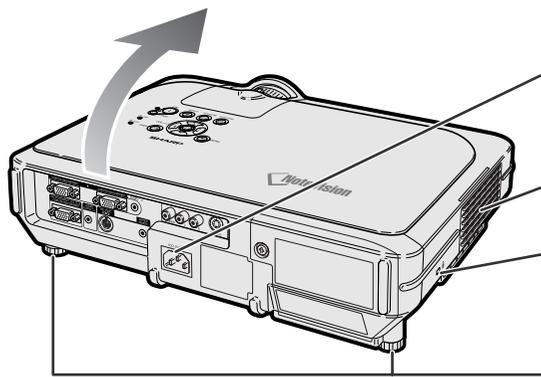
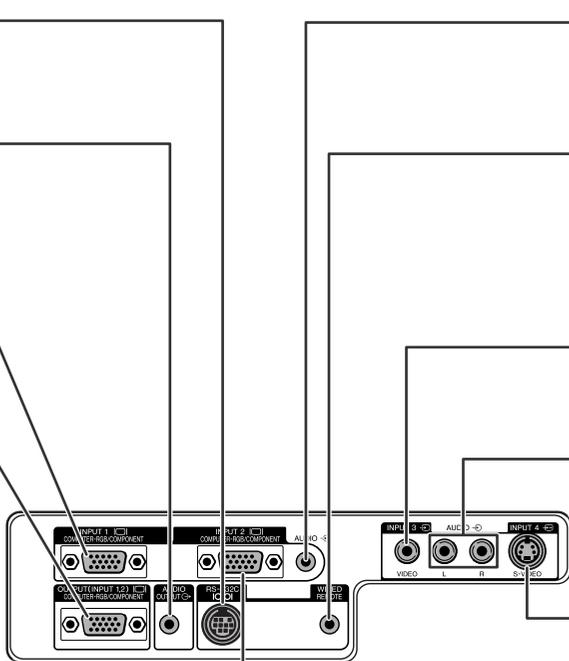
INPUT（入力）4端子 19
S端子付きビデオ機器などと接続するときに使用します。

AC電源ソケット 17
付属の電源コードを接続します。

排気孔 81

盗難防止用コネクター
(Kensington Security Standard connector)

後部アジャスター 25



盗難防止用コネクターについて

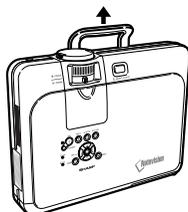
- 市販の盗難防止用ケーブル（Kensington社製）などを接続することができます。



■盗難防止用コネクターは、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。

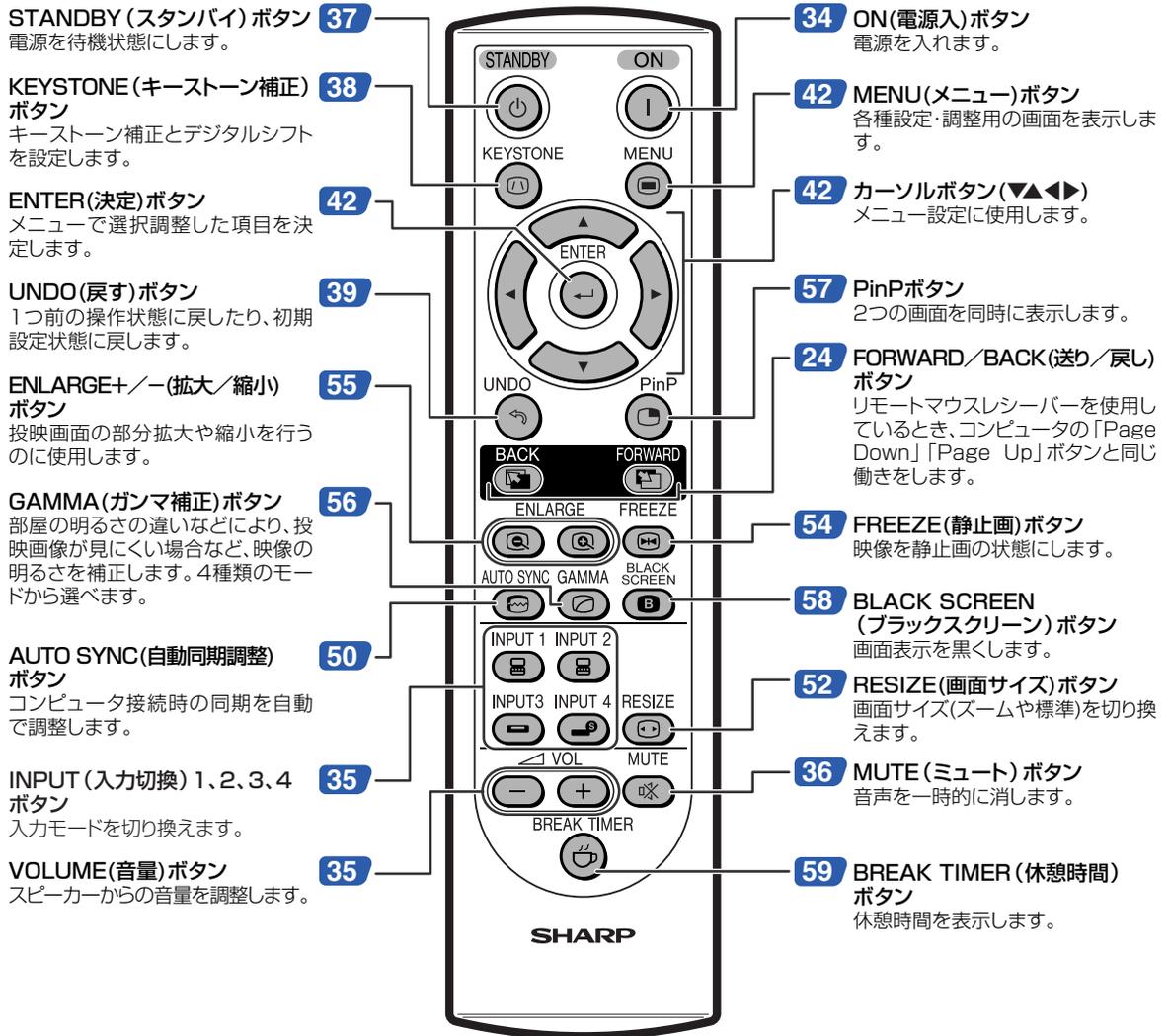
プロジェクターの持ち運び

プロジェクターを持ち運ぶ前に、キャリングハンドルを完全に伸ばしてください。

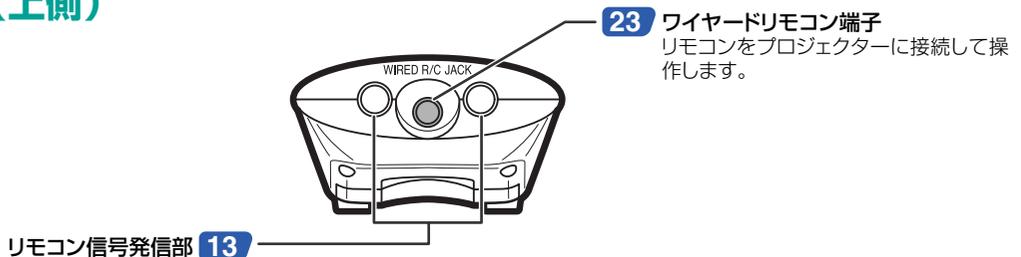


各部のなまえ (つづき)

リモコン (前面)



リモコン (上側)



リモコンの使いかた

リモコンの使用範囲

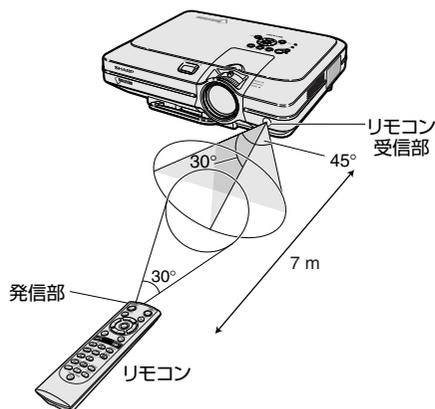
■リモコンの使用範囲は図のとおりです。

メモ

- リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

リモコン使用上のご注意

- 衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。
- 蛍光灯の下では、リモコンの働きが悪くなる場合があります。そのようなときは、本体を蛍光灯から離してご使用ください。



乾電池の入れかた

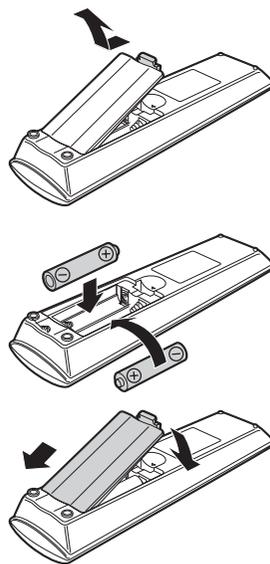
乾電池はこの取扱説明書といっしょに入っています。
〔単3形2本〕

1 カバーのつまみを押して、矢印の方向に開ける

2 付属の乾電池を入れる

- プラス \oplus とマイナス \ominus を、表示のとおり正しく入れてください。

3 カバー下側の出っ張りをはめ込み、パチンとはまるまで下げる



乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

⚠ 注意

- 乾電池のプラス \oplus とマイナス \ominus を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れもありますのですぐ取り出してください。
また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。

付属品を確認する

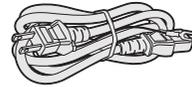
付属品



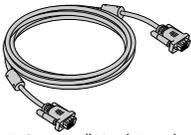
リモコン



単3形乾電池 (2本)



電源コード (1.8m)



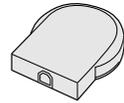
RGBケーブル (3m)



USBケーブル (1m)



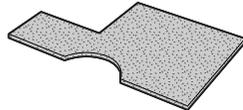
DIN-D-sub RS-232C
アダプター (15cm)



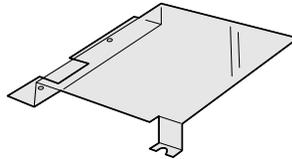
リモートマウス
レシーバー



レンズキャップ
(装着出荷)



交換用エアフィルター



ダストカバー

- CD-ROM…2枚
 - Sharp Advanced Presentation Software (SAPS)/Sharp Advanced Presentation Software PDF取扱説明書
 - XG-C60X PDF取扱説明書
- 取扱説明書 (本書)
- 保証書
- 使用許諾契約書
- Sharp Advanced Presentation Software インストールガイド
- クイックガイドラベル

別売品のご案内

■ 3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル (3m) AN-C3CP

- コンピュータ側の接続端子の変更等により、そのままでは接続できない場合がありますので、コンピュータの仕様をご確認ください。変換コネクタ (市販品) が必要な場合があります。

接続と設置のしかた



接続のしかた

接続する前に

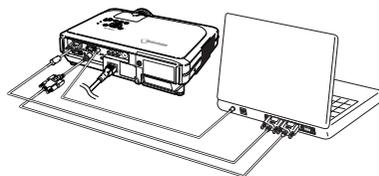


- 接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。
コンピュータと接続した場合、コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。
- 接続の際は、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。

接続例

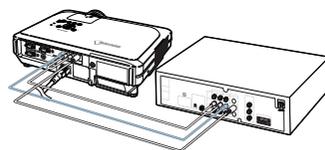
コンピュータとの接続

- RGBケーブルとコンピュータ音声ケーブル(φ3.5ステレオミニジャック市販品)を使って接続します。
くわしくは [17](#) ページをご覧ください。
- DIN-D-sub RS-232CアダプターとRS-232Cケーブルクロス・メス・メスタイプ(市販品)を使って接続します。くわしくは [22](#) ページをご覧ください。



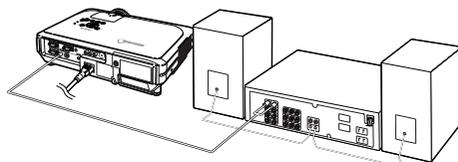
ビデオ、オーディオ機器との接続

- ビデオなどと接続します。
くわしくは [19](#) ページをご覧ください。
- DVDやBSデジタルチューナーなどコンポーネント(色差)出力端子付機器と接続します。くわしくは [20](#) ページをご覧ください。



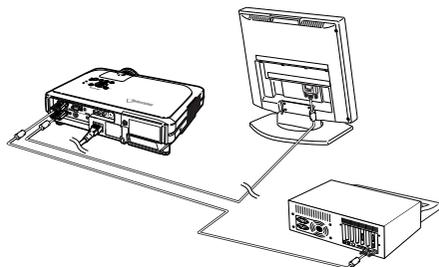
アンプ、オーディオ機器との接続

- 音声ケーブル(市販品)を使って接続します。くわしくは [21](#) ページをご覧ください。



モニターとの接続

- RGBケーブルを使って接続します。くわしくは [23](#) ページをご覧ください。
- コンピュータRGBケーブル(市販品)を使って接続します。くわしくは [23](#) ページをご覧ください。



電源コードの接続

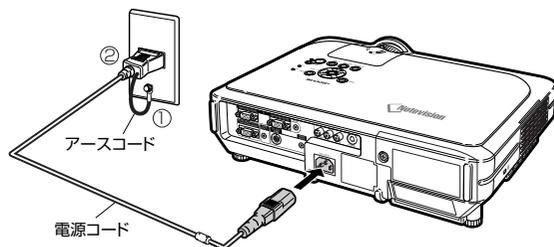
1 プロジェクターの後面にあるAC電源ソケットに電源コードを接続する

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。
- 電源コードに付いているフェライトコアは電気用品安全法に適合するために必要なものですので、絶対に取り外さないでください。

付属品



電源コード (1.8m)



コンピュータを接続する

RGBケーブルを使って接続する

1 付属のRGBケーブルを使ってプロジェクターとコンピュータを接続する

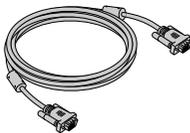
- ネジをしめて確実に接続してください。

2 音声を入力する場合は、コンピュータ音声ケーブル (市販品) を使ってプロジェクターとコンピュータを接続する

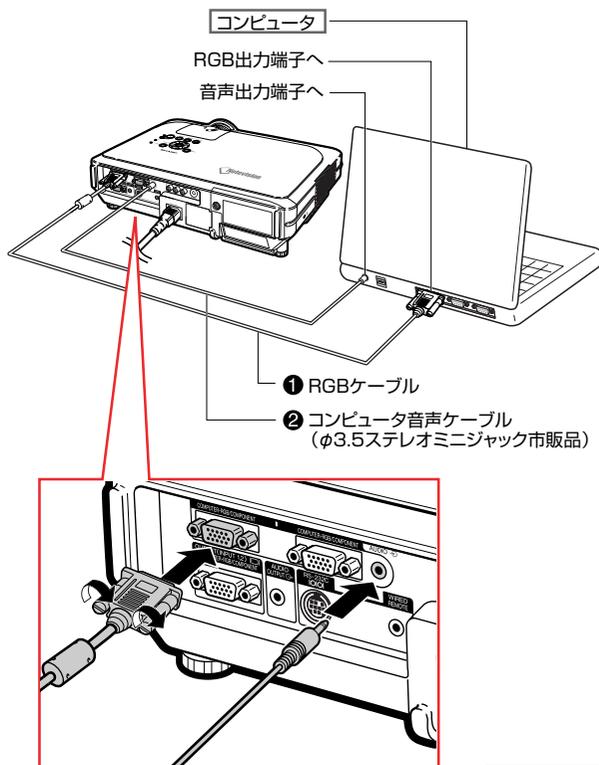
メモ

- 対応しているコンピュータの表示モードについては、94ページ「RGB入力信号 (推奨信号) について」をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本機の機能の一部が使用できない場合があります。
- コンピュータを接続したときは、メニューの「入力信号タイプ」を「RGB入力」に設定してください。(47ページ)
- Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプターが必要になる場合があります。販売店、またはもよりのシャープお客様相談センター (98ページ) へお問い合わせください。
- お使いのコンピュータによっては、出力信号を外部出力に切り換えないと映像が表示されない場合があります。外部出力への切り換え方法についてはコンピュータのユーザーズマニュアルをご覧ください。

付属品



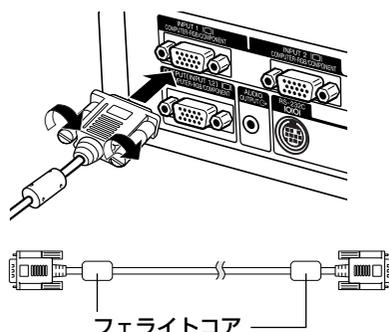
RGBケーブル (3m)



接続のしかた(つづき)

固定ネジ付ケーブルの取り扱いについて

- 固定ネジ付ケーブルが端子の形状に合っていることを確かめて差し込みます。両端のネジでしっかりと固定してください。
- RGBケーブルについているフェライトコアは、電気用品安全法に適合するために必要なものですので、絶対に取り外さないでください。



「プラグ&プレイ」機能(15ピン端子に接続する)

- 本機はVESA-standard DDC 1/DDC 2Bに準拠しています。本機とVESA DDC準拠のコンピュータでは、設定内容を送受信(通信)しますので、早く簡単にセットアップすることができます。
- 「プラグ&プレイ」機能を使用する前には、必ずプロジェクターの電源を先に入れてから、接続したコンピュータの電源を入れてください。



メモ

- 本機のDDC プラグ&プレイ機能はVESA DDC互換コンピュータを接続した場合のみ操作できます。

ビデオ機器を接続する

ビデオ機器を市販のS映像ケーブルや映像ケーブル、音声ケーブルを使って接続する

ビデオなどを市販のS映像ケーブルや映像ケーブル、音声ケーブルを使ってINPUT (入力) 3端子、INPUT (入力) 4端子、AUDIO (音声) 端子に接続します。

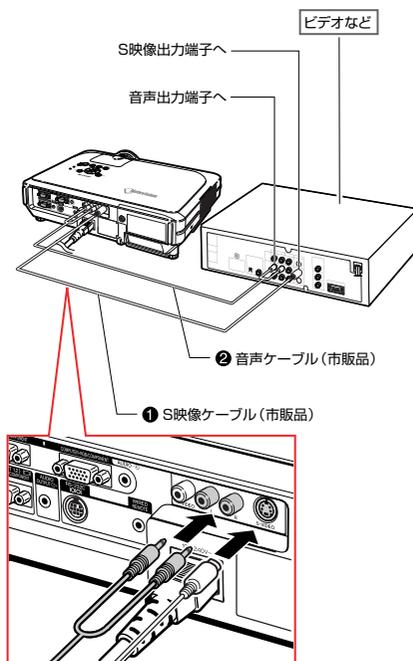
1 市販のS映像ケーブルまたは映像ケーブルを使って、プロジェクターとビデオ機器を接続する

2 音声ケーブル (市販品) を使ってプロジェクターとビデオ機器を接続する

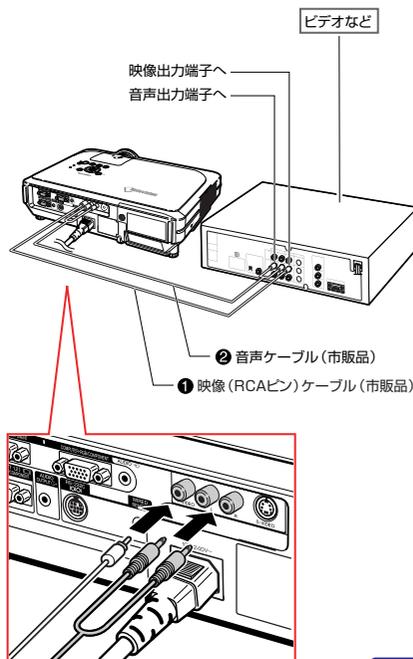
メモ

- S映像出力端子付きのビデオ機器と接続するときは、より高画質な画像を投射するため、プロジェクターのINPUT (入力) 4端子 (S映像入力端子) とビデオ機器のS映像出力端子を市販のS映像ケーブルで接続することをおすすめします。

S映像ケーブルをご使用の場合



映像ケーブルをご使用の場合



接続のしかた(つづき)

コンポーネント(色差)出力端子付きビデオ機器と接続する

DVDやBSデジタルチューナーなど、コンポーネント(色差)出力端子のある機器をINPUT(入力)1または2端子に接続するときは、3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブルを使い接続します。

1 3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル(別売品)を使ってプロジェクターとビデオ機器を接続する

2 φ3.5ステレオミニジャック/RCA音声ケーブル(市販品)を使ってプロジェクターとビデオ機器を接続する

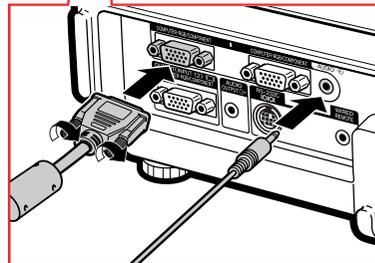
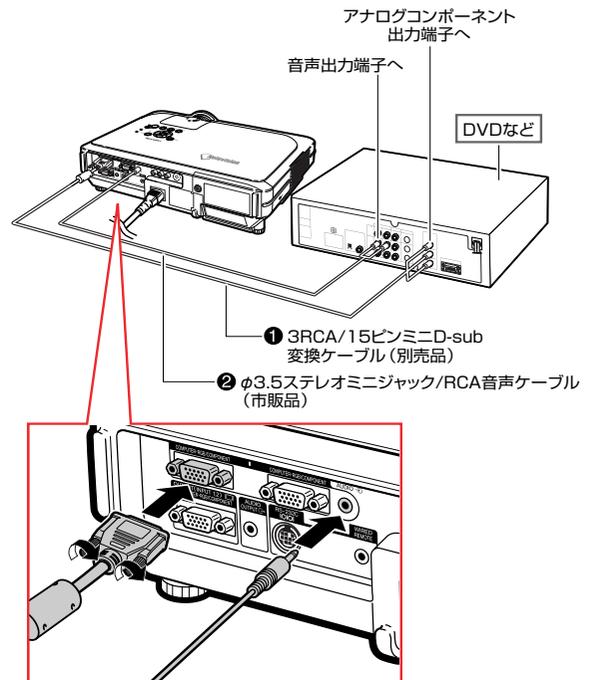
メモ

- この方法で接続したときは、メニューの「入力信号タイプ」を「色差入力」に設定してください。(47ページ)
- 525Pの信号を入力したときは、「特殊モード」の解像度を「480P」に設定してください。(49ページ)
- 音声ケーブル(市販品)は、φ3.5ステレオミニジャック/RCA音声ケーブルをご用意ください。

別売品



3RCA/15ピンミニD-sub
変換ケーブル
形名: AN-C3CP (3m)



アンプと接続する

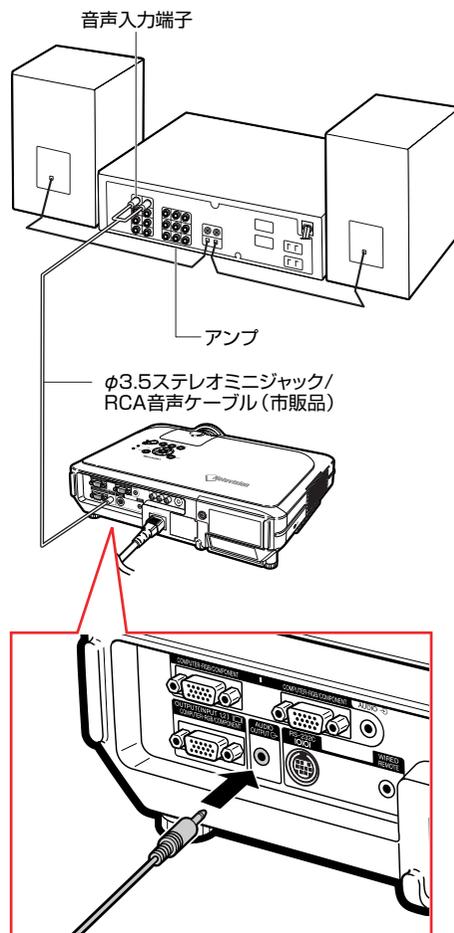
アンプや他のオーディオ機器と接続する

アンプや他のオーディオ機器をAUDIO OUTPUT (音声出力) 端子に接続するときは、φ3.5ステレオミニジャック/RCA音声ケーブルを使います。

1 φ3.5ステレオミニジャック/RCA音声ケーブル(市販品)を使って、プロジェクターとアンプを接続する

お知らせ

- アンプや他のオーディオ機器と接続するときは、プロジェクターと接続する機器両方の電源を切って接続してください。
- AUDIO OUTPUT (音声出力端子) は、AUDIO INPUT (音声入力) 1、2端子とAUDIO (L/R) INPUT (音声入力) 3、4端子に接続された機器の音声を出力する端子です。
- 出力される音声は、選ばれた入力モードの音声が出力されます。
- 音声を出力する際の方法は、本機の音量に連動して音声出力が可変する音声出力可変と音声出力固定の2つの方法があります。くわしくは63ページをご覧ください。



プロジェクターをコンピュータで制御する

コンピュータをDIN-D-sub RS-232CアダプターとRS-232Cケーブルを使って接続する

RS-232Cケーブル クロス・メス・メスタイプ(市販品)を使って、プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル(RS-232C)ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作したり、プロジェクターの状態をチェックすることができます。くわしくは90ページをご覧ください。

1 付属のDIN-D-sub RS-232CアダプターをRS-232Cケーブル(市販品)に接続する

2 上記のケーブルを使って、プロジェクターとコンピュータを接続する

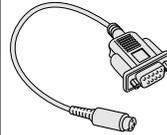
メモ

- RS-232Cの機能は、お使いのコンピュータポートが正しく設定されていないと機能しない場合があります。くわしくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- RS-232Cケーブルの接続については、89ページもご覧ください。

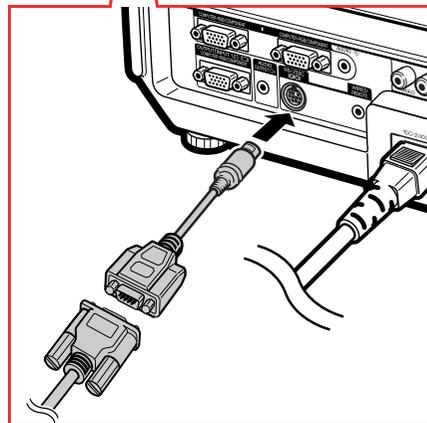
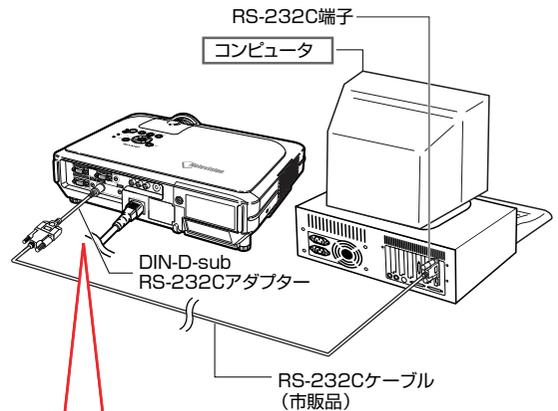
お知らせ

- コンピュータ側のシリアル(RS-232C)ポート以外には接続しないでください。コンピュータまたは、プロジェクターが破損する恐れがあります。
- コンピュータの電源が入っているときにRS-232Cケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータの故障の原因になることがあります。

付属品



Din-D-sub RS-232Cアダプター
(15cm)



モニターを接続する

プロジェクターとモニターの両方で映像を見る

RGBケーブルを2本使って、コンピュータの画像をプロジェクターと別のモニターで表示させることができます。RGBケーブル1本はプロジェクターに付属しています。プロジェクターとモニターを接続するには、RGBケーブルをもう1本購入する必要があります。

1 RGBケーブル（1本は付属品、もう1本は市販品）を使って、プロジェクターをコンピュータとモニターに接続する

2 メニュー「オプション1」の「省電力モード」で「モニター/RS232C」を「ON」に設定する（69ページ）

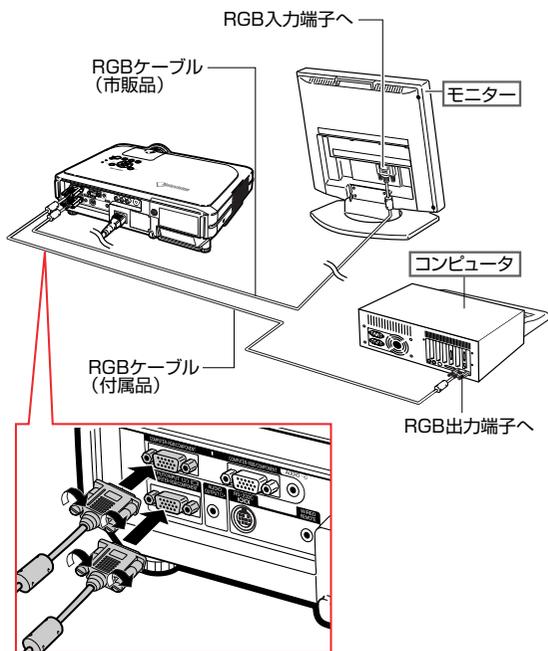
メモ

- アナログRGB信号およびコンポーネント（色差）信号をモニター出力することができます。

付属品



RGBケーブル（3m）



接続と設置のしかた

リモコンを接続して使う

リモコンをプロジェクターに接続する

プロジェクターの距離や設置方法（背後から投射するなど）により、リモコンの信号が届かない場合は、別売のリモコンケーブル「AN-RC30W（30m）」または、φ3.5ステレオミニジャックケーブル「QCNW-4870CEZZ」を使ってリモコン上面にあるワイヤードリモコン端子と、プロジェクターの後面にあるワイヤードリモコン入力端子を接続してご使用ください。

メモ

- リモコンがプロジェクターに接続されているときは、FORWARD（送り）、BACK（戻し）ボタンを使用したプレゼンテーション機能（24ページ）は使用できません。この機能を使用するときは、リモコンからケーブルを外してください。

リモコンケーブル

形名：AN-RC30W（30m）

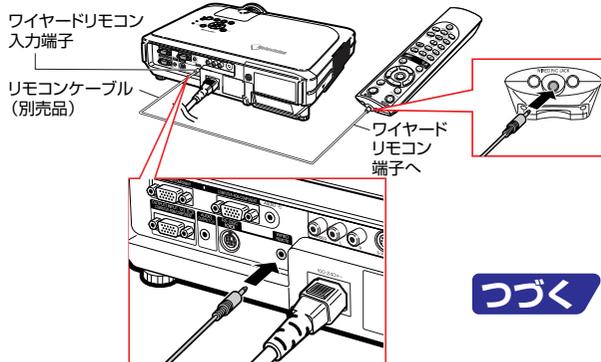


別売品

φ3.5ステレオミニジャックケーブル

部品コード：QCNW-4870CEZZ（3m）

流通コード：006 512 0792



接続のしかた(つづき)

リモコンのワイヤレスプレゼンテーション機能を使う

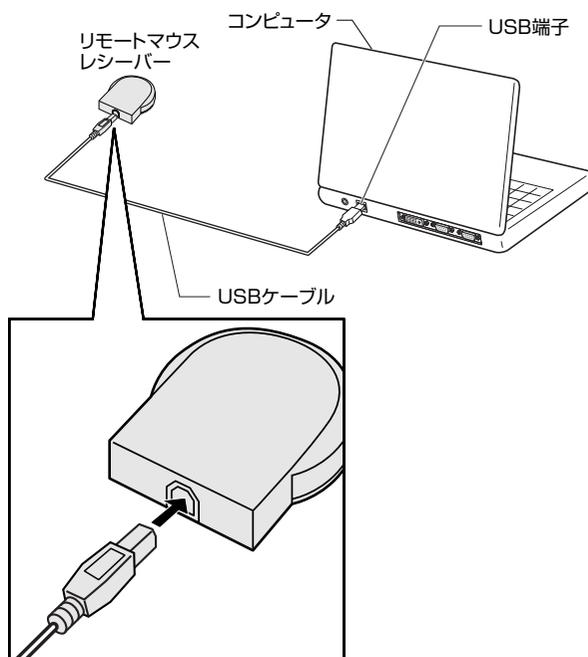
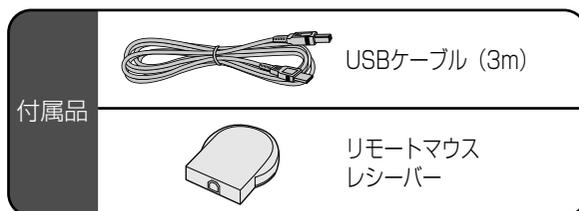
コンピュータにリモートレシーバーを接続すると、ワイヤレスプレゼンテーション機能が使用できます。リモコンのBACK(戻し)、FORWARD(送り)ボタンがコンピュータのキーボードの「Page Up」、「Page Down」ボタンと同じ働きをするので、プレゼンテーションソフト(PowerPoint等)の画面の送り/戻しをリモコンで行うことができます。

ワイヤレスプレゼンテーション機能を使う

1 USBケーブル(付属品)を使って、プロジェクターとリモートマウスレシーバーを接続する

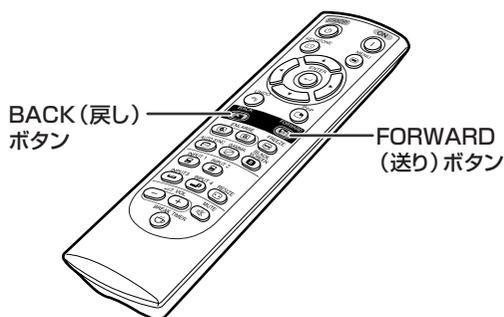
メモ

- この機能はMicrosoft Windows OSとMac OSでのみ働きます。但しOSが次のバージョンの場合は動きません。
- OSがWindows95以前、Windows NT4.0以前または、Mac OS 8.5以前の場合は、USBをサポートしていないため使用できません。



2 パソコンでプレゼンテーションソフトを使用する際には、 または を押す

-  を押すと、Page Upします。
-  ボタンを押すと、Page Downします。



設置のしかた

アジャスターの使いかた

スクリーンに傾斜があるときや、設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを微調整することができます。

スクリーンよりプロジェクターが低いときは、傾けることで投映画面の位置を高くすることができます。

1 HEIGHT ADJUST (高さ調整) ボタンを押す

- アジャスターが出ます。

2 ① HEIGHT ADJUST (高さ調整) ボタンを押したまま設置面に押し下げ高さを調整する

- 設置位置から12°まで角度調整できます。

② 希望の高さになったところで、HEIGHT ADJUST (高さ調整) ボタンから指を離す。

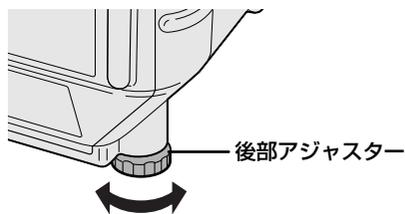
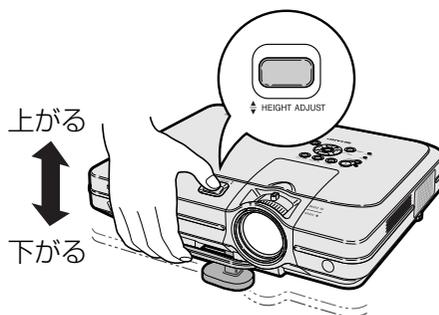
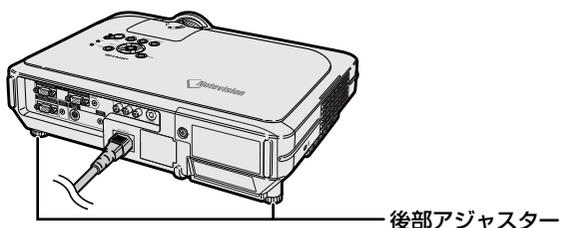
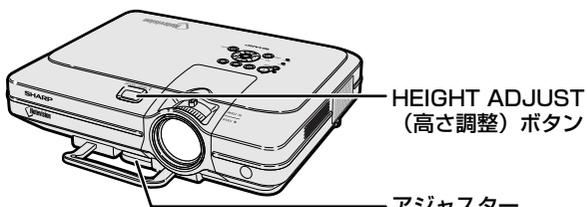
3 プロジェクターの後部アジャスターをまわして、微調整する

メモ

- 元の位置に戻すときには、プロジェクターをしっかりと持ち、HEIGHT ADJUST (高さ調整) ボタンを押したまま静かに下げます。
- プロジェクターは標準位置から前側で約12°まで、後側で約3°まで角度調整できます。

お知らせ

- アジャスターが伸びている状態でHEIGHT ADJUST (高さ調整) ボタンを押すときは、プロジェクターをしっかりと持ってください。
- プロジェクターを上下するとき、レンズを持たないでください。
- プロジェクターを下げる際には、アジャスターとプロジェクターのすき間に指を挟まないようにご注意ください。

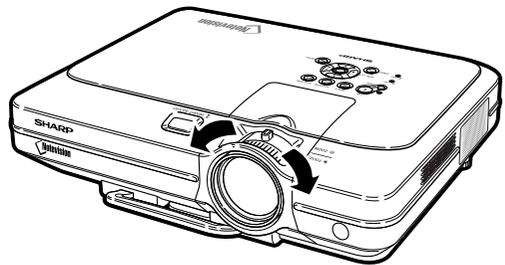
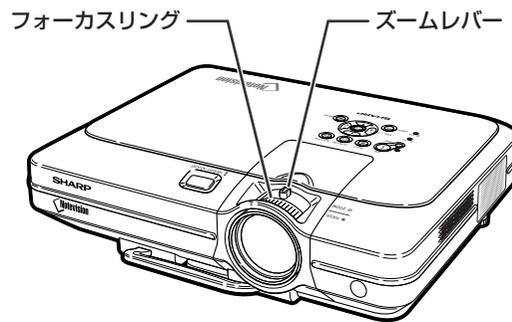


設置のしかた(つづき)

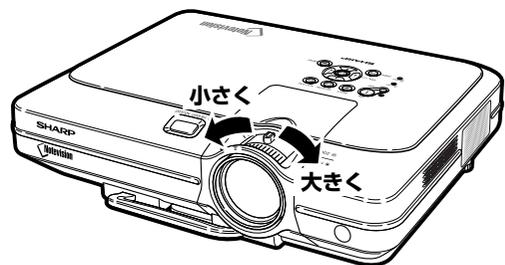
レンズ調整

フォーカス(ピント)調整やズーム操作は本体で行います。

- 1 フォーカス(ピント)は、フォーカスリングをまわして調整する



- 2 ズームは、ズームレバーを動かして操作する



スクリーンを設置する

プロジェクターを水平な状態にして(アジャスターを使わない状態)、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で最良の映像が得られます。

メモ

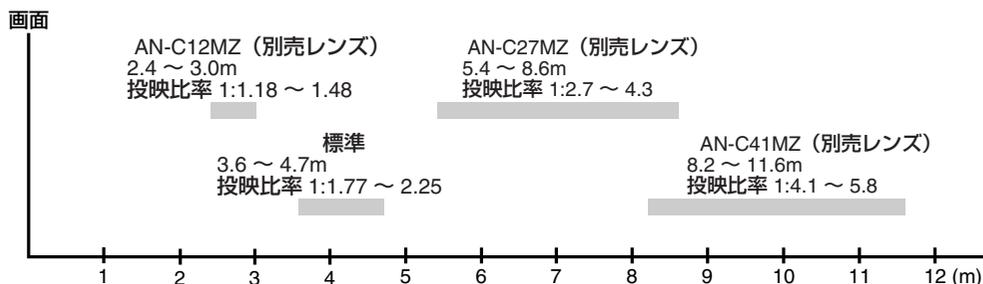
- プロジェクターのレンズがスクリーンの中心にくるように設置してください。レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になっていないと、映像が歪んでしまい、見にくくなります。
- スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。
- このプロジェクターは偏光スクリーン対応ではありません。

別売レンズについて

別売のレンズ「AN-C12MZ」、「AN-C27MZ」、「AN-C41MZ」も用意しております。別売レンズについては、販売店、またはもよりのシャープお客様相談センター(98ページ)にお問い合わせください。(レンズの取り付けや取り扱いにつきましては、レンズの取扱説明書をご覧ください。)

投映距離

■ 下のグラフは4:3標準モードの100型画面投映時のものです。



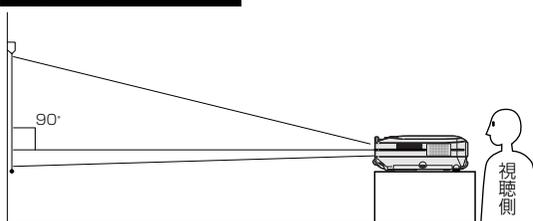
基本的な設置(前面からの投映)

■ 投映したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。(28ページ)



基本設置例

横から見たとき



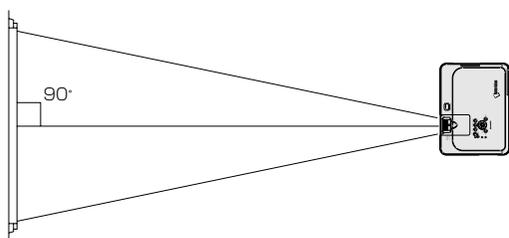
- スクリーンからプロジェクターまでの距離は、スクリーンの大きさによって変わります。

28ページ

- スクリーンの正面にプロジェクターを設置する場合は、工場出荷時の設定のままで投映できます。投映した画面の上下左右が反転している場合は、「投映方式」のサブメニューで、「フロント」に設定し直してください。

71ページ

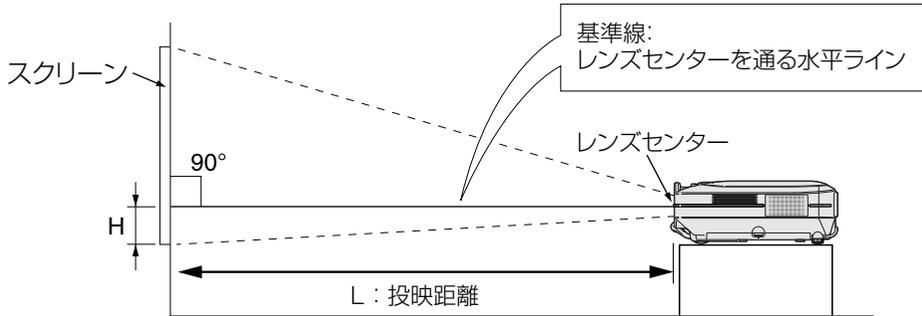
上から見たとき



- レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になるように、プロジェクターを設置してください。

設置のしかた(つづき)

画面サイズと投映距離



標準レンズ

投映比率

1:1.77~2.25

4:3ズームモード (コンピュータ入力時は、標準モードとなります。) [52](#)ページ参照

画面サイズ			投映距離 [L]		レンズセンター位置から
対角 [型]	幅 [m]	高さ [m]	L1:最長	L2:最短	画面の最下端までの距離 [H]
300	6.1	4.6	14.1 m	11.0 m	45.0 cm
200	4.1	3.0	9.4 m	7.3 m	30.0 cm
150	3.0	2.3	7.0 m	5.5 m	22.5 cm
100	2.0	1.5	4.7 m	3.6 m	15.0 cm
80	1.6	1.2	3.7 m	2.9 m	12.0 cm
70	1.4	1.1	3.3 m	2.5 m	10.5 cm
60	1.2	0.9	2.8 m	2.2 m	9.0 cm
40	0.8	0.6	1.8 m	1.4 m	6.0 cm

画面サイズ [型] と投映距離の近似式
 $L1 = 0.0472x - 0.0517$
 $L2 = 0.0367x - 0.0529$
 $H = 0.1499x - 0.0064$

x : 画面サイズ (型)
 L : 投映距離 (m)
 L1 : 最長投映距離
 L2 : 最短投映距離
 H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)

16:9スクイーズ (フル) モード

画面サイズ			投映距離 [L]		レンズセンター位置から
対角 [型]	幅 [m]	高さ [m]	L1:最長	L2:最短	画面の最下端までの距離 [H]
300	6.6	3.7	15.4 m	12.0 m	-12.7 cm
200	4.4	2.5	10.2 m	8.0 m	-8.4 cm
150	3.3	1.9	7.7 m	6.0 m	-6.3 cm
120	2.7	1.5	6.1 m	4.8 m	-5.1 cm
100	2.2	1.2	5.1 m	4.0 m	-4.2 cm
80	1.8	1.0	4.1 m	3.2 m	-3.4 cm
70	1.6	0.9	3.6 m	2.8 m	-3.0 cm
60	1.3	0.7	3.0 m	2.4 m	-2.5 cm
40	0.9	0.5	2.0 m	1.6 m	-1.7 cm

画面サイズ [型] と投映距離の近似式
 $L1 = 0.0514x - 0.0516$
 $L2 = 0.04x - 0.0523$
 $H = -0.0422x + 0.0018$

x : 画面サイズ (型)
 L : 投映距離 (m)
 L1 : 最長投映距離
 L2 : 最短投映距離
 H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)

メモ

- 上記の近似式には±3%の誤差があります。
- 表中に- (マイナス記号) がついた値はレンズの中心の距離がスクリーンの下になることを示しています。

AN-C41MZ(別売レンズ)

投映比率

1:4.1 ~ 5.8

4:3ズームモード (コンピュータ入力時は、標準モードとなります。) 52ページ参照

画面サイズ			投映距離 [L]		レンズセンター位置から
対角 [型]	幅 [m]	高さ [m]	L1:最長	L2:最短	画面の最下端までの距離 [H]
300	6.1	4.6	34.9 m	24.7 m	45.4 cm
200	4.1	3.0	23.1 m	16.4 m	30.3 cm
150	3.0	2.3	17.4 m	12.3 m	22.7 cm
100	2.0	1.5	11.6 m	8.2 m	15.1 cm
80	1.6	1.2	9.0 m	6.0 m	12.1 cm
70	1.4	1.1	8.1 m	5.8 m	10.6 cm
60	1.2	0.9	7.0 m	5.0 m	9.1 cm
40	0.8	0.6	4.7 m	3.4 m	6.0 cm

画面サイズ [型] と投映距離の近似式

$$L1 = 0.1158x + 0.0403$$

$$L2 = 0.0818x + 0.0606$$

$$H = 0.1514x - 0.0071$$

x : 画面サイズ (型)

L : 投映距離 (m)

L1 : 最長投映距離

L2 : 最短投映距離

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)

16:9スクイーズ (フル) モード

画面サイズ			投映距離 [L]		レンズセンター位置から
対角 [型]	幅 [m]	高さ [m]	L1:最長	L2:最短	画面の最下端までの距離 [H]
300	6.6	3.7	37.8 m	26.8 m	-12.8 cm
200	4.4	2.5	25.2 m	17.9 m	-8.5 cm
150	3.3	1.9	18.9 m	13.4 m	-6.4 cm
120	2.7	1.5	15.1 m	10.8 m	-5.1 cm
100	2.2	1.2	12.7 m	9.0 m	-4.3 cm
80	1.8	1.0	10.1 m	7.2 m	-3.4 cm
70	1.6	0.9	8.9 m	6.3 m	-3.0 cm
60	1.3	0.7	7.6 m	5.4 m	-2.6 cm
40	0.9	0.5	5.1 m	3.7 m	-1.7 cm

画面サイズ [型] と投映距離の近似式

$$L1 = 0.1255x + 0.0951$$

$$L2 = 0.0888x + 0.0975$$

$$H = -0.0425x + 0.001$$

x : 画面サイズ (型)

L : 投映距離 (m)

L1 : 最長投映距離

L2 : 最短投映距離

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)



メモ

- 上記の近似式には±3%の誤差があります。
- 表中に- (マイナス記号) がついた値はレンズの中心の距離がスクリーンの下になることを示しています。

設置のしかた(つづき)

AN-C27MZ(別売レンズ)

投映比率

1:2.7~4.3

4:3ズームモード (コンピュータ入力時は、標準モードとなります。) 52ページ参照

画面サイズ			投映距離 [L]		レンズセンター位置から
対角 [型]	幅 [m]	高さ [m]	L1:最長	L2:最短	画面の最下端までの距離 [H]
300	6.1	4.6	26.0 m	16.5 m	45.7 cm
200	4.1	3.0	17.3 m	11.0 m	30.4 cm
150	3.0	2.3	12.9 m	8.2 m	22.8 cm
100	2.0	1.5	8.6 m	5.4 m	15.2 cm
80	1.6	1.2	6.8 m	4.3 m	12.2 cm
70	1.4	1.1	6.0 m	3.7 m	10.7 cm
60	1.2	0.9	5.1 m	3.2 m	9.1 cm
40	0.8	0.6	3.2 m	2.1 m	6.1 cm

画面サイズ [型] と投映距離の近似式

$$L1 = 0.087x - 0.1353$$

$$L2 = 0.0555x - 0.1377$$

$$H = 0.1522x - 0.002$$

x : 画面サイズ (型)

L : 投映距離 (m)

L1 : 最長投映距離

L2 : 最短投映距離

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)

16:9スクイーズ (フル) モード

画面サイズ			投映距離 [L]		レンズセンター位置から
対角 [型]	幅 [m]	高さ [m]	L1:最長	L2:最短	画面の最下端までの距離 [H]
300	6.6	3.7	28.3 m	18.0 m	-12.7 cm
200	4.4	2.5	18.8 m	12.0 m	-8.5 cm
150	3.3	1.9	14.1 m	8.9 m	-6.4 cm
120	2.7	1.5	11.2 m	7.1 m	-5.1 cm
100	2.2	1.2	9.3 m	5.9 m	-4.2 cm
80	1.8	1.0	7.4 m	4.7 m	-3.4 cm
70	1.6	0.9	6.5 m	4.1 m	-3.0 cm
60	1.3	0.7	5.5 m	3.5 m	-2.5 cm
40	0.9	0.5	3.7 m	2.3 m	-1.7 cm

画面サイズ [型] と投映距離の近似式

$$L1 = 0.0946x - 0.1356$$

$$L2 = 0.0605x - 0.1377$$

$$H = -0.0424x + 0.0013$$

x : 画面サイズ (型)

L : 投映距離 (m)

L1 : 最長投映距離

L2 : 最短投映距離

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)



メモ

- 上記の近似式には±3%の誤差があります。
- 表中に- (マイナス記号) がついた値はレンズの中心の距離がスクリーンの下になることを示しています。

AN-C12MZ(別売レンズ)

投映比率

1:1.18～1.48

4:3ズームモード（コンピュータ入力時は、標準モードとなります。） 52ページ参照

画面サイズ			投映距離[L]		レンズセンター位置から
対角[型]	幅[m]	高さ[m]	L1:最長	L2:最短	画面の最下端までの距離 [H]
300	6.1	4.6	9.3 m	7.4 m	45.1 cm
200	4.1	3.0	6.2 m	4.9 m	30.0 cm
150	3.0	2.3	4.6 m	3.7 m	22.5 cm
100	2.0	1.5	3.0 m	2.4 m	15.0 cm
80	1.6	1.2	2.4 m	1.9 m	12.0 cm
70	1.4	1.1	2.1 m	1.7 m	10.5 cm
60	1.2	0.9	1.8 m	1.4 m	9.0 cm
40	0.8	0.6	1.2 m	0.9 m	6.0 cm

画面サイズ [型] と投映距離の近似式
 $L1 = 0.0311x - 0.0676$
 $L2 = 0.0248x - 0.0693$
 $H = 0.1504x - 0.0328$

x : 画面サイズ (型)
 L : 投映距離 (m)
 L1 : 最長投映距離
 L2 : 最短投映距離
 H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)

16:9スクイーズ (フル) モード

画面サイズ			投映距離[L]		レンズセンター位置から
対角[型]	幅[m]	高さ[m]	L1:最長	L2:最短	画面の最下端までの距離 [H]
300	6.6	3.7	10.1 m	8.0 m	-12.7 cm
200	4.4	2.5	6.7 m	5.3 m	-8.5 cm
150	3.3	1.9	5.0 m	4.0 m	-6.4 cm
120	2.7	1.5	4.0 m	3.2 m	-5.1 cm
100	2.2	1.2	3.3 m	2.6 m	-4.2 cm
80	1.8	1.0	2.7 m	2.1 m	-3.4 cm
70	1.6	0.9	2.3 m	1.8 m	-3.0 cm
60	1.3	0.7	2.0 m	1.6 m	-2.5 cm
40	0.9	0.5	1.3 m	1.0 m	-1.7 cm

画面サイズ [型] と投映距離の近似式
 $L1 = 0.0339x - 0.0669$
 $L2 = 0.027x - 0.0683$
 $H = -0.0424x + 0.0079$

x : 画面サイズ (型)
 L : 投映距離 (m)
 L1 : 最長投映距離
 L2 : 最短投映距離
 H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)



メモ

- 上記の近似式には±3%の誤差があります。
- 表中に-（マイナス記号）がついた値はレンズの中心の距離がスクリーンの下になることを示しています。

設置のしかた(つづき)

反転映像を投映するとき

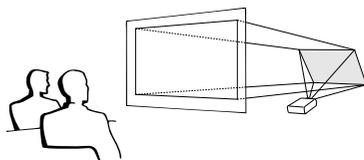
スクリーン背後からの投映

- 透過型スクリーンをプロジェクターと視聴者の間に設置してください。
- メニューの投映方式を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(71ページ)



ミラーを使った投映

- レンズの正面にミラー(表面鏡)を設置してください。
- 視聴者側にミラーを置くときは、メニューの投映方式を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(71ページ)



📖 お知らせ

- ミラーを使用する場合は、プロジェクターとミラーの位置に注意して、視聴者の目に光が入らないようにしてください。

天井取り付けによる投映

- 天井に取り付ける場合は、別売の取り付けユニットおよび取り付けアダプター「AN-60KT」が必要です。また、取り付けの際は、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。
別売の取り付けアダプター「AN-60KT」の取り付けは、天吊りアダプターに付属されている説明書をご覧ください。
- プロジェクターを天井に設置するときは、**28**ページのレンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)に合わせて設置位置を決めてください。
- メニューの投映方式を「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。(71ページ)

📖 お知らせ

- 天井に取り付ける場合は、付属のダストカバーを装着してください。(101ページ)
吸気孔にほこりがたまると誤作動の原因になることがあります。

工場出荷時の設定で投映すると…

▼画面表示



映像の左右を反転します

工場出荷時の設定で投映すると…

▼画面表示



映像の左右を反転します

工場出荷時の設定で投映すると…

▼画面表示



映像の上下を反転します



基本操作



投映のしかた

基本的な操作

- 操作を始める前に、外部機器との接続を済ませておいてください。

1 アースコードを取り付ける

2 電源プラグをコンセントに接続する

- プロジェクターの電源表示が赤色に点灯し、プロジェクターが待機状態になります。

3 本体またはリモコンの **ON** を押す

- 電源表示が緑色で点灯します。
- ランプが点灯するとランプ表示が緑色点灯します。ランプ表示が緑色点灯してから、プロジェクターの操作を始めてください。

メモ

- ランプ表示はランプの状態をお知らせします。

緑色点灯: ランプ点灯中

緑色点滅: ランプ起動中/終了中

赤色点灯: ランプ交換

- 電源を待機状態にした直後に、再び電源を入れると、ランプ表示が点灯するまで、多少時間がかかる場合があります。
- コンピュータからRS-232Cコマンドを使ってプロジェクターを制御している場合は、電源を入れた後、40秒以上待ってからコマンドを送信してください。

システムロック (75ページ) が設定されているとき

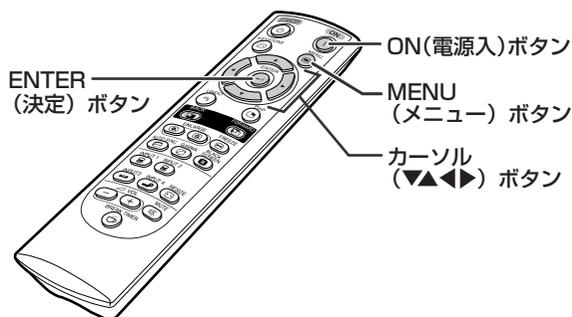
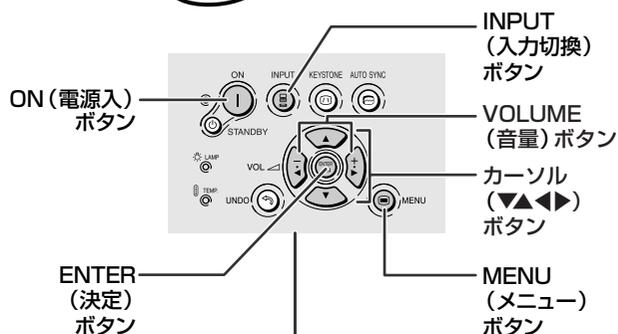
キーコード入力画面が表示されます。設定したキーコードを入力してください。

メモ

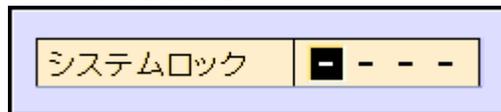
- キーコードは、本体またはリモコンで設定したそれぞれのボタンを押してください。

お知らせ

- システムロックが設定されている場合は、キーコードを入力しないと、プロジェクターは入力モードにならず、信号が入力されても画面は表示されません。(75ページ)



キーコード入力画面表示



4 リモコンの 、、、 を押し、入力モードを選ぶ

- 本体の  を押すと、
→入力1→入力2→入力3→入力4→
 の順番で切り換わります。

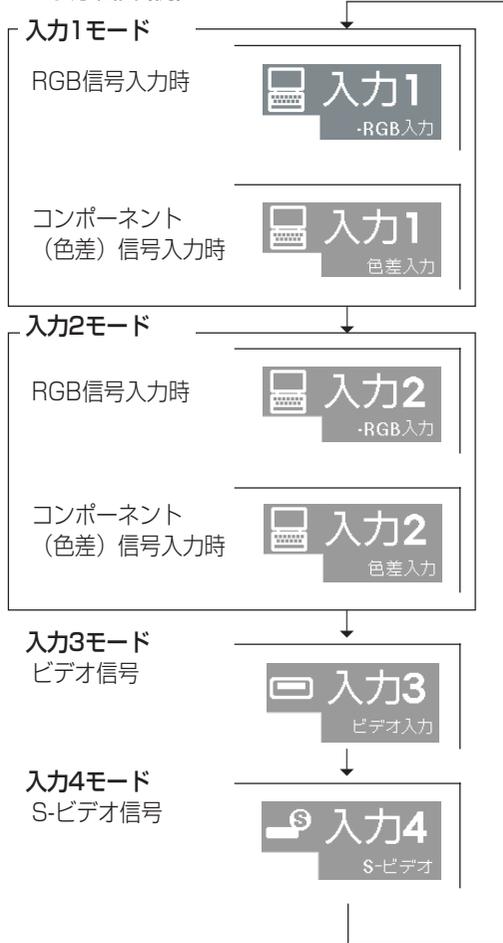
メモ

- 信号が入力されていないと、「入力無信号」と画面表示されます。プロジェクターで認識できない信号を受けると、「判別不能」と画面表示されます。
- 「自動入力サーチ」が「ON」になっていると、信号が入力されている入力モードが選ばれます。(64ページ)
- 「OSD表示」が「レベルA」または「レベルB」に設定されていると、入力モードは表示されません。(65ページ)

入力モードについて

INPUT 1	RGB入力端子に接続した機器のRGB信号またはコンポーネント(RGB/色差)信号を投射したいとき
INPUT 2 (RGB/色差)	
INPUT 3 (ビデオ)	ビデオ入力端子に接続した機器の映像を投射したいとき
INPUT 4 (S-ビデオ)	S-ビデオ入力端子に接続した機器の映像を投射したいとき

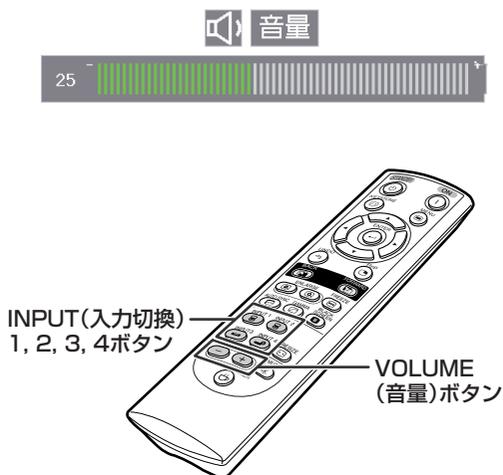
▼表示画面(例)



5 リモコンの または を押し、スピーカの音量を調整する

メモ

-  を押すと音量が大きくなります。
 を押すと音量が小さくなります。
- 本体の 、 で調整することもできます。
- 本体の 、 は、メニュー画面が表示されているときはカーソルボタン(, )として働きます。



投映のしかた(つづき)

6 MUTE を押して、音を一時的に消す



- もう一度 MUTE を押すと、音量が元に戻ります。



画面表示言語を選ぶ

- 本機は表示画面の言語として英語、ドイツ語、スペイン語、オランダ語、フランス語、イタリア語、スウェーデン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、日本語に切り換えることができます。

1 MENU を押す

- メニュー画面が表示されます。

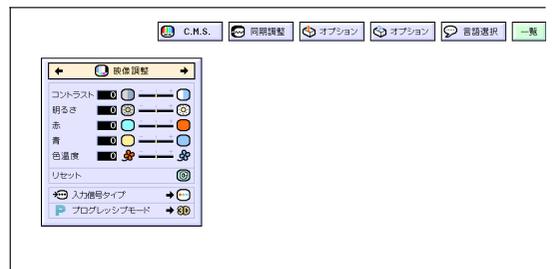
2 ◀または▶を押し「言語選択」を選ぶ

3 ▲または▼で表示したい言語を選び、ENTER を押す

- 選んだ言語表示になります。

4 MENU を押す

- メニュー画面が消えます。



電源を切る（待機状態にする）

- 1** 本体の  またはリモコンの  を押し、確認画面が表示されている間にもう一度同じボタンを押す

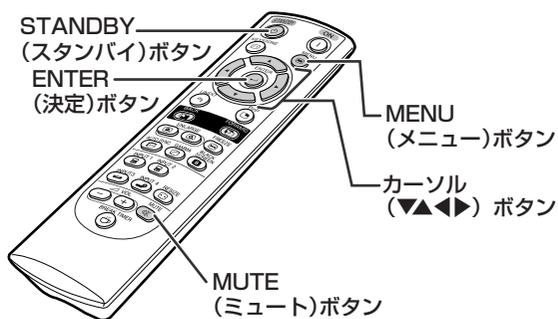
メモ

- 間違っても本体の  またはリモコンの  を1回押したときは、そのままお待ちください。しばらくすると確認画面が消え、操作に戻ることができます。
- 「終了中です。しばらくお待ちください。」と表示されているときに、本体を操作することはできません。

- 2** 冷却ファンが停止してから、電源プラグをコンセントから抜く

お知らせ

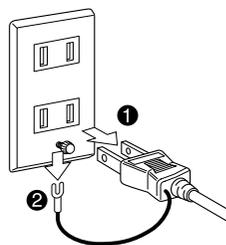
- 投映中および冷却ファンの動作中に、電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に停止するため、温度上昇により故障の原因となります。
- アースコードの取り外しは、必ず電源プラグを抜いた後、行ってください。



 プロジェクターを待機状態にしますか？

決定: もう一度押す 中止: 少し待つ

終了中です。しばらくお待ちください。



画面の台形歪みを補正する(キーストーン補正)

画面の台形歪みを補正する

キーストーン(画面の台形歪み)補正が行えます。

メモ

※キーストーン補正とは

- 映像をスクリーンに対して上下から角度をつけて投射すると、映像が台形に歪みます。この台形の歪みを補正する機能がキーストーン補正です。
- キーストーンで補正できるスクリーンに対する上下の角度は土約35度までです。(設置方法について、くわしくは8ページ、27ページをご覧ください。)

1 KEYSTONE (キーストーン補正) ボタンを押す

- 標準、スクイーズ(フル)画面、ワイド画面を表示しているとき、もう一度 **KEYSTONE** を押すとデジタルシフト機能が働きます。(39ページ)

2 ▲、▶または▼、◀を押して調整する

- より忠実に補正したいときは、**ENTER** を押してテストパターンを表示させ、▲、▶または▼、◀を押して調整します。
- 無信号状態のときは、始めからテストパターン表示となります。

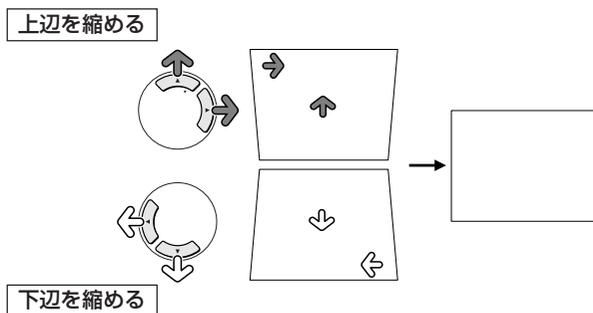
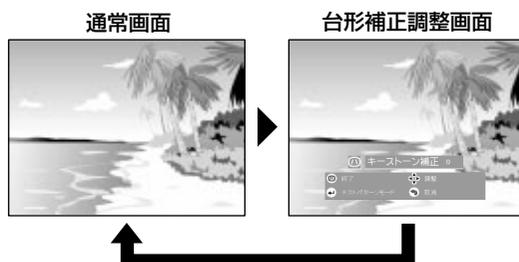
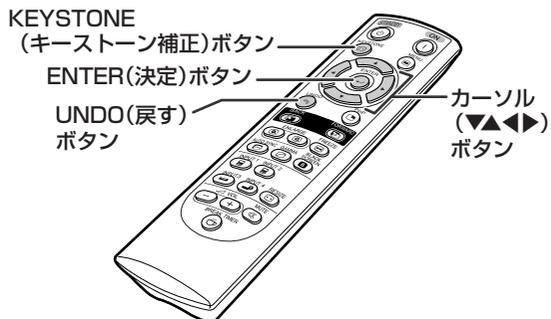
メモ

- 台形の歪みは土約35度まで補正できるので、実際のスクリーンもその角度まで傾けて設置できます。
- キーストーン補正調整を取り消すときは、**UNDO** を押します。

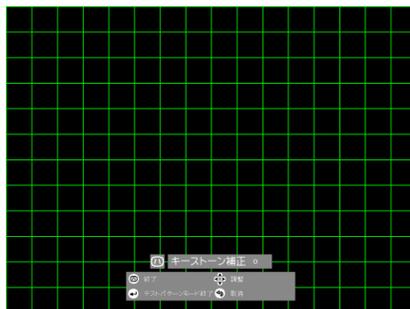
3 KEYSTONE (キーストーン補正) ボタンを押す

メモ

- 4:3ズーム画面で設定した内容は、そのまま16:9でも有効です。
- 調整中、直線や表示された映像の端がギザギザになっているように見ることがあります。

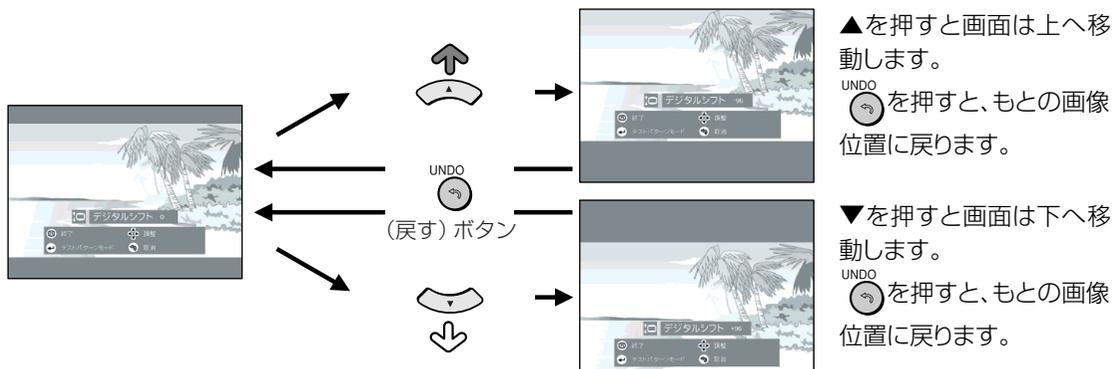


テストパターン表示時



デジタルシフト

ハイビジョンやDVDの16:9映像を投映するときに、画像全体を上下させて見やすくすることができます。



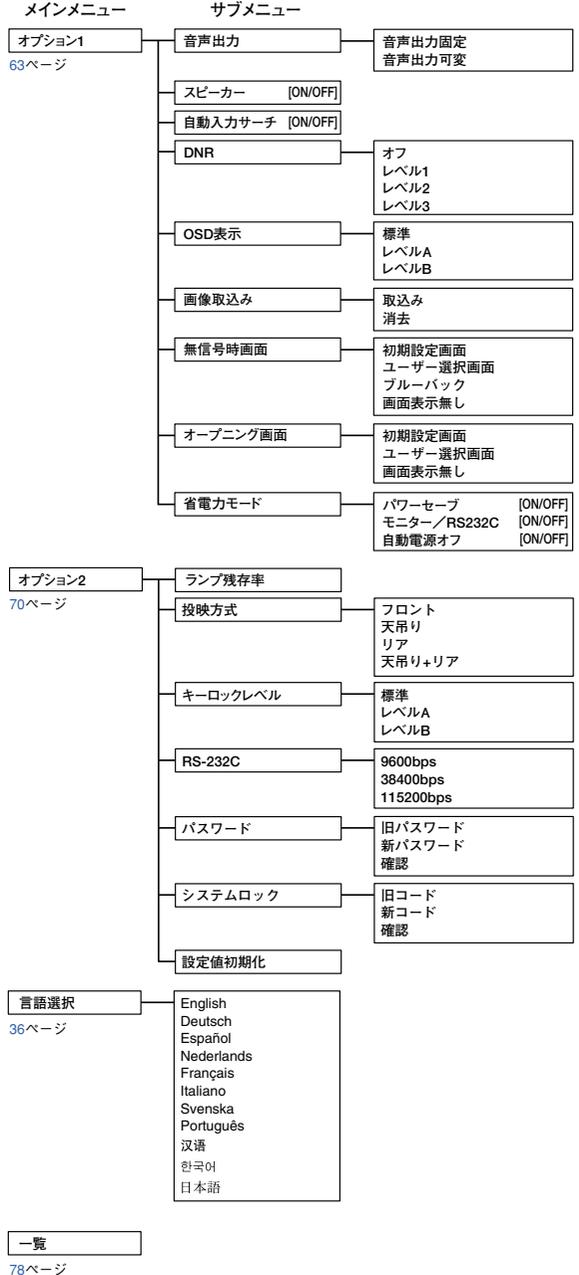
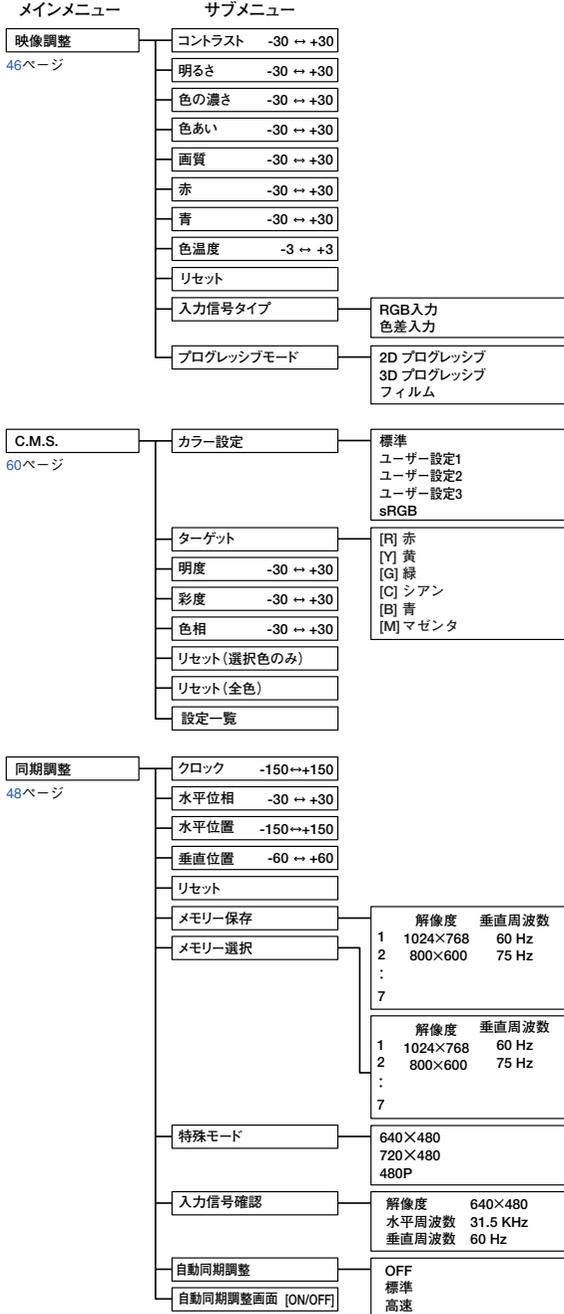
メモ

- デジタルシフト機能は、特定の画像を標準、スクイーズ(フル)、ワイドモードにしたときに使用できます。くわしくは53ページをご覧ください。
- デジタルシフト機能を使用するときは、**KEYSTONE** を2回押してください。
- ハイビジョンやDVDの16:9映像を投映しているとき、デジタルシフトのメニューが表示されます。

メニュー表示内容一覧

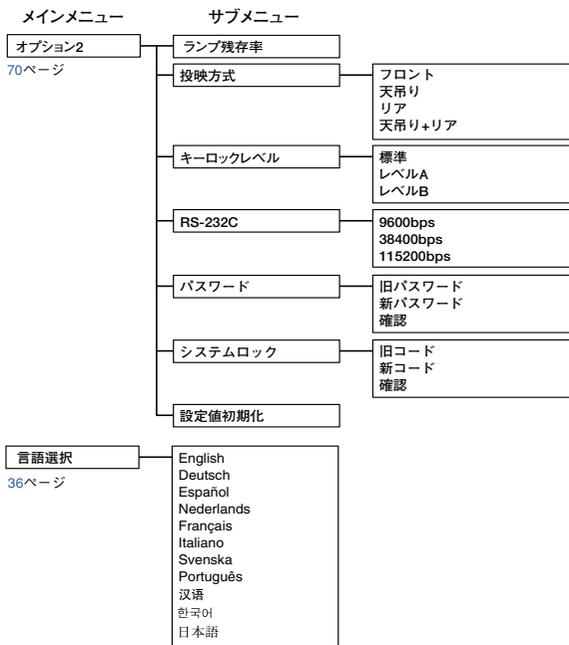
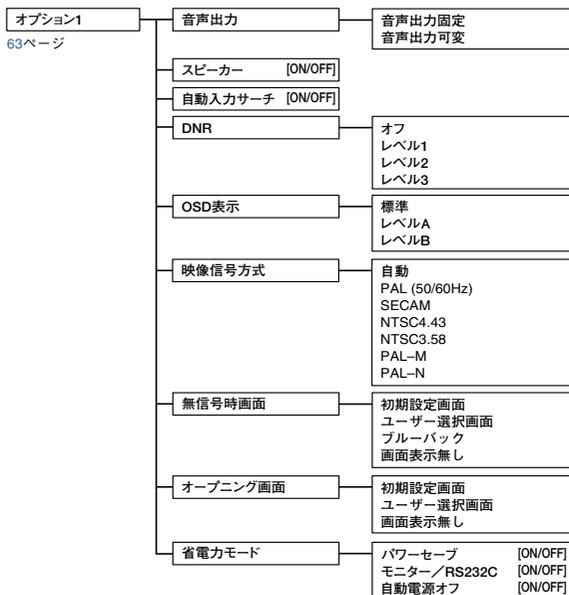
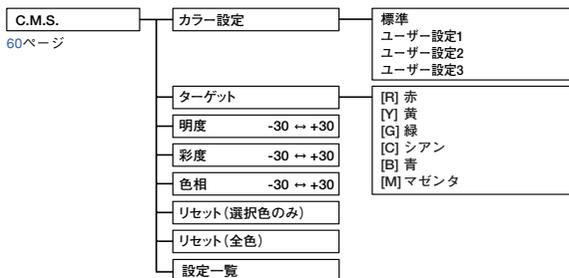
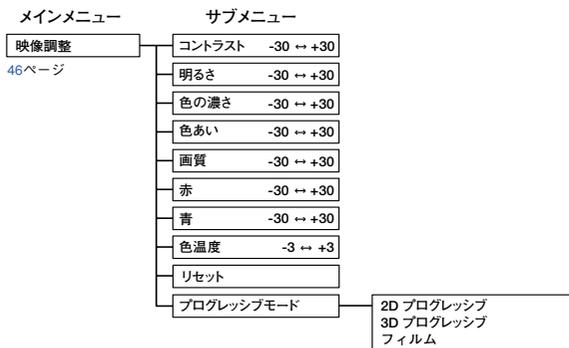
プロジェクターで設定できる項目を示します。

■入力1/入力2モードのとき



- チャートに示された解像度、垂直周波数、水平周波数の値は例として表示しています。
- INPUT (入力) 1または2の映像調整メニューのうち「色の濃さ」、「色あい」、「画質」は入力信号タイプが「色差入力」に設定されている場合のみ表示されます。
- オプション2の「設定値初期化」を選んだとき、初期化されない項目もあります。くわしくは77ページをご覧ください。

■入力3/入力4モードのとき

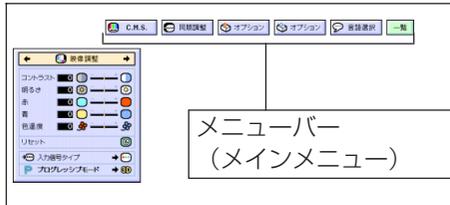


メニューの使いかた

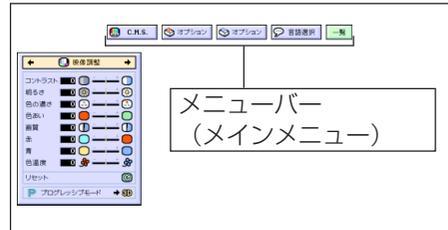
このプロジェクターには、画像の調整や、いろいろな設置に対応するため2つのメニューを用意しています。

メニューの操作は、次の手順に従ってプロジェクター本体、またはリモコンで行います。

入力1/2 RGBモードのメニュー画面例



入力3/4モードのメニュー画面例



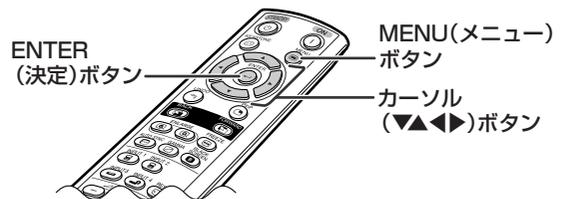
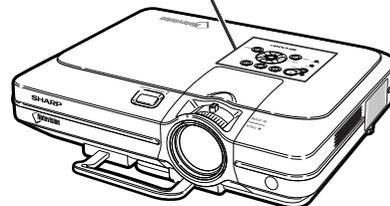
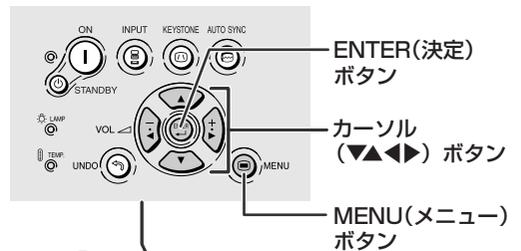
メニューの選択 (調整)

1 MENU を押す

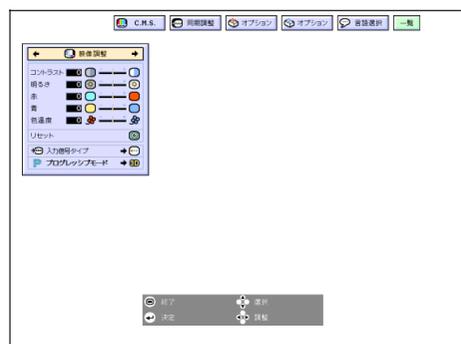
- メニュー画面が表示されます。

メモ

- 選んでいるINPUT (入力) モードそれぞれの「映像調整」メニュー画面が表示されます。
- 右下図は、入力1または入力2の表示画面です。



▼メニュー画面



2 ◀または▶を押し、調整するメニューを選ぶ

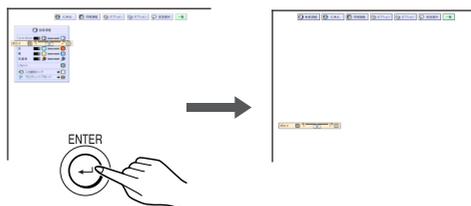
メモ

- メニューの詳細については40、41ページのメニュー表示内容一覧をご覧ください。

3 ▲または▼を押し、調整する項目を選ぶ

メモ

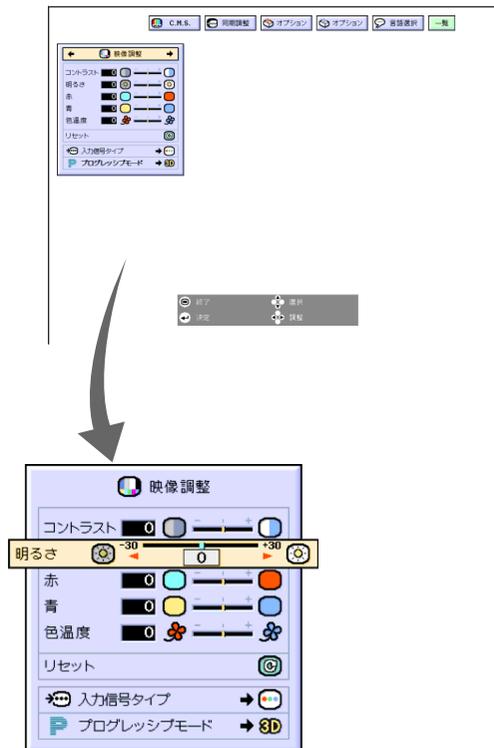
- 調整項目をひとつだけ表示するには、調整する項目を選んだ後でENTERを押してください。メニューバーと、選んだ調整項目だけが表示されます。この表示の状態で▲または▼を押すと次の項目(「明るさ」の次は「赤」)が表示されます。



- UNDOを押すと、前の画面に戻ります。

4 ◀または▶を押し、選んだ項目の調整(設定)をする

- 調整した内容が保存されます。



5 MENUを押す

- メニュー画面が消えます。

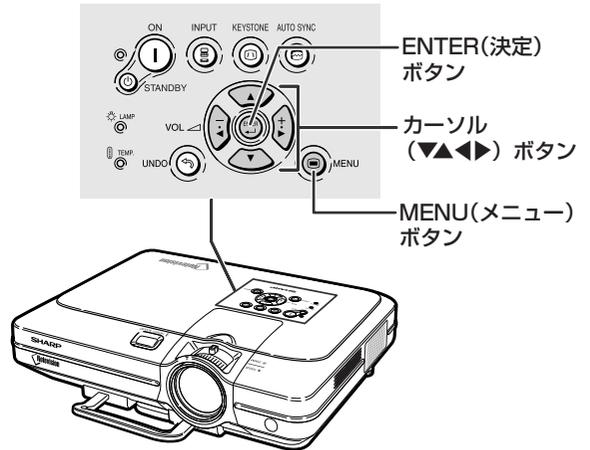
メニューの使いかた(つづき)

メニューの選択(設定)

1 MENU を押す

メモ

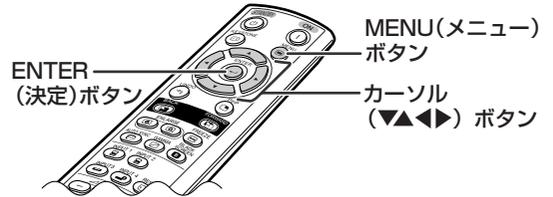
- 選んでいるINPUT(入力)モードそれぞれの「映像調整」メニュー画面が表示されます。
- 右下図は入力1または入力2の表示画面です。



2 ◀または▶を押し、調整するメニューを選ぶ

メモ

- メニューの詳細については40、41ページのメニュー表示内容一覧をご覧ください。

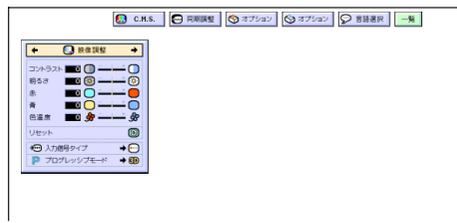


3 ▲または▼を押し、設定する項目を選ぶ

メモ

- UNDO を押すと、前の画面に戻ります。

▼メニュー画面



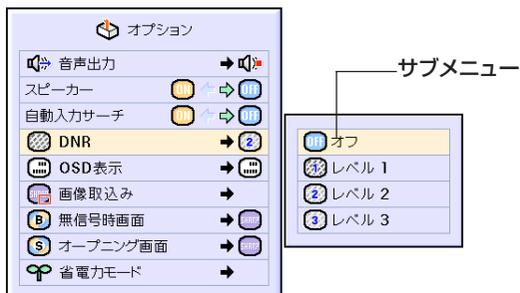
4 ▶を押す

- カーソルがサブメニューに移ります。



メモ

- メニューによっては、◀▶ボタンを押し「▶」でアイコンを選び設定します。



5 ▲または▼を押す、サブメニュー表示された項目の設定を選ぶ

6 を押す

- 選んだ項目が設定されます。



メモ

- メニューの項目によっては、設定事項の確認画面が表示されます。
項目を設定するときは◀または▶で「はい」または「OK」を選び  を押します。

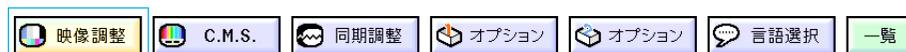
7 を押す

- メニュー画面が消えます。

映像を調整する

映像の濃淡や明るさを見やすく調整することができます。

調整項目	状態	◀ ボタン	▶ ボタン
コントラスト	コントラストが強いとき、または弱いとき	弱くする	強くする
明るさ	画像が明るすぎるとき、または暗すぎるとき	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	色が濃いとき、またはうすいとき	うすい色になる	濃い色になる
色あい	色あいを調整したいとき	紫がかかる	緑がかかる
画質	画像の輪郭をくっきりさせたいとき、またはやわらかくしたいとき	やわらかくする	くっきりする
赤	赤みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	赤みが弱くなる	赤みが強くなる
青	青みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	青みが弱くなる	青みが強くなる
色温度	冷たい感じの色にしたいとき、または温かい感じの色にしたいとき	温かい、赤っぽさを強調	冷たい、青っぽさを強調



見やすい映像に調整する

メニュー画面で映像調整メニューを調整する

→ メニュー画面の操作42ページ

メモ

- INPUT (入力) 1または2を選んでいるとき、「入力信号タイプ」が「RGB入力」のときは「色の濃さ」「色あい」「画質」は、表示されません。
- 映像調整の内容はそれぞれの入力モードで別々に記憶されます。
- INPUT (入力) 1または2の入力信号タイプが色差入力に設定されている場合の「画質」調整は525I、525P、750P、1125Iの信号が入力されているときに行えます。
- 「C.M.S.」メニューの「カラー設定」(60ページ)が「sRGB」に設定されている場合、映像調整の「赤」「青」「色温度」は調整できません。
- 設定を工場出荷時の状態に戻りたいときは、「リセット」を選び、を押します。



信号の種類を設定する

INPUT (入力) 1 端子または2端子に接続した機器の入力信号に合わせてRGBかコンポーネント (色差) を選択します。

メニュー画面の映像調整メニューから「入力信号タイプ」を選び設定する

→設定のしかた44ページ

メモ

●  RGB入力

RGB信号を入力したときに設定します。

●  色差入力

コンポーネント (色差) 信号を入力したときに設定します。



プログレッシブモードを設定する

映像に合わせて、最適なプログレッシブモードを使うことでビデオ表示がよりスムーズになります。

メニュー画面の映像調整メニューから「プログレッシブモード」を選び設定する

→設定のしかた44ページ

メモ

●  2D プログレッシブ

スポーツやアクション映画など、動きの速い映像を表示するのに適しています。

●  3D プログレッシブ

ドラマやドキュメンタリーなど、比較的動きの遅い映像を表示するのに適しています。

●  フィルム

フィルムイメージ※映像ソフトを再生するのに適しています。

※ 24コマ/秒の映像フィルムをそのまま記録しているDVDソフトなどを再生するとき、60コマ/秒のプログレッシブ映像に変換し、高画質で再生します。

● 「3Dプログレッシブ」に設定してある場合でも、NTSC、PAL60Hzのフィルムイメージ映像が入力されたときは、自動的に「フィルム」モードの機能が働きます。

● 映像がボケる、ノイズが発生するなどの場合は、最適なプログレッシブモードを選んでください。

● プログレッシブ信号を入力したときは選択できません。



コンピュータの画面を調整する

縦縞模様やチラツキが気になるときは同期調整してください。

調整項目	調整内容
クロック	垂直ノイズを調整する
水平位相	水平ノイズを調整する(トラッキング調整)
水平位置	スクリーン上の映像を左右に移動させる
垂直位置	スクリーン上の映像を上下に移動させる



コンピュータの画像を調整する

「自動同期調整」がOFFのときや「自動同期調整」が「標準」または「高速」に設定されているときに「タイトルパターン・縦縞模様などを投映すると、チラツキや縦縞が出るなど、映り具合が悪くなることがあります。その場合は、「クロック」「水平位相」「水平位置」「垂直位置」の項目を選び、画面を調整してください。

メニュー画面の同期調整メニューから「クロック」、「水平位相」、「水平位置」、「垂直位置」を選び調整する
→調整のしかた42ページ

メモ

- コンピュータの映像は を使うと、簡単に調整できます。くわしくは50ページをご覧ください。



画面調整の内容を登録する

いろいろなコンピュータと接続して使用できるように、調整内容を7種類まで登録できます。

メニュー画面の同期調整メニューから「メモリ保存」を選び登録する

→登録のしかた44ページ



登録した調整内容を読み出す

プロジェクターに登録した画面調整の内容を読み出して設定することができます。

メニュー画面の同期調整メニューから「メモリー選択」を選ぶ

→ 選びかた44ページ

メモ

- メモリー番号を設定しなければ、解像度と垂直周波数は表示されません。
- 「メモリー選択」項目で、すでに登録済みの調整内容を読み出すと、プロジェクターを登録済みの調整内容に設定できます。



	解像度	垂直周波数
1	1024 × 768	60 Hz
2		
3		
4		
5		
6		
7		

特殊モードを設定する

通常、入力信号の種類が判別されると、自動的に正しい解像度モードが選択されますが、信号の種類によっては、コンピュータの表示モードに合わせる設定を行う必要があります。

メニュー画面の同期調整メニューから「特殊モード」を選び、解像度を設定する

→ 設定のしかた44ページ

メモ

- コンピュータの一行おきに繰り返されるパターン（水平方向の縞模様）を表示させないください。（チラツキがおこり、画面が見にくくなります。）
- 525P（プログレッシブ）出力のDVDや、デジタルビデオを接続したときは、480Pを選択してください。
- 現在選択されている入力信号の情報を確認する場合は、次の「入力信号情報を表示する」をご覧ください。



	解像度
1	640 × 480
2	720 × 480
3	480P
4	
5	
6	
7	

入力信号情報を表示する

この機能を使って、現在選択されている入力信号の情報を確認できます。

メニュー画面の同期調整メニューから「入力信号確認」を選び確認する

→ 確認のしかた42ページ

メモ

- プロジェクターはDVDプレイヤーやデジタルビデオなどAV機器から入力される信号に対し、有効走査線数を表示します。表示は右のようになります。



解像度	1024 × 768
水平周波数	48.2 kHz
垂直周波数	60 Hz

入力信号と本機の表示

入力信号に対し、本機は有効走査線数を表示します。

入力信号	本機の表示
525I	—
525P	480P
750P	720P
1125I	1080I

コンピュータの画面を調整する(つづき)

自動同期調整

コンピュータの画面を自動調整します。

メニュー画面の同期調整メニューから「自動同期調整」を選び設定する

→設定のしかた44ページ

メモ

"標準"または"高速"に設定すると

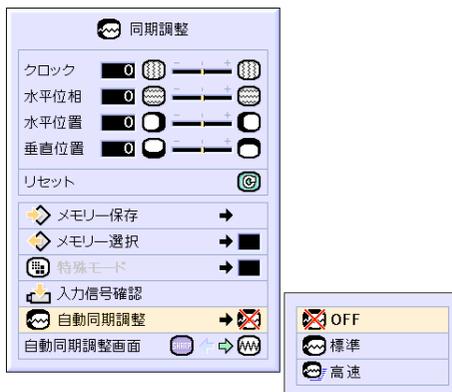
- プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で、プロジェクターの電源を入れたときや、入力を切り換えたときに、自動的に同期調整を行います。
- 「標準」は「高速」に比べて、正確に同期調整を行います。そのため、同期調整の時間が若干長くなります。

同期調整を手動で行うとき

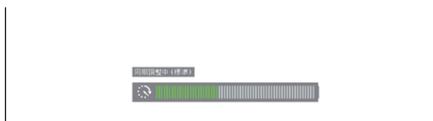
- 自動同期調整で良好な画面が得られないときは、手動で同期調整をしてください。(48ページをご覧ください。)
- プロジェクターに接続されたコンピュータの画面によっては、同期調整を完了するまで、しばらく時間がかかることがあります。

AUTO SYNC (自動同期調整) ボタンを押し調整するとき

- 自動同期調整を「高速」または「OFF」に設定しているとき、AUTO SYNC を押し、高速モードで自動調整を行います。1分以内に再度押し、標準モードで自動調整を行います。



同期調整中表示



AUTO SYNC
(自動同期調整)ボタン



自動同期調整時の画面表示機能

自動同期調整中に表示される画面を設定します。

メニュー画面の同期調整メニューから「自動同期調整画面」を選び設定する

→設定のしかた42ページ

メモ

- SHARP … 無信号時画面で設定されている画面が放映されます。
- WWW … 調整中のコンピュータ画面が表示されます。



便利な機能を使う



画像表示モードを選ぶ

入力された映像の画質をよくするために、画像表示モードを切り換えることができます。入力信号の種類によって、「標準」・「フル」・「ドットバイドット」・「ズーム」・「スクイーズ(フル)」・「ワイド」を選んでください。

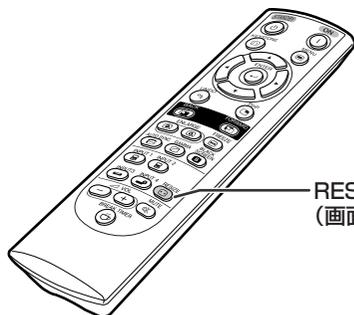
入力信号の種類によって、画像の表示を切り換える

1 RESIZE を押す

- 押すたびに、画像表示モードは52、53ページのように変わります。

メモ

- 「ドットバイドット」モードでは映像を元の解像度で表示するため拡大されません。
- XGA (1024×768)の信号を入力したときは、標準に固定されます。
- 750Pや1125Iの映像信号を入力したときは、スクイーズ(フル)に固定されます。
- 初期の状態に戻るには、「画面サイズ」が画面に表示されているとき、**UNDO** を押してください。



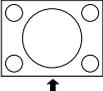
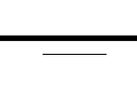
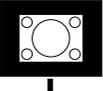
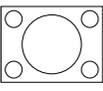
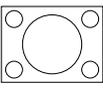
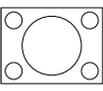
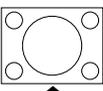
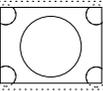
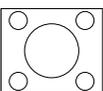
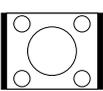
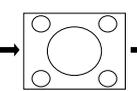
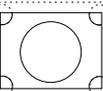
RESIZE (画面サイズ) ボタン

画像表示モード表示



コンピュータ

		標準	フル	ドットバイドット
4:3	SVGA (800 × 600)	1024 × 768	-	800 × 600
	XGA (1024 × 768)	1024 × 768	-	-
	SXGA (1280 × 960)	1024 × 768	-	1280 × 960
	UXGA (1600 × 1200)	1024 × 768	-	1600 × 1200
その他	SXGA (1280 × 1024)	960 × 768	1024 × 768	1280 × 1024

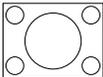
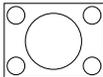
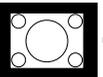
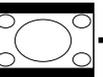
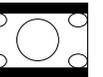
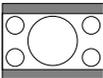
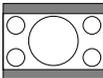
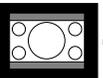
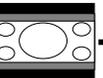
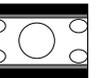
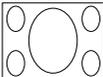
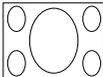
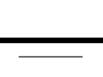
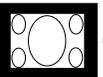
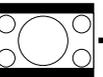
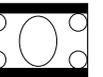
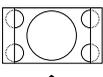
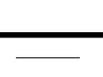
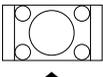
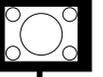
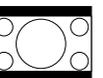
入力信号		表示イメージ		
		標準 縦横比を維持したまま、4:3スクリーンの内側いっぱいに画像全体を投射します。	フル 縦横比を無視して、4:3スクリーンいっぱいに画像全体を投射します。	ドットバイドット 画像を元の解像度で投射します。
XGAより解像度が低い	 縦横比 4:3			
4:3 (XGA)				
XGAより解像度が高い				
SXGA (1280×1024)				

■ マスクされ映像がない部分
■ 元の信号自体に映像が無い部分

ビデオ

		ズーム	フル	標準	スクイーズ(フル)	ワイド
4:3	525I, 525P, NTSC PAL, SECAM	1024 × 768	-	768 × 576*	1024 × 576*	1024 × 576*
16:9	540P	-	1024 × 768	-		-
16:9	750P, 1125I, 1035I	-	-	-		-

*これらの画像でデジタルシフト機能を使用できます。

入力信号		表示イメージ				
		ズーム 画像全体を投射します。	フル 画像を水平方向に1.3倍 拡大し、中央部分を4:3 スクリーンに投射しま す。	標準 4:3の画像を16:9スク リーンの内側いっばいに 投射します(画面の両端 がマスクされます)。	スクイーズ(フル) スクイーズ記録された16:9 の画像を16:9スクリーンに 均一に投射します(画面の 上下が黒くなります)。	ワイド 4:3映像の中央部分のアス ペクト比を保ったまま、周辺部 分のみ拡大し、16:9スク リーンいっばいに投射します。
525I/525P/NTSC /PAL/SECAM	 縦横比 4:3					
	 レターボックス					
	 スクイーズ					
540P	 縦横比 16:9					
	 縦横比 16:9 (16:9スクリーンに4:3 の画像を投射)					
750P/1125I /1035I	 縦横比 16:9					

■ マスクされ映像がない部分
■ 元の信号自体に映像が無い部分

便利な機能を使う

静止画機能

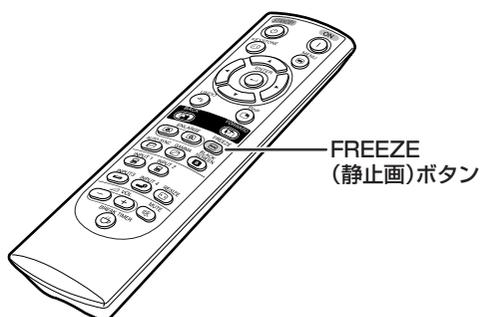
静止画機能を使うと、投映中の映像を静止画にすることができます。

この機能を使えば、静止画を表示中により詳しく説明を加えたり、次の画面を準備するまで静止画を表示することができます。

映像を静止状態にする

1 FREEZE 🔒を押す

- 投映中の映像が静止画になります。



▼表示画面

静止画 オン

静止画 オフ

2 FREEZE 🔒を再度押すと、接続した機器の 現在の映像に戻る

映像をデジタル拡大する

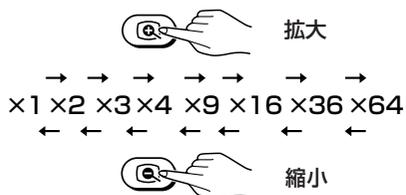
この機能を使うと、投映された映像の一部を拡大することができます。映像の一部の詳細を表示したいときに便利です。

映像の一部を拡大表示する

1 ④を押す

- ×2の倍率に拡大されます。
- ④ (拡大) または ⑤ (縮小) で、投映画像の拡大、縮小が行えます。

メモ



- ▼▲◀▶を使って拡大部分の位置を移動することができます。
- SXGAより高解像度の画面が表示されているときには、「×2」と「×3」は選択できません。

2 UNDOで解除、倍率は×1に戻る

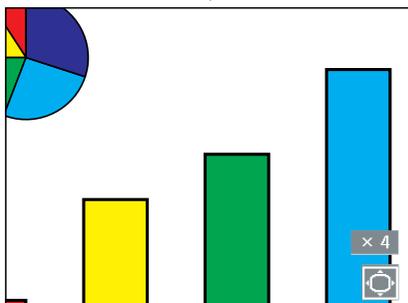
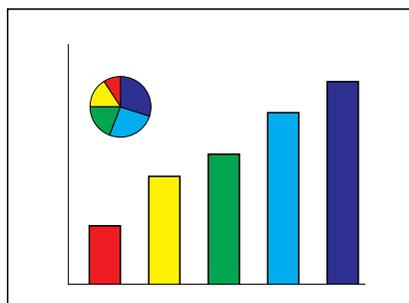
メモ

次の場合、拡大された映像が元の大きさ(×1)に戻ります。

- 入力切換を行ったとき
- UNDOが押されたとき
- 入力信号が変更されたとき
- 入力信号の解像度やリフレッシュレート(垂直周波数)が変わったとき



▼表示画面



ガンマ補正

映像の違いや、部屋の明るさの違いにより映像が見にくい場合は、ガンマ補正機能を使って見やすくなります。

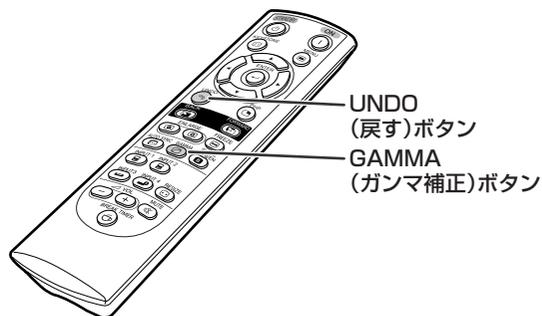
映画やコンサートなど暗いシーンの多い映像を見たり、明るい部屋で映像を見たりする場合は、この機能を使うと、暗いシーンを明るくするなど、より見やすい映像が楽しめます。

選択項目	補正内容
標準	標準の設定です。
プレゼンテーション	映像をより明るくしたいときに設定します。
シネマ	映画などを見るときに設定します。
ユーザー設定	付属のSharp Advanced Presentation Software (SAPS) を使ってガンマ値を調整できます。

ガンマ補正を設定する

1 GAMMA を押す

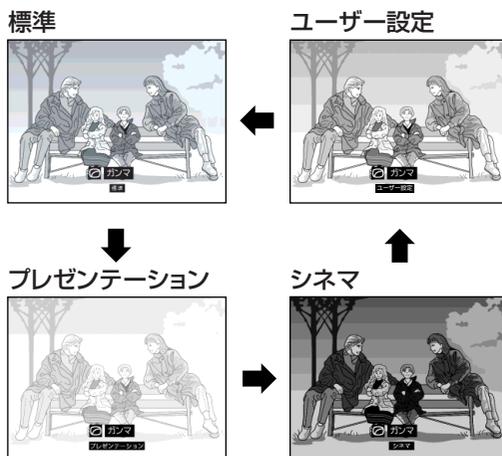
- 押すたびに、ガンマ補正の種類を切り換えることができます。



2 工場出荷時の設定に戻したいときは、「ガンマ」が表示されているときに UNDO を押す

メモ

- 「C.M.S.」メニューの「カラー設定」(60ページ)が「sRGB」に設定されている場合、INPUT (入力) 1またはINPUT (入力) 2ではガンマ補正ができません。



2つの画像を表示する (P in P)

ピクチャーインピクチャーは同一の画面の中に2つの画像を表示する機能です。
INPUT (入力) 1または2から入力された画像 (RGB信号) の中に、INPUT (入力) 3またはINPUT (入力) 4から入力された画像 (ビデオ信号) を子画面表示します。

子画面を表示する

1  を押す

2 リモコンの 、 または本体の  を押し、子画面の映像を切り換える

3  を押し、子画面表示枠を移動させて子画面の表示位置を決める

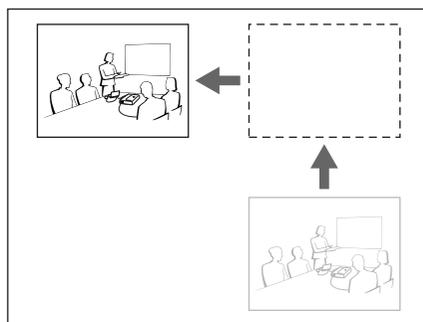
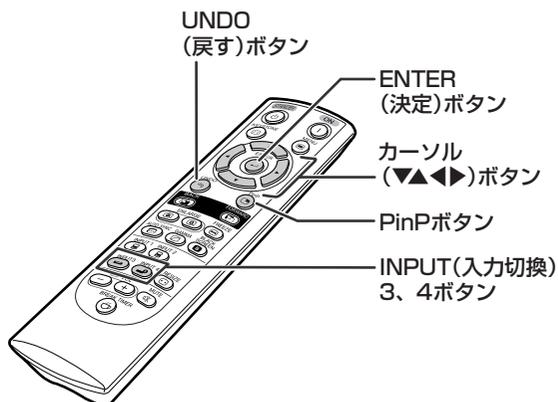
- 移動を止めるときや、子画面表示枠を消したいときは、 を押します。

4  を押し、子画面を移動する

- 子画面表示枠の位置に子画面が移動します。

メモ

- 子画面用の信号は、NTSC/PAL/SECAMのビデオ信号やS映像信号のみです。
- ピクチャーインピクチャー機能が働いている間、静止画機能は子画面に対してのみ使用できます。INPUT 1または2に入力されている信号が次のような場合、ピクチャーインピクチャー機能は働きません。
 - SXGAを超える解像度の場合
 - 入力信号が525I、525P、750P、1125Iの場合
 - 入力信号がRGB信号で、インターレースのモードになっている場合
 - 画像表示モードがドットバイドットの場合
 - INPUT (入力) 1または2の信号が無信号になったときや、解像度、リフレッシュレート (垂直周波数) が変更された場合



ブラックスクリーン機能を使用する

この機能は投映された画像を一時的に消したいときに使います。

投映画面を黒にする

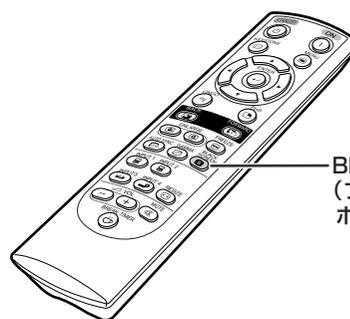
1

BLACK SCREEN
B を押す

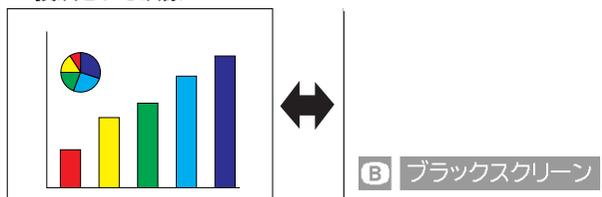
- 画面が黒になり、「ブラックスクリーン」の文字が画面に表示されます。

2

元の投映画面に戻すには、BLACK SCREEN
B をもう一度押す



▼ 投映される映像



休憩時間を表示する

この機能は、会議中に休憩の残り時間を表示するのに使えます。

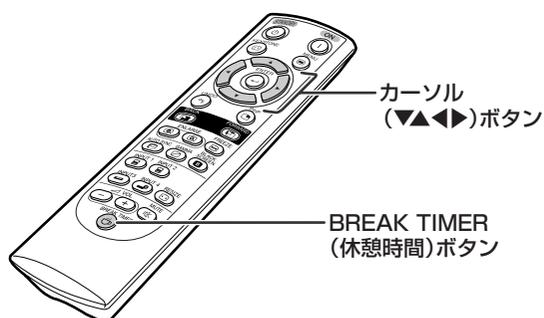
休憩時間の表示と設定

1 BREAK TIMER を押す

- 休憩時間のカウントが始まります。

2 「☕」が表示されているときに▲または▼、◀、▶を押し、休憩時間を設定する。

- 1分から60分の間で設定できます。(1分単位)
- 休憩時間は▲、▼、◀、▶を押すとすぐに秒読みを始めます。



▼表示画面

☕ 4:50

休憩時間表示を解除したいとき

1 UNDO を押す

メモ

- 休憩時間中は無信号自動電源オフ機能が一時無効になります。
休憩終了後に無信号状態が15分続くと、電源が自動的に待機状態になります。
- 休憩時間は、オープニング画面の上に表示されます。休憩時間中に表示されている画面を変更したいときは、オープニング画面を設定し直してください。(68ページ)

カラーマネージメント機能 (C. M. S.)

赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタの6色それぞれを個別に調整できる機能です。



カラー設定モードを選ぶ

メニュー画面のC. M. S. メニューから「カラー設定」を選ぶ

→メニュー画面の操作44ページ

メモ

- sRGB機能についての詳しい情報は、<http://www.srgb.com/>を参照してください。
- INPUT (入力) 1または2のとき、映像調整メニューの「入力信号タイプ」が「色差入力」に設定されていると、C. M. S.メニューの「カラー設定」で「sRGB」は選べません。
- 「sRGB」が選ばれているとき
 - ガンマ補正は設定できません。
 - 映像調整メニューの「赤」、「青」、「色温度」は調整できません。
- 「カラー設定」が「標準」または「sRGB」に設定されているとき
 - C.M.Sメニューの他の項目は調整できません。

お知らせ

- 「sRGB」を選ぶと投映画面が暗くなりますが、故障ではありません。

ユーザー設定で6色それぞれの特性を個別に調整する対象の色を選ぶ

メニュー画面のC. M. S. メニューから「ターゲット」を選ぶ

→メニュー画面の操作42ページ



選択項目	説明
標準	標準の設定
ユーザー設定1~3	「明度」、「彩度」、「色相」を6色それぞれに調整可能
sRGB	モードがsRGBに変わる



R	赤	C	シアン
Y	黄	B	青
G	緑	M	マゼンタ

対象色の明るさを設定する

メニュー画面のC. M. S. メニューから「明度」を選び
設定する

→設定のしかた42ページ



対象色の彩度を設定する

メニュー画面のC. M. S. メニューから「彩度」を選び
設定する

→設定のしかた42ページ



対象色の色相を設定する

メニュー画面のC. M. S. メニューから「色相」を選び
設定する

→設定のしかた42ページ



カラーマネジメント機能 (C. M. S.) (つづき)

ユーザー設定で調整や設定した色の設定をリセットする

メニュー画面のC. M. S. メニューから「リセット(選択色のみ)」または「リセット(全色)」を選び設定する
→設定のしかた42ページ



選択項目	説明
リセット(選択色のみ)	ターゲットで選択している色の「明度」、「彩度」、「色相」の設定がリセットされます。
リセット(全色)	すべての色の「明度」、「彩度」、「色相」の設定がリセットされます。

ユーザー設定で設定した6色それぞれの設定値を確認する

メニュー画面のC. M. S. メニューから「設定一覧」を選び確認する
→確認のしかた42ページ

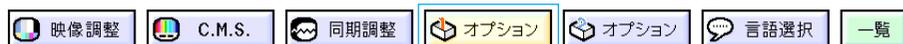


	R	Y	G	C	B	M
明度	0	0	0	0	0	0
彩度	0	0	0	0	0	0
色相	0	0	0	0	0	0

音声出力のタイプを設定する

この機能は、外部アンプと本機を接続した場合などの音声出力方法を設定します。

選択項目	内容
 音声出力固定	入力された音声信号をそのまま出力します。
 音声出力可変	本機の音量調整に連動して出力される音声信号が可変します。



音声出力方法を設定する

メニュー画面のオプション1メニューから「音声出力」を選び設定する

→設定のしかた44ページ



内蔵スピーカーのオン／オフを設定する

この機能は、外部アンプと本機を接続した場合など、内蔵スピーカーの音声オン／オフするかを設定します。

内蔵スピーカーのオン／オフを設定する

メニュー画面のオプション1メニューから「スピーカー」を選び設定する

→設定のしかた42ページ



自動入力サーチを設定する

プロジェクターの電源を入れたときや本体のINPUT (入力切換) ボタンを押したときに、信号が入力されている入力モードを自動的に探し、その入力モードへ切り換えることができます。



自動入力サーチを使う

メニュー画面のオプションメニュー1から「自動入力サーチ」を選び設定する

→設定のしかた42ページ

メモ

● ON (入)

電源を入れたときや、本体の^{INPUT} (入) ボタンを押して自動的に信号のある入力モードにサーチさせたいときに設定します。

- 入力モードをサーチしているとき、サーチを止めたいときは、本体のINPUT (入力切換) ボタンまたはリモコンのINPUT (入力切換) 1、2、3、4ボタンを押してください。
- サーチ中、本体のINPUT (入力切換) ボタンを押すと、前の入力に戻ります。
- サーチ中、リモコンのINPUT (入力切換) 1、2、3、4ボタンを押すと、それぞれの入力で止まります。

● OFF (切)

本体の^{INPUT} (入) ボタンを押して、順番に入力を切り換えたい (サーチさせたくない) ときに設定します。



ドットのちらつきやノイズを軽減する

デジタルノイズリダクション (DNR) を使うことで、微細なドットのちらつきやクロスカラーノイズを軽減できます。



ノイズを軽減する (DNR)

メニュー画面のオプションメニュー1から「DNR」を選び設定する

→設定のしかた44ページ

メモ

- 映像がもっとも見やすくなるようにレベルを設定してください。
- 次のような場合は「オフ」に設定します。
 - 画像がぼやけて見えるとき
 - 動きのある映像で輪郭や色が尾を引くように見えるとき
 - 電波の弱いテレビ放送を投映しているとき

お知らせ

- INPUT (入力) 3またはINPUT (入力) 4に信号が入力されているときに設定が行えます。
- INPUT (入力) 1または2を選んでいるときは、入力された信号が525I、525PのときにDNRの設定が行えます。



画面表示を設定する

この機能を使うと、画面の表示を消すことができます。メニューで「OSD表示」を" "または" "に設定すると、INPUT (入力切替) ボタンを押しても、「入力1」などの画面表示が表れません。

選択項目	内容
<input checked="" type="radio"/> 標準	画面表示のすべてが表示されます。
<input checked="" type="radio"/> レベルA	入力、静止画、拡大、自動同期、音量、ブラックスクリーンは表示されません。
<input type="radio"/> レベルB	メニュー、キーストーン補正、デジタルシフトおよび警告用のメッセージ(温度、ランプ交換など)以外は表示されません。

画面表示を消す

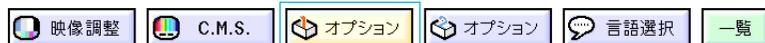
メニュー画面のオプションメニュー1から「OSD表示」を選び設定する

→設定のしかた44ページ



再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する

映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されています。しかし「自動」では映像信号方式の違いにより、接続したAV機器の映像が鮮明に投映できない場合があります。そのようなときは、映像信号方式を切り換えてください。



映像信号方式を設定する

メニュー画面のオプションメニュー1から「映像信号方式」を選び設定する

→設定のしかた44ページ

メモ

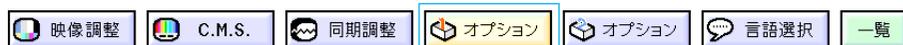
- 映像信号方式は、INPUT (入力) 3、4モード以外では設定できません。
- 「映像信号方式」が「自動」に設定されている場合は、信号の違いによって鮮明な映像が得られない場合があります。その場合は、「映像信号方式」をそれぞれの入力信号に切り換えてください。



PAL (50/60Hz)	PAL方式の映像機器を接続したとき
SECAM	SECAM方式の映像機器を接続したとき
NTSC4.43	PAL方式の機器でNTSCの方式の映像を再生したとき
NTSC3.58	NTSC方式の映像機器を接続したとき

投映画像を取り込む (カスタムイメージキャプチャ)

INPUT (入力) 1または2に接続した機器の投映画像 (RGB信号) を本機に取り込み、「ユーザー設定画面」として無信号時画面やオープニング画面として設定することができます。



画像を取り込む

メニュー画面のオプションメニュー1から「画像取込み」を選ぶ

→オプションメニューの選びかた44ページ

1 ▲または▼で「 取込み」を選び
ENTER
○を押す

- 投映画像を取り込みます。取り込みに時間がかかることがあります。

2 ① ◀または▶で「はい」を選ぶ
② ENTER
○を押す

メモ

- 取り込める画像は、INPUT (入力) 1またはINPUT (入力) 2モードのXGA (1024×768) ノンインターレース信号の画像だけです。
- 取り込んだ画像は256色に減色処理されます。
- INPUT (入力) 3、4に接続した機器の画像は取り込めません。
- 取り込める画像は1枚だけです。
- カラーマネージメント機能を使って調整された画像を取り込むと、保存の前と後で画像の色が変わることがあります。



この画面をユーザー選択画面としてプロジェクターに保存しますか?
(既に保存されているユーザー選択画面は、消去されます。)

はい

いいえ

取り込んだ画像を消去する

1 「 消去」を選び ENTER
○を押す

2 ① ◀または▶で「OK」を選ぶ
② ENTER
○を押す

プロジェクター内に保存してあるこのユーザー選択画面を消去します。

OK

キャンセル

無信号時に表示する画面を設定する

プロジェクターに信号が送られていないとき、表示する画面を選ぶことができます。

選択項目	無信号時画面
初期設定画面	SHARP初期設定画面
ユーザー選択画面※ ¹	ユーザー設定画面(例:会社のシンボルマークなど)
ブルーバック	青い画面
画面表示無し	入力信号画面※ ²

※¹ 「画像取込み」で取り込んだ画像を設定できます。

※² 入力信号がスノーノイズのときは、そのままスノーノイズの画面になります。



無信号時画面の設定

メニュー表示のオプションメニュー1から「無信号時画面」を選び設定する

→設定のしかた44ページ

メモ

- ユーザー選択画面を選ぶと、「画像取込み」で取り込んだ画像を無信号時画面として表示できます。
- ユーザー選択画面は、工場出荷時は黒い画面です。



オープニング画面を選ぶ

この機能を使って、プロジェクターを起動させたときに表示される映像を指定することができます。

選択項目	オープニング画面
初期設定画面	SHARP初期設定画面
ユーザー選択画面※	ユーザー設定画面(例:会社のシンボルマークなど)
画面表示無し	入力信号画面

※ 「画像取込み」で取り込んだ画像を設定できます。

オープニング画面を設定する

メニュー画面のオプションメニュー1から「オープニング画面」を選び設定する

→設定のしかた44ページ

メモ

- ユーザー選択画面を選ぶと、「画像取込み」で取り込んだ画像をオープニング画面として表示できます。
- ユーザー選択画面は、工場出荷時は黒い画面です。



省電力モードを設定する

省電力モードは、通常動作時や電源スタンバイ時にプロジェクターの消費電力を減らすための設定です。



パワーセーブ機能

メニュー画面のオプション1メニューから「省電力モード」→「パワーセーブ」を選び設定する

→設定のしかた44ページ

ON (入/ローパワー)

- 「切」に対して、消費電力が低減すると同時にランプ寿命が長くなります。(投映画面の輝度も約20%低減します。)

OFF (切/標準)

- 工場出荷時は**OFF**に設定されています。



設定	消費電力 (AC100Vのとき)	ランプ寿命	輝度
ON (ローパワー)	325W	3,000時間	80%
OFF (標準)	400W	2,000時間	100%

モニター出力/RS-232Cオフ機能

- 省電力モードの「モニター/RS232」が「ON」に設定されていると、電源スタンバイ状態でもモニター出力/RS-232Cが働き、電力を消費します。
- OUTPUT (出力) (INPUT1、2) 端子にモニターを接続していない、RS-232C端子にコンピュータを接続していないときは、「モニター/RS232」を「OFF」に設定することをおすすめします。電源スタンバイ時の消費電力が減らせます。

メニュー画面のオプション1メニューから「省電力モード」→「モニター/RS232」を選び設定する

→設定のしかた44ページ

ON (入)

- 電源スタンバイ時にモニター出力/RS-232C機能が働きます。

OFF (切)

- 電源スタンバイ時のモニター出力/RS-232C機能をオフします。



メモ

- 付属のSharp Advanced Presentation Softwareを使っている場合には、「モニター/RS232」を「ON」に設定してください。

省電力モードを設定する(つづき)

無信号時自動電源オフ機能

「ON」に設定したときは15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に待機状態になります。「OFF」に設定すると無信号時自動電源オフ機能が「切」になります。

メニュー画面のオプション1メニューから「省電力モード」→「自動電源オフ」を選び設定する
→設定のしかた44ページ

メモ

無信号電源オフ機能が「(入)」に設定されているときは、待機状態になる5分前になると、1分ごとに「●分後に待機状態」の表示がでます。



ランプの使用可能な残り時間を表示する(パーセント表示)



ランプの「残存率」(使用可能な残り時間)を確認するには

メニュー画面のオプションメニュー2を選び「ランプ残存率」を確認する

ランプの使用可能な残り時間「ランプ残存率」が表示されます。

→確認のしかた42ページ

メモ

- ランプは、ランプ残存率(残り時間)が5%で交換することをおすすめします。
- 右の表は、パワーセーブを「ON」または「OFF」で継続使用した場合を例に記載しています。
- ランプ残存率(%)はパワーセーブの「ON」または「OFF」へ切り換える割合により増減します。(69ページ)

ランプの交換は、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様相談センター(98ページ)にお問い合わせください。



ランプ残存率
使用可能なランプの残り時間(パーセント表示)

	ランプ残存率	
	100%	5%
「パワーセーブ」を常に「ON」にして使用(ローパワー)	3,000時間	150時間
「パワーセーブ」を常に「OFF」にして使用(標準)	2,000時間	100時間

映像の左右反転／上下反転のしかた

このプロジェクターは投映する環境に合わせて映像を左右／上下反転する機能を備えておりますので、いろいろな対応が可能です。

選択項目	画面
フロント 天吊り リア 天吊り+リア	通常映像 上下反転された映像 左右反転された映像 左右／上下反転された映像



投映方式の設定

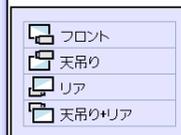
メニュー画面のオプションメニュー2から「投映方式」を選び設定する

→設定のしかた44ページ



メモ

- パスワードが設定されている場合は、「投映方式」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。
- この機能はプロジェクターを逆映像設定したり、天井に取り付ける場合に使用します。設置方法については32ページをご覧ください。



プロジェクターの操作ボタンをロックする

この機能は、プロジェクター本体上面のボタンをロックするのに使用します。

キーロックレベルは、以下の3段階です。

キーロックレベル	内容
標準	すべてのボタンが機能します。
レベルA	入力切換、音量以外のボタンがロックされます。
レベルB	すべてのボタンがロックされます。

キーロックの設定

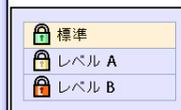
メニュー画面のオプションメニュー2から「キーロックレベル」を選び設定する

→設定のしかた44ページ



メモ

- パスワードが設定されている場合は、「キーロックレベル」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。



プロジェクターの操作ボタンをロックする(つづき)

キーロックの解除のしかた

キーロックレベルを「標準」に設定すると、すべてのボタンが機能します。

メニュー画面のオプションメニュー2から「キーロックレベル」を選び

「 (標準)」に設定する

→設定のしかた44ページ

メモ

- パスワードが設定されている場合は、「キーロックレベル」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。
- キーロック、パスワードがともに設定されている場合は、「キーロックレベル」を変更する前にパスワード入力が必要です。



RS-232Cの通信速度を設定する



通信速度 (RS-232C) を選ぶ

メニュー画面のオプションメニュー2から「RS-232C」を選び設定する

→設定のしかた44ページ

メモ

- パスワードが設定されている場合は、「RS-232C」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。
- プロジェクターとコンピュータの通信速度は同じ速度に合わせてください。コンピュータの通信速度の設定はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。



パスワードを設定する

パスワードを設定することにより、オプション2メニューの設定内容を変更できないようにすることができます。キーロックレベル(71ページ)と併せて使用するとより効果的です。



パスワードを入力する

メニュー画面のオプションメニュー2から「パスワード」を選び設定する

→設定のしかた44ページ

1 ▲または▼を押し、パスワード番号を決め▶を押す

2 同様に残りの3個を入力し^{ENTER}を押す

3 確認欄にもう一度同じ数字を入力し、^{ENTER}を押す

メモ

- パスワードが設定されている場合は、「投影方式」、「キーロックレベル」、「システムロック」、「設定値初期化」を変更する前に、パスワード入力が必要です。



旧パスワード	- - - -
新パスワード	■ - - - -
確認	- - - -



旧パスワード	- - - -
新パスワード	* * * *
確認	■ - - - -

パスワードを設定する(つづき)

パスワードを変更する

メニュー画面のオプションメニュー2から「パスワード」を選び設定する

→設定のしかた44ページ

1 ▼▲▶を使って、「旧パスワード」の欄に設定済みのパスワードを4桁入力し、を押す

2 新しいパスワードを▼▲▶を使って設定し、を押す

3 確認欄にもう一度同じパスワードを4桁を入力し、を押す

メモ

- パスワードを未設定状態にしたいときは、手順2と手順3でパスワードを入力しないでを押してください。
- 設定を途中で止めるときは、を押します。

パスワードを忘れてしまったら

もしパスワードを忘れてしまったら、次の方法でパスワードを解除してください。パスワードを解除したあと、改めてパスワードを設定してください。

1  →  →  →  →
 →  →  を順に押す



旧パスワード	■ - - -
新パスワード	- - - -
確認	- - - -

システムロックを設定する

システムロックを設定したときは、電源を入れた後、システムロックのキーコードを入力しないとプロジェクターに信号を入力しても画像は投映されません。システムロックを解除するには、設定したキーコードを入力します。

設定したキーコードは必ずメモしてください。

お知らせ

- キーコード入力画面で正しいキーコードを入力しないと、キーコード入力画面が表示されたままで、それ以降の操作ができません。キーコードを忘れてしまった場合はお客様自身でのリセットができません。システムロックのリセットは保証期間内であっても有料修理となります。くわしくは修理相談センター(98ページ)にご相談ください。



キーコードを入力する

- システムロックは、パスワード(73ページ)を設定しないと選択できません。
- システムロックを選ぶとパスワード入力欄が表示されます。設定したパスワードを入力してからキーコードを入力してください。

メニュー画面のオプションメニュー2から「システムロック」を選び設定する

→設定のしかた44ページ

1 本体のボタンまたはリモコンのボタンを押し、キーコードを入力する

メモ

次のボタンはキーコードとして設定することができません。

- ON(電源入)ボタン
- STANDBY(スタンバイ)ボタン
- ENTER(決定)ボタン
- UNDO(戻す)ボタン
- MENU(メニュー)ボタン
- FORWARD(送り)ボタン
- BACK(戻し)ボタン



旧コード	- - - -
新コード	■ - - -
確認	- - - -

2 同様に残りの3個を入力する

3 確認欄にもう一度同じキーコードを入力する

メモ

- キーロック機能は一時的に無効になります。



旧コード	- - - -
新コード	* * * *
確認	■ - - -

お知らせ

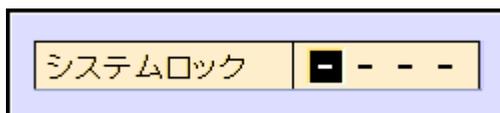
- 設定したキーコードは、必ずメモしてください。お客様自身でのリセットができません。キーコードを忘れてしまった場合は、もよりのお客様相談センター(98ページ)にご相談ください。

システムロックを設定する(つづき)

システムロックを設定したとき「システムロック」が設定されていると、電源を入れたあとにキーコード入力欄が表示されるので、正しいキーコードを入力してください。

- リモコンのボタンをキーコードとして設定したときはリモコンのボタンを押してください。本体のボタンを設定したときは本体のボタンを押してください。

キーコード入力画面



キーコードを変更する

- パスワードを設定しているときは、「システムロック」を選ぶとパスワード入力欄が表示されます。パスワードを入力してからキーコードを変更してください。

メニュー画面のオプションメニュー2から「システムロック」を選び設定する

→設定のしかた44ページ

1 リモコンまたは本体のボタンを押して、「旧コード」の欄に設定済みのキーコードを4桁入力する

2 リモコンまたは本体のボタンを押して、新しいキーコードを入力する

3 確認欄にもう一度同じキーコードを4桁入力する



旧コード	■ - - - -
新コード	- - - - -
確認	- - - - -

メモ

- キーコードを未設定状態にしたいときは手順2と手順3でキーコードを入力しないで^{ENTER}を押してください。

設定内容を初期化する

この機能を使って、設定内容を初期化することができます。



設定値を工場出荷時に戻す

メニュー画面のオプションメニュー2から「設定値初期化」を選ぶ

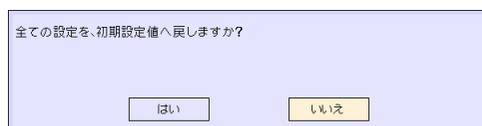
→「設定値初期化」のしかた44ページ

メモ

- パスワードが設定されている場合は、「設定値初期化」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。

次の項目は初期化されません。

- C.M.S. (カラーマネージメント) 機能
- C.M.S.メニューのユーザー設定1～3に個別に保存された「明度」、「彩度」、「色相」
- 同期調整
 - 特殊モード
 - 入力信号確認
- オプション
 - ランプ残存率
 - システムロック
- 言語選択
- 画像取り込みした画像



調整内容を一覧表示する

この機能を使うと、調整した設定内容すべてをスクリーンに一覧表示することができます。



メニュー設定の一覧

一覧メニューを選び、^{ENTER}を押す
→くわしくは44ページ

映像調整	C.M.S.	同期調整	オプション	オプション	その他
コントラスト 0	カラー設定 →	クロック	音声出力 →	ランプ残存率 100%	日本語 言語選択
明るさ 0		水平位相	スピーカー	投影方式 →	
赤 0		水平位置	自動入力サーチ	キーロックレベル	
青 0		垂直位置	DNR	115200bps RS-232C	標準 ガンマ
色温度 0		メモリー選択	OSD表示	パスワード	標準 画面サイズ
入力信号タイプ →		特殊モード	解像度時画面	システムロック	
プロGRESSモード →		自動同期調整	オープニング画面		
		自動同期調整画面	パワーセーブ		シリアルNo. 123456789
			モニター/RS232	自動電源オフ	ファームウェア C60XXXXX

付録



PDF取扱説明書の見かた (Windows, Macintosh)

- 本機に付属のCD-ROMには、下記のソフトウェア及びPDF取扱説明書が収録されています。
 - Sharp Advanced Presentation Software (SAPS)/Sharp Advanced Presentation Software (SAPS) PDF取扱説明書
 - XG-C60X PDF 取扱説明書
- 収録されているPDF取扱説明書を見るためには、Adobe社のAcrobat Reader4.0J以降またはAdobe Readerが必要です。お持ちのコンピュータにAcrobat Reader4.0J以降がインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールすることができます。

Acrobat Readerを付属のCD-ROMからインストールする

Windowsコンピュータの場合

- ① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
- ② "マイ コンピュータ"アイコンをダブルクリックする。
- ③ "CD-ROM"ドライブをダブルクリックする。
- ④ "ACROBAT"フォルダをダブルクリックする。
- ⑤ "JAPANESE"フォルダをダブルクリックする。
- ⑥ インストールプログラムをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールする。

Macintoshコンピュータの場合

- ① CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。
- ② "CD-ROM"ドライブをダブルクリックする。
- ③ "ACROBAT"フォルダをダブルクリックする。
- ④ "JAPANESE"フォルダをダブルクリックする。
- ⑤ インストールプログラムをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールする。

その他のオペレーティングシステムをご使用の場合

インターネット(<http://www.adobe.co.jp>)から、最新のAcrobat Readerをダウンロードしてください。

PDF取扱説明書にアクセスする

Windowsコンピュータの場合

- ① CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。
- ② "マイ コンピュータ"アイコンをダブルクリックする。
- ③ "CD-ROM"ドライブをダブルクリックする。
- ④ "MANUALS"フォルダをダブルクリックする。
- ⑤ "JAPANESE"フォルダをダブルクリックする。
- ⑥ "C60X_J.PDF"ファイルをダブルクリックする。

Macintosh コンピュータの場合

- ① CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。
- ② "CD-ROM"ドライブをダブルクリックする。
- ③ "MANUALS"フォルダをダブルクリックする。
- ④ "JAPANESE"フォルダをダブルクリックする。
- ⑤ "C60X_J.PDF"ファイルをダブルクリックする。

お知らせ

- マウスを使ってダブルクリックしてもPDFファイルを開くことができない場合は、Acrobat Readerをまず起動させてから、"ファイル" "開く" "メニューを使ってPDF ファイルを開いてください。
- CD-ROMに保存されているREADME.TXTファイルには、この取扱説明書に含まれていない重要な情報がありますので、必ずお読みください。

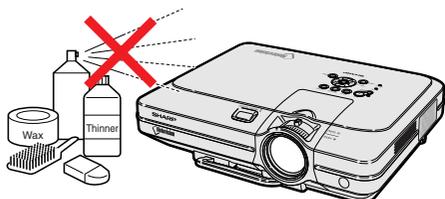
お手入れのしかた

キャビネットの手入れのしかた

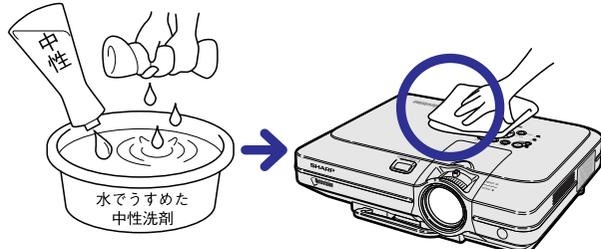
- キャビネットを手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。
- キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。



- 汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。

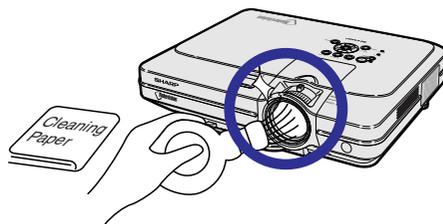


- 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

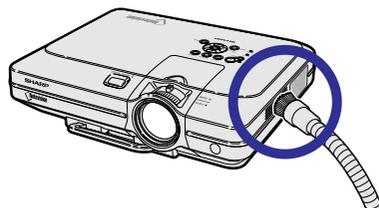
レンズの手入れのしかた

- レンズの清掃は、市販のプロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。
- 表面は傷つきやすいのでこすったり、たたいたりしないでください。



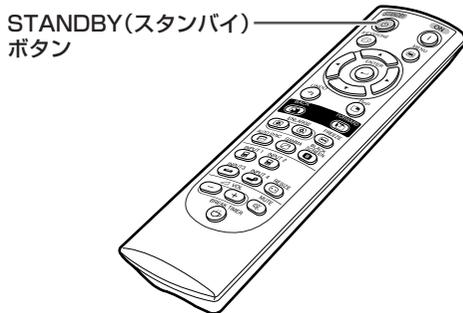
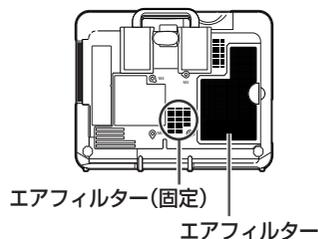
排気孔や吸気孔の手入れのしかた

- 排気孔や吸気孔の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。



エアフィルターのお手入れ

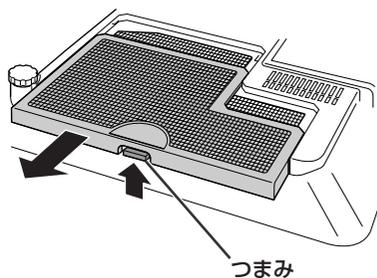
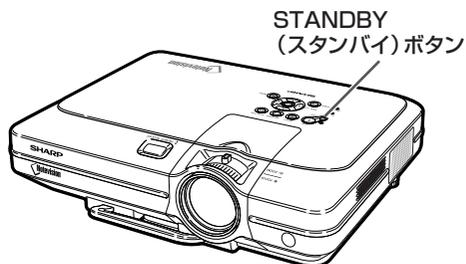
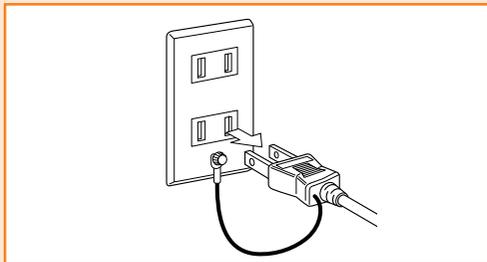
- エアフィルターは、約100時間を目安に掃除を行ってください。特にほこりやタバコの煙などが多いところでは、こまめに掃除を行うようにしてください。
- エアフィルターのほこりが落ちなくなりましたら、フィルターの交換時期です。付属の交換用エアフィルターと交換してください。



底部のエアフィルターの掃除または交換

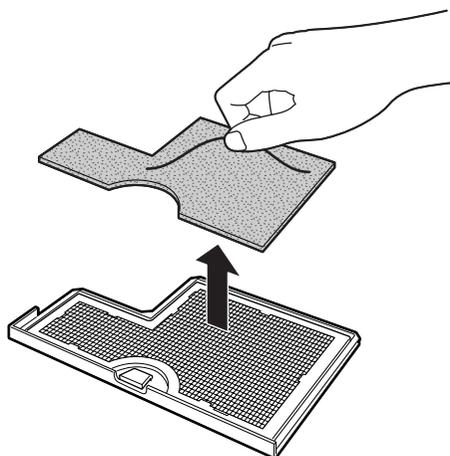
1 電源を待機状態にし、電源プラグをコンセントから抜く

- 本体の  STANDBY またはリモコンの  を押し、冷却ファンが停止するまで待ちます。
- アース線の取り外しは、必ず電源プラグを抜いた後、行ってください。



2 底部のフィルターカバーを外す

- プロジェクターを逆さにします。つまみをつかんでフィルターカバーを矢印の方向にスライドさせて取り外します。

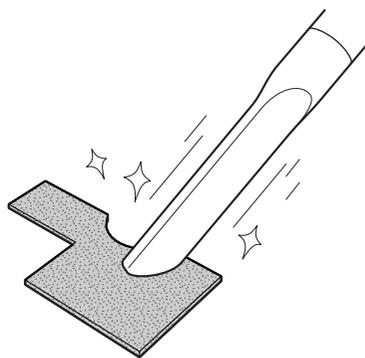


3 エアフィルターを取り外す

- エアフィルターをつまんで外します。

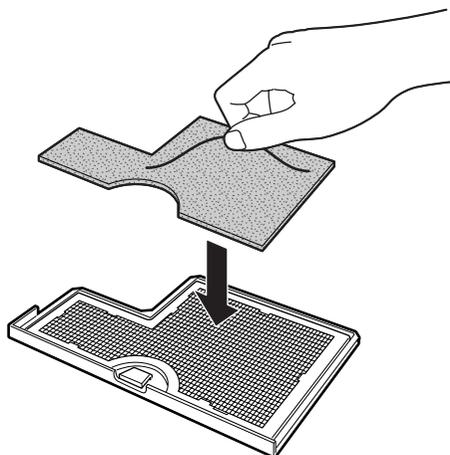
4 エアフィルターを掃除(交換)する

- 掃除機で、フィルターおよびカバーのほこりを吸い取ります。



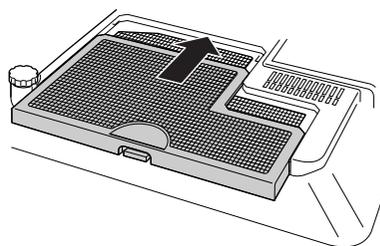
5 エアフィルターを元に戻す(取り付け)

- エアフィルターを元どおりに取り付けます。



6 フィルターカバーを取り付ける

- 矢印の方向にスライドさせて閉じます。

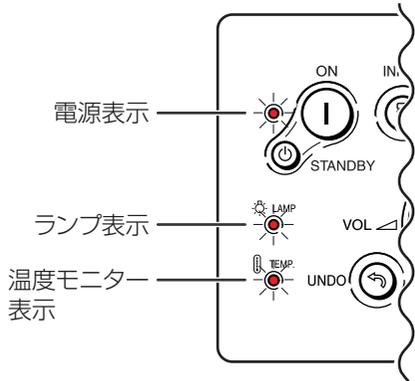


メモ

- フィルターカバーはしっかり取り付けてください。正しく取り付けられていないと、電源が入りません。(電源表示が赤で点滅します。)
- フィルター部(固定)は、取り外すことができません。ゴミ、ほこりが付着したときは、掃除機で吸い取ってください。
- 交換用エアフィルターをご購入の際は、販売店、またはもよりのお客様相談センター(98ページ)にご相談ください。

お知らせ表示について

- 本機では、内部の異常をお知らせ表示が点灯してお知らせします。
- 内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度表示もしくはランプ表示が赤色に点灯し電源が待機状態になります。以下の処置を行ってください。



温度モニター機能について

設置状況や通風孔、エアフィルターの目づまり等により内部温度が高温になると、画面左下に“温度”が点滅します。さらに温度が上昇すると、ランプが消灯し温度表示が点滅、90秒のファン冷却後電源が待機状態になります。“温度”の表示が出た時点で下の表の内容に従い処置をしてください。



ランプ交換お知らせ機能について



- ランプ残存率は、「パワーセーブ」を「ON」にして約3,000時間使用するか、「パワーセーブ」を「OFF」にして約2,000時間使用すると0%になります。くわしくは **69** ページをご覧ください。
- ランプ残存率が5%以下になると、「 (黄)」と「ランプを交換してください。」が画面に表示されます。残り時間が0%になると、「 (赤)」と「ランプを交換してください。」が画面に表示され、自動的にランプ(光源)が消灯し、電源が待機状態になります。このとき、ランプ表示が赤色点灯します。
- ランプを交換せずに電源を入れ直すと、4回目からは電源が入らなくなりますのでご注意ください。

お知らせ表示		現象	考えられる原因	処置のしかた
温度モニター表示	正常	内部温度が高温になっている。	<ul style="list-style-type: none"> ●通風孔がふさがれている ●エアフィルターの目づまり 	<ul style="list-style-type: none"> ●正しい設置場所に設置してください。 ●82ページの手順に従って、エアフィルターのお手入れを行ってください。
	異常			
ランプ表示	緑色点灯 (緑色点滅は光源起動中／終了中)	ランプ交換時期	<ul style="list-style-type: none"> ●ランプ残存率が5%以下になった 	<ul style="list-style-type: none"> ●ランプを交換してください。(87ページ) ●ランプの交換または修理は販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(98ページ)にお問い合わせください。 ●ランプを交換するときは、注意して行ってください。
		ランプ(光源)が点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ●ランプ(光源)が切れた ●ランプ(光源)点灯回路故障 	
電源表示	赤／緑色点灯	プロジェクターの電源を入れると、電源表示が赤色点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ●フィルターカバー、ランプ交換ユニットカバー、レンズカバーを外れている(確実に取り付けられていない) 	<ul style="list-style-type: none"> ●フィルターカバー、ランプ交換ユニットカバー、レンズカバーをしっかりと取り付けてください。 ●フィルターカバー、ランプ交換ユニットカバー、レンズカバーをしっかりと取り付けても電源表示が点滅する場合は、もよりのシャープお客様ご相談窓口(98ページ)にお問い合わせください。

お知らせ

- 温度モニター表示が点滅し、電源が待機状態になったときは、処置 (84ページ) を行った後、再度電源を入れてください。再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで(約5分以上)待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。
- プロジェクターを使用しているときに、停電などで一瞬電源が切れた直後に電源が復旧した場合、ランプ表示が赤色点灯し、ランプが点灯しなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、再度電源を入れ直してください。
- プロジェクターの動作中に通風孔の掃除を行う場合は、本機を待機状態にした後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。
- 待機状態にした後、冷却ファンが動作している間(約90秒間)は、電源プラグを抜いたりしないでください。

ランプについて

ランプについて

- 光源として使われているランプは消耗品です。ランプ残存率が5%以下になったときは、早めに新しいランプ(別売)と交換してください。5%以上のランプ残存率でも、使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりした場合は早めに新しいランプと交換してください。ランプ残存率(パーセント表示)は、画面表示で確認できます。(70ページ参照)
- ランプの保証期間は、6ヵ月1,000時間以内(パワーセーブON:約66%/パワーセーブOFF:約50%)です。6ヵ月以内でも1,000時間を超えたり、1,000時間以内でも6ヵ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。
- ランプ(別売)は、シャープエンジニアリング(株)の製品です。
- ランプの取り替えは、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様相談センター(98ページ)にお問い合わせください。

⚠ 警告

- ランプの強い光は視力障害などの原因となります。プロジェクターが動作しているときは、プロジェクターのレンズや強い光が出ているすき間をのぞきこまないでください。



ランプ使用上のご注意

- プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。当ランプは衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。
また、当ランプは、個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に大きな差があります。
- 「ランプ表示」が点灯した場合は、ランプが正常に点灯している状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 当ランプが破裂したときは、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性がありますので、サービスマンまたは販売店にランプの交換と内部の点検を依頼してください。

⚠ 警告

- 当ランプが破裂したとき、ランプハウスのガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの排気口から出たりすることがあります。当ランプ内部のガスには水銀が含まれていますので破裂した場合は十分な換気をしてください。万一吸い込んだり、目に入ったり口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。



ランプを交換する

⚠ 警告

- ランプ交換ユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。
 - ランプ交換ユニットを取り外すときは、電源コードを抜いて少なくとも1時間以上放置し、ランプ交換ユニットの表面が完全に冷めたことを確認してから行ってください。
- 新しいランプ交換ユニットに交換後、ランプが点灯しない場合には、お近くの販売店にご連絡ください。BQC-XGC55X//1に対応したランプ交換ユニットをお近くの販売店でご購入ください。ランプ交換は、次ページで説明している操作手順に従い注意して行ってください。なおランプ交換は、お客様のご希望によりお近くの販売店で行うことも可能です。



ランプ交換ユニットの取り外しと取り付け

お知らせ

- 取っ手をつかんで、ランプ交換ユニットを取り外してください。ランプ交換ユニットのガラス表面やプロジェクター本体の内部には触れないでください。
- けがやランプの破損を防ぐため、手順にそって作業を行ってください。
- ランプ交換ユニットカバーとランプ交換ユニット以外のネジは絶対に外さないでください。(銀色のネジ以外はゆるめないでください。)
- ランプ交換ユニットに付属されているランプ交換説明書も合わせてご覧ください。

1 本体の STANDBY またはリモコンの を押しプロジェクターを待機状態にする

- 冷却ファンが止まるまで待ちます。

警告

- プロジェクターの使用直後にランプ交換ユニットを外さないでください。ランプが非常に熱くなっているため、火傷やけがの危険があります。



2 電源コードをプロジェクターから取り外す

- 電源コードをAC電源ソケットより外します。
- ランプ交換ユニットが十分冷えるまで(約1時間)放置します。

3 エアフィルターを交換する

- ランプ交換ユニットを取り付ける際には、エアフィルターを交換してください。(82ページ)

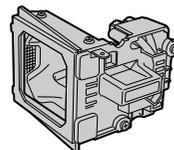
4 ランプ交換ユニットカバーを取り外す

- ランプ交換ユニットカバーを固定しているユーザーサービスネジをゆるめます。その後、外します。

5 ランプ交換ユニットを取り外す

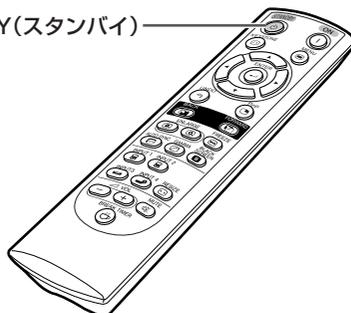
- 固定ネジをランプ交換ユニットから取り外します。取っ手をつかみ、ランプ交換ユニットを矢印の方向に引き出します。

ランプ交換
ユニット

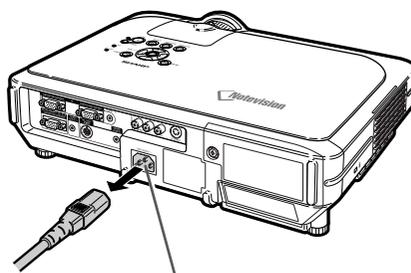
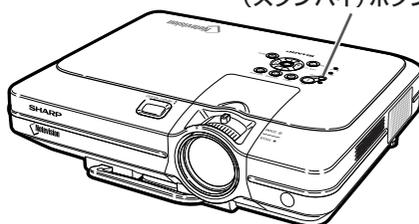


部品コード
BQC - XGC55X//1
流通コード
006 626 0316

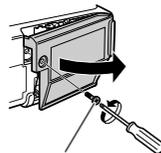
STANDBY(スタンバイ)
ボタン



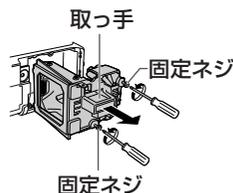
STANDBY
(スタンバイ) ボタン



AC電源ソケット



ユーザーサービスネジ

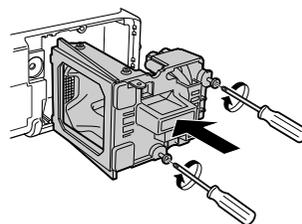


固定ネジ

ランプについて(つづき)

6 新しいランプ交換ユニットを挿入する

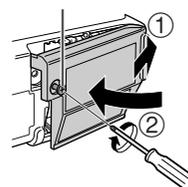
- ランプ交換ユニットをしっかりとランプ交換ユニット収納部に押し込みます。固定ネジをしめめます。



7 ランプ交換ユニットカバーを取り付ける

- ランプ交換ユニットの出っ張りをはめ込み、パチンとはまるまで押し込みます。

ユーザーサービスネジ



お知らせ

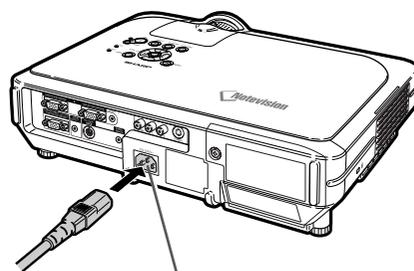
- ランプ交換ユニットとランプ交換ユニットカバーが正しく取り付けられていないと、電源コードがプロジェクトャーに接続されていても電源が入りません。

ランプ残存率 (%) をリセットする

ランプ交換を行ったときは、ランプ残存率 (%) をリセットしてください。

1 電源コードをプロジェクトャーに接続する

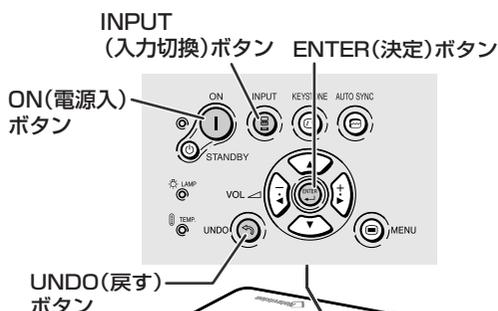
- 電源コードをプロジェクトャーのAC電源ソケットに接続します。



AC電源ソケット

2 ランプ残存率 (%) をリセットする

- プロジェクター本体の **INPUT** (入力切替) ボタン、**ENTER** (決定) ボタン、**UNDO** (戻す) ボタンを3つ同時に押しながらか、**ON** (電源入) ボタンを押します。
- ランプ残存率 (%) がリセットされ、「ランプ 100%」が表示されます。

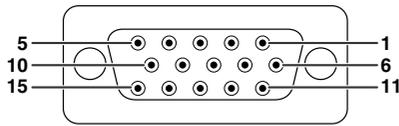


お知らせ

- ランプ残存率のリセットは、ランプ交換時以外に行わないでください。ランプ残存率をリセットして、規定以上ランプを使用すると破裂や故障の原因になることがあります。

本体のコネクタのピン配置

入力1 / 2 RGBと出力信号端子：15ピンミニD-sub 雌コネクタ



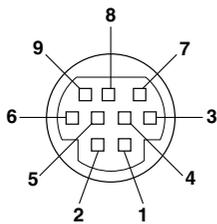
RGB入力

1. 映像入力(赤)
2. 映像入力(緑/グリーンオンシンク)
3. 映像入力(青)
4. NC
5. NC
6. 接地(赤)
7. 接地(緑/グリーンオンシンク)
8. 接地(青)
9. NC
10. 接地
11. NC
12. データ
13. 水平同期信号：TTLレベル
14. 垂直同期信号：TTLレベル
15. クロック

コンポーネント(色差)入力

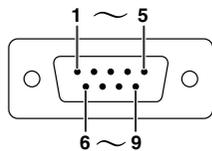
1. P_R (C_R)
2. Y
3. P_B (C_B)
4. NC
5. NC
6. 接地 (P_R)
7. 接地 (Y)
8. 接地 (P_B)
9. NC
10. NC
11. NC
12. NC
13. NC
14. NC
15. NC

RS-232C 端子：9ピンミニDIN 雌コネクタ



ピン番号	信号	信号名	I/O	参考
1			NC	
2	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4			NC	
5	SG	接地		内部回路に接続
6			NC	
7	RS	送信要求		ピン8に接続
8	CS	送信取消		ピン7に接続
9			NC	

DIN-D-sub RS-232C アダプタの9ピンD-sub 雄コネクタ



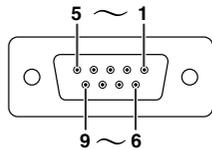
ピン番号	信号	信号名	I/O	参考
1			NC	
2	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4			NC	
5	SG	接地		内部回路に接続
6	DR	データセットレディ		NC
7	RS	送信要求	出力	内部回路に接続
8	CS		入力	内部回路に接続
9			NC	



メモ

- ピン8 (CS) とピン7 (RS) はプロジェクターの内部でショートさせています。

RS-232C ケーブルの推奨接続：9ピンD-sub 雌コネクタ

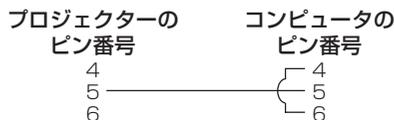


ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	CD	1	CD
2	RD	2	RD
3	SD	3	SD
4	ER	4	ER
5	SG	5	SG
6	DR	6	DR
7	RS	7	RS
8	CS	8	CS
9	CI	9	CI



メモ

- システムのレイアウトによっては、制御デバイス(コンピュータなど)のピン4とピン6を接続する必要があります。



コマンド

例:

- INPUT (入力) 1 画像の「明るさ」が-10に設定されている場合

コンピュータ

プロジェクター



制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン
電源オン	P O W R	- - - 1	OK または ERR
スタンバイ	P O W R	- - - 0	OK または ERR
電源の状態	P O W R	? ? ? ?	0 : スタンバイ, 1 : オン
ランプパワーの状態	T P O W	- - - 1	0 : オフ, 1 : オン, 2 : 冷却中, 3 : 終了中
音量 (0-60)	V O L A	- - * *	OK または ERR
ミュートオン	M U T E	- - - 1	OK または ERR
ミュートオフ	M U T E	- - - 0	OK または ERR
キーストーン補正	K E Y S	* * * *	OK または ERR
デジタルシフト	L N D S	* * * *	OK または ERR
ブラックスクリーンオン	I M B K	- - - 1	OK または ERR
ブラックスクリーンオフ	I M B K	- - - 0	OK または ERR
入力1	I R G B	- - - 1	OK または ERR
入力2	I R G B	- - - 2	OK または ERR
入力3	I V E D	- - - 1	OK または ERR
入力4	I V E D	- - - 2	OK または ERR
入力の確認	I C H K	- - - 0	OK または ERR
静止画オン	F R E Z	- - - 1	OK または ERR
静止画オフ	F R E Z	- - - 0	OK または ERR
自動同期調整の開始	A D J S	- - - 1	OK または ERR
入力1画面サイズ: 標準	R A S R	- - - 1	OK または ERR
入力1画面サイズ: フル	R A S R	- - - 5	OK または ERR
入力1画面サイズ: ドットバイドット	R A S R	- - - 3	OK または ERR
入力1画面サイズ: スクイーズ (フル)	R A S R	- - - 2	OK または ERR
入力1画面サイズ: ワイド	R A S R	- - - 4	OK または ERR
入力2画面サイズ: 標準	R B S R	- - - 1	OK または ERR
入力2画面サイズ: フル	R B S R	- - - 5	OK または ERR
入力2画面サイズ: ドットバイドット	R B S R	- - - 3	OK または ERR
入力2画面サイズ: スクイーズ (フル)	R B S R	- - - 2	OK または ERR
入力2画面サイズ: ワイド	R B S R	- - - 4	OK または ERR
入力3画面サイズ: ズーム	R A S V	- - - 1	OK または ERR
入力3画面サイズ: 標準	R A S V	- - - 3	OK または ERR
入力3画面サイズ: スクイーズ (フル)	R A S V	- - - 2	OK または ERR
入力3画面サイズ: ワイド	R A S V	- - - 4	OK または ERR
入力4画面サイズ: ズーム	R B S V	- - - 1	OK または ERR
入力4画面サイズ: 標準	R B S V	- - - 3	OK または ERR
入力4画面サイズ: スクイーズ (フル)	R B S V	- - - 2	OK または ERR
入力4画面サイズ: ワイド	R B S V	- - - 4	OK または ERR
RGB ガンマ: 標準	G A M R	- - - 1	OK または ERR
RGB ガンマ: プレゼンテーション	G A M R	- - - 2	OK または ERR
RGB ガンマ: シネマ	G A M R	- - - 3	OK または ERR
RGB ガンマ: ユーザー設定	G A M R	- - - 4	OK または ERR
ビデオ入力ガンマ: 標準	G A M V	- - - 1	OK または ERR
ビデオ入力ガンマ: プレゼンテーション	G A M V	- - - 2	OK または ERR
ビデオ入力ガンマ: シネマ	G A M V	- - - 3	OK または ERR
ビデオ入力ガンマ: ユーザー設定	G A M V	- - - 4	OK または ERR
入力1コントラスト (-30 - +30)	R A P I	- * * *	OK または ERR
入力1明るさ (-30 - +30)	R A B R	- * * *	OK または ERR
入力1赤 (-30 - +30)	R A R D	- * * *	OK または ERR
入力1青 (-30 - +30)	R A B E	- * * *	OK または ERR
入力1色の濃さ (-30 - +30)	R A C O	- * * *	OK または ERR
入力1色あい (-30 - +30)	R A T I	- * * *	OK または ERR
入力1画質 (-30 - +30)	R A S H	- * * *	OK または ERR
入力1色温度 (-3 - +3)	R A C T	- * * *	OK または ERR
入力1表示	R A R E	- - - 0	OK または ERR
入力1調整のリセット	R A R E	- - - 1	OK または ERR

ボタンの名前

映像調整

制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン
入力2コントラスト (-30 - +30)	R B P I	- * * *	OK または ERR
入力2明るさ (-30 - +30)	R B B R	- * * *	OK または ERR
入力2赤 (-30 - +30)	R B R D	- * * *	OK または ERR
入力2青 (-30 - +30)	R B B E	- * * *	OK または ERR
入力2色の濃さ (-30 - +30)	R B C O	- * * *	OK または ERR
入力2色あい (-30 - +30)	R B T I	- * * *	OK または ERR
入力2画質 (-30 - +30)	R B S H	- * * *	OK または ERR
入力2色温度 (-3 - +3)	R B C T	- * * *	OK または ERR
入力2表示	R B R E	- - - 0	OK または ERR
入力2調整のリセット	R B R E	- - - 1	OK または ERR
入力1入力信号タイプ: RGB入力	I A S I	- - - 1	OK または ERR
入力1入力信号タイプ: 色差入力	I A S I	- - - 2	OK または ERR
入力2入力信号タイプ: RGB入力	I B S I	- - - 1	OK または ERR
入力2入力信号タイプ: 色差入力	I B S I	- - - 2	OK または ERR
入力1 2Dプログレッシブ	R A I P	- - - 0	OK または ERR
入力1 3Dプログレッシブ	R A I P	- - - 1	OK または ERR
入力1 フィルム	R A I P	- - - 2	OK または ERR
入力2 2Dプログレッシブ	R B I P	- - - 0	OK または ERR
入力2 3Dプログレッシブ	R B I P	- - - 1	OK または ERR
入力2 フィルム	R B I P	- - - 2	OK または ERR
入力3コントラスト (-30 - +30)	V A P I	- * * *	OK または ERR
入力3明るさ (-30 - +30)	V A B R	- * * *	OK または ERR
入力3赤 (-30 - +30)	V A R D	- * * *	OK または ERR
入力3青 (-30 - +30)	V A B E	- * * *	OK または ERR
入力3色の濃さ (-30 - +30)	V A C O	- * * *	OK または ERR
入力3色あい (-30 - +30)	V A T I	- * * *	OK または ERR
入力3画質 (-30 - +30)	V A S H	- * * *	OK または ERR
入力3色温度 (-3 - +3)	V A C T	- * * *	OK または ERR
入力3表示	V A R E	- - - 0	OK または ERR
入力3調整のリセット	V A R E	- - - 1	OK または ERR
入力4コントラスト (-30 - +30)	V B P I	- * * *	OK または ERR
入力4明るさ (-30 - +30)	V B B R	- * * *	OK または ERR
入力4赤 (-30 - +30)	V B R D	- * * *	OK または ERR
入力4青 (-30 - +30)	V B B E	- * * *	OK または ERR
入力4色の濃さ (-30 - +30)	V B C O	- * * *	OK または ERR
入力4色あい (-30 - +30)	V B T I	- * * *	OK または ERR
入力4画質 (-30 - +30)	V B S H	- * * *	OK または ERR
入力4色温度 (-3 - +3)	V B C T	- * * *	OK または ERR
入力4表示	V B R E	- - - 0	OK または ERR
入力4調整のリセット	V B R E	- - - 1	OK または ERR
入力3 2Dプログレッシブ	V A I P	- - - 0	OK または ERR
入力3 3Dプログレッシブ	V A I P	- - - 1	OK または ERR
入力3 フィルム	V A I P	- - - 2	OK または ERR
入力4 2Dプログレッシブ	V B I P	- - - 0	OK または ERR
入力4 3Dプログレッシブ	V B I P	- - - 1	OK または ERR
入力4 フィルム	V B I P	- - - 2	OK または ERR
カラー設定: 標準	C M C S	- - - 0	OK または ERR
カラー設定: sRGB	C M C S	- - - 0	1 OK または ERR
カラー設定: ユーザー設定1	C M C S	- - - 1	1 OK または ERR
カラー設定: ユーザー設定2	C M C S	- - - 1	2 OK または ERR
カラー設定: ユーザー設定3	C M C S	- - - 1	3 OK または ERR
ターゲット: 赤	C M T G	- - - 1	OK または ERR
ターゲット: 黄	C M T G	- - - 2	OK または ERR
ターゲット: 緑	C M T G	- - - 3	OK または ERR
ターゲット: シアン	C M T G	- - - 4	OK または ERR
ターゲット: 青	C M T G	- - - 5	OK または ERR
ターゲット: マゼンタ	C M T G	- - - 6	OK または ERR

C M S

付録

(RS-232C) 仕様とコマンドの設定 (つづき)

	制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン
C.M.S.	明度 (-30 - +30)	CMSL	- * * *	OK または ERR
	彩度 (-30 - +30)	CMSC	- * * *	OK または ERR
	色相 (-30 - +30)	CMSH	- * * *	OK または ERR
	リセット (選択色のみ)	CMRE	- - -	1 OK または ERR
	リセット (全色)	CMRE	- - -	2 OK または ERR
*1 同期調整	クロック (-150 - +150)	INCL	- * * *	OK または ERR
	水平位相 (-30 - +30)	INPH	- * * *	OK または ERR
	水平位置 (-150 - +150)	IHP	- * * *	OK または ERR
	垂直位置 (-60 - +60)	IAMP	- * * *	OK または ERR
	RGB入力表示	IARE	- - -	0 OK または ERR
	RGB調整のリセット	IARE	- - -	1 OK または ERR
	メモリー保存 (1-7)	MEMS	- - -	* OK または ERR
	メモリー選択 (1-7)	MEML	- - -	* OK または ERR
	RGB水平周波数の確認	TRFRQ	- - -	1 kHz (** * または)
	RGB垂直周波数の確認	TRFRQ	- - -	2 Hz (** * または)
	自動同期調整オフ	AADJ	- - -	0 OK または ERR
	自動同期調整オン (標準)	AADJ	- - -	1 OK または ERR
	自動同期調整オン (高速)	AADJ	- - -	2 OK または ERR
	自動同期調整の表示オン	IMAS	- - -	1 OK または ERR
	自動同期調整の表示オフ	IMAS	- - -	0 OK または ERR
	*2 オプション①	音声出力固定	AOUT	- - -
音声出力可変		AOUT	- - -	2 OK または ERR
スピーカーオン		ASPK	- - -	1 OK または ERR
スピーカーオフ		ASPK	- - -	0 OK または ERR
ピクチャーインピクチャー: 右下		PINP	- 1 1	OK または ERR
ピクチャーインピクチャー: 左下		PINP	- 1 2	OK または ERR
ピクチャーインピクチャー: 右上		PINP	- 1 3	OK または ERR
ピクチャーインピクチャー: 左上		PINP	- 1 4	OK または ERR
ピクチャーインピクチャーオフ		PINP	- - 0	OK または ERR
パワーセーブ: 標準		THMD	- - -	0 OK または ERR
パワーセーブ: ローパワー		THMD	- - -	1 OK または ERR
DNR : オフ		3DNR	- - -	0 OK または ERR
DNR : レベル 1		3DNR	- - -	1 OK または ERR
DNR : レベル 2		3DNR	- - -	2 OK または ERR
DNR : レベル 3		3DNR	- - -	3 OK または ERR
自動入力サーチ: オフ		INSE	- - -	0 OK または ERR
自動入力サーチ: オン	INSE	- - -	1 OK または ERR	
OSD表示: 標準	IMDI	- - -	1 OK または ERR	
OSD表示: レベルA	IMDI	- - -	2 OK または ERR	
OSD表示: レベルB	IMDI	- - -	0 OK または ERR	
ブラックスクリーンの表示オン	IMBO	- - -	1 OK または ERR	
ブラックスクリーンの表示オフ	IMBO	- - -	0 OK または ERR	
映像信号方式の選択: 自動	MESY	- - -	1 OK または ERR	
映像信号方式の選択: PAL(50/60Hz)	MESY	- - -	2 OK または ERR	
映像信号方式の選択: SECAM	MESY	- - -	3 OK または ERR	
映像信号方式の選択: NTSC4.43	MESY	- - -	4 OK または ERR	
映像信号方式の選択: NTSC3.58	MESY	- - -	5 OK または ERR	
映像信号方式の選択: PAL_M	MESY	- - -	6 OK または ERR	
映像信号方式の選択: PAL_N	MESY	- - -	7 OK または ERR	

	制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン
オプション①	無信号時画面の設定: 初期設定画面	IMBG	- - -	1 OK または ERR
	無信号時画面の設定: ユーザー選択画面	IMBG	- - -	2 OK または ERR
	無信号時画面の設定: フルバック	IMBG	- - -	3 OK または ERR
	無信号時画面の設定: 画面表示無し	IMBG	- - -	4 OK または ERR
	オープニング画面設定: 初期設定画面	IMSI	- - -	1 OK または ERR
	オープニング画面設定: ユーザー選択画面	IMSI	- - -	2 OK または ERR
	オープニング画面設定: 画面表示無し	IMSI	- - -	3 OK または ERR
	自動電源オフ: 不使用	APOW	- - -	0 OK または ERR
	自動電源オフ: 使用	APOW	- - -	1 OK または ERR
	ランプ残存率	TLTL	- - -	1 0-100 (整数)
オプション②	ランプの状態	TLPS	- - -	1 0:オフ, 1:オン, 2:再試行, 3:待機中, 4:ランプのエラー
	投映方式: 左右反転 オフ	IMRE	- - -	0 OK または ERR
言語選択	投映方式: 左右反転 オン	IMRE	- - -	1 OK または ERR
	投映方式: 上下反転 オフ	IMIN	- - -	0 OK または ERR
	投映方式: 上下反転 オン	IMIN	- - -	1 OK または ERR
	キーロックレベル: 標準	KEYL	- - -	0 OK または ERR
	キーロックレベル: レベルA	KEYL	- - -	1 OK または ERR
	キーロックレベル: レベルB	KEYL	- - -	2 OK または ERR
	言語選択: ENGLISH	MELA	- - -	1 OK または ERR
	言語選択: DEUTSCH	MELA	- - -	2 OK または ERR
	言語選択: ESPAÑOL	MELA	- - -	3 OK または ERR
	言語選択: NEDERLANDS	MELA	- - -	4 OK または ERR
	言語選択: FRANÇAIS	MELA	- - -	5 OK または ERR
	言語選択: ITALIANO	MELA	- - -	6 OK または ERR
	言語選択: SVENSKA	MELA	- - -	7 OK または ERR
	言語選択: 日本語	MELA	- - -	8 OK または ERR
	言語選択: PORTUGUÉS	MELA	- - -	9 OK または ERR
	言語選択: 汉语	MELA	- - -	10 OK または ERR
言語選択: 한국어	MELA	- - -	11 OK または ERR	
一覧	モデル名の確認	MNRD	- - -	1 モデル名
	シリアル番号の確認 *2	SNRD	- - -	1 シリアル番号
	プロジェクター名の設定1 (最初の4文字)	PJN1	* * * *	OK または ERR
	プロジェクター名の設定2 (途中の4文字)	PJN2	* * * *	OK または ERR
	プロジェクター名の設定3 (最後の4文字)	PJN3	* * * *	OK または ERR
プロジェクター名の確認	PJN0	- - -	1 プロジェクター名	

メモ

- パラメータの列でアンダーバー (_) のところには、スペースを入力します。アスタリスク (*) のところには、「制御する内容」のカッコ内に示された範囲の値を入力します。
- *1 同期調整は表示されたRGBモードでのみ設定できます。
- *2 シリアル番号確認のコマンドは、12桁のシリアル番号を読み出すのに使われます。

ワイヤードリモコン入力端子の仕様

ワイヤードリモコン入力の仕様

- φ3.5ミニジャック
- 外部:+5 V (1A)
- 内部:GND

ファンクションコードと転送コード

制御項目	システムコード					データコード					外部コード				
	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
電源入	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0
スタンバイ	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0
音量+	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0
音量-	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0
ミュート	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0
メニュー	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0
キーストーン補正	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0
ブラックスクリーン	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0
決定	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0
画面サイズ	1	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0
戻す	1	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0
静止画	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0
拡大	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0
縮小	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0

制御項目	システムコード					データコード					外部コード				
	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
自動同期調整	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	0
▲	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0
▼	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0
◀	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0
▶	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0
ガンマ補正	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
PinP	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
戻し	1	0	1	1	0	0	1	1	1	0	1	0	1	1	0
送り	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0	1	1	0
休憩時間	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0
入力1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0
入力2	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0
入力3	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0
入力4	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0

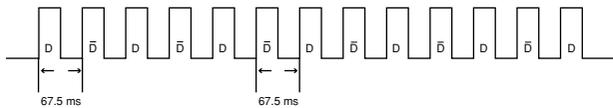
ワイヤードリモコンのファンクションコード

LSB					MSB										
C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15	
1	0	1	1	0	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1	0

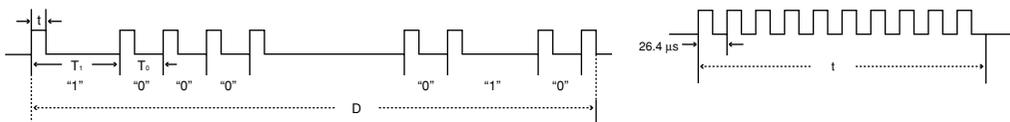
- C1からC5までのシステムコードは「10110」に固定されています。
- C14とC15のコードは逆方向の確認ビットです。「10」が「フロント」を、「01」が「リア」を示します。

シャープ製リモコンのシグナル形式

転送形式: 15ビット形式



出力信号の波形: パルス位置変調を使った出力



- $t = 264 \mu\text{s}$
- $T_0 = 1.05 \text{ ms}$
- $T_1 = 2.10 \text{ ms}$
- パルス移送周波数 = $455/12 \text{ kHz}$
- 仕事率 = 1:1

転送制御コード

15ビット

C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
システムアドレス					ファンクションキーデータビット					データ拡張		マスク	データ決定	
D to \bar{D} コマンドデータビット										\bar{D} の反転				

D to D反転の例

D	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
\bar{D}	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
0	1	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1

RGB入力信号 (推奨信号) について

コンピュータ

- 幅広い信号に対応
 - 水平周波数：15kHz～126kHz
 - 垂直周波数：43Hz～200Hz*
 - ドットクロック：12MHz～230MHz
 - 同期信号：TTLレベルに対応
- シンクオングリーン信号とコンポジットシンク信号に対応。
- 高品位圧縮表示により、UXGA、SXGAに対応。
- AICS リサイズ技術(高品位圧縮表示/拡大表示)採用。

下表は VESA 準拠モード一覧です。ただし本機は VESA 規格以外の信号にも対応しています。

PC/MAC/WS	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	VESA規格	ディスプレイ	
PC	VGA	640×350	27.0	60		拡大表示
			31.5	70		
			37.9	85	✓	
		720×350	27.0	60		
			31.5	70		
			27.0	60		
	640×400	640×400	31.5	70		
			37.9	85	✓	
			27.0	60		
	720×400	720×400	31.5	70		
			37.9	85	✓	
			26.2	50		
			31.5	60		
			34.7	70		
			37.9	72	✓	
			37.5	75	✓	
			43.3	85	✓	
			47.9	90		
			53.0	100		
			61.8	120		
			78.5	150		
	640×480	640×480	80.9	160		
			100.4	200		
			31.4	50		
			35.1	56	✓	
			37.9	60	✓	
			44.5	70		
			48.1	72	✓	
			46.9	75	✓	
			53.7	85	✓	
56.8			90			
64.0			100			
77.2			120			
98.3	150					
102.1	160					
125.6	200					
XGA	1,024×768	35.5	43			
		40.3	50			
		48.4	60	✓		
		56.5	70	✓		
		58.1	72			
		60.0	75	✓		
		68.7	85	✓		
		73.5	90			
		77.2	96			
		80.6	100			
		98.8	120			
		113.2	140			

PC/MAC/WS	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	VESA規格	ディスプレイ	
PC	SXGA	1,152×864	54.3	60		高品位 圧縮表示
			64.0	70		
			64.1	72		
			67.5	75	✓	
			75.7	80		
			77.3	85		
			90.2	100		
			54.8	60		
			65.9	72		
			67.4	74		
			64.0	60	✓	
			74.6	70		
	78.1	74				
	80.0	75	✓			
	91.1	85	✓			
	108.4	100				
	SXGA*	1,400×1,050	64.0	60		
	UXGA	1,600×1,200	74.7	52		
			75.0	60	✓	
			81.3	65	✓	
			87.5	70	✓	
			90.1	72		
			93.8	75	✓	
	106.3	85	✓			
PC/MAC 13"	VGA	640×480	34.9	67		拡大表示
PC/MAC 19"	XGA	1,024×768	48.4	60	✓	リアル表示
PC/MAC 21"	SXGA	1,280×1,024	60.0	75	✓	高品位 圧縮表示
MAC 16"	SVGA	800×600	80	75		拡大表示
MAC 21"	SXGA	832×624	46.8	75		高品位 圧縮表示
HP (WS)	SXGA	1,152×870	49.6	75		
PC (WS)	SXGA	1,280×1,024	68.5	75		
WS	SXGA	1,280×960	78.1	72		
SGL (WS)	SXGA	1,280×960	60.0	60	✓	
SUN (WS)	SXGA	1,280×900	85.9	85		
			53.5	50		
			76.8	72		
			60.9	66		
			71.9	76		

DTV

入力信号	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
525I	15.7	60
525P	31.5	60
540P	33.8	60
750P	45.0	60
1035I	33.8	60
1125I	33.8	60
1125I	28.1	50



- 本機は、同時(CRT/LCD)モードでノート型コンピュータからの映像を表示できない場合があります。この場合は、ノート型コンピュータ側で液晶表示をオフにして"CRTのみ"モードで表示データを出力してください。表示モードを変更するための詳細はお持ちのノート型コンピュータの操作マニュアルに記載されています。
 - 本機は640×350 VESA 形式のVGA信号を入力した場合、スクリーン上では"640×400"と表示されます。
 - 1,600×1,200 VESA形式のUXGA信号を入力した場合は、サンプリングを行い、映像を1,024本の線で表示するため、映像の一部が欠けることがあります。
 - インターレース映像信号の動画を本機で投影するとき、RGB入力を使用すると、映像信号によってはお客様が意図した映像にならない場合があります。そのような場合は、コンポーネント入力、S映像入力、ビデオ入力をご使用ください。
- * 垂直周波数100Hz以上の信号を入力し、画面表示を出しているときは、一時的に画面にノイズが現れることがあります。

故障かな?と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 映像も音声も出ない、 またはプロジェクター が始動しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	17
	●接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	-
	●表示させる画面の選択(入力モード)がまちがっていませんか。	35
	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	17~23
	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。	13
	●ノート型コンピュータを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。	-
 音声は出るが映像が出ない	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	17~23
	●映像調整の「明るさ」が「-(マイナス)」側いっぱいになっていませんか。	46
 色がうすい、色あいが悪い	●映像調整は、正しく調整されていますか。	46
	<ビデオ入力するとき> ●ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。 <入力1/2のとき> ●入力信号タイプのRGB/色差が正しく設定されていますか。	66
	●入力信号タイプのRGB/色差が正しく設定されていますか。	47
 映像がボヤける ノイズが発生する	●レンズのフォーカスは合っていますか。	26
	●投映距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	27~31
	<コンピュータ入力するとき> ●同期調整(クロック調整)を行ってください。 ●同期調整(位相調整)を行ってください。 ●コンピュータによってはノイズが発生することがあります。	48 48 (94)
	●デジタルノイズリダクション(DNR)の設定は適切ですか?	65
 映像は出るが音声が出ない	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	17~23
	●音量が最小になっていませんか。	35
	●「ミュート」が表示されていませんか。	36
キャビネットから時々「ピシッ」と音がする	●画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	-
お知らせランプが点灯する	●「お知らせ表示について」をご覧ください。	84
画面のキャプチャができない	●INPUT(入力)1または2の信号はRGB XGA(1024×768)ですか。それ以外の信号ではキャプチャできません。	67
P in Pができない	●INPUT(入力)1または2の信号がSXGAを超える解像度になっていませんか。 ●INPUT(入力)1または2の入力信号が525I、525P、750P、1125Iのコンポーネント(色差)信号を入力していませんか。 ●INPUT(入力)1または2の入力信号がRGB信号でインターレースのモードになっていませんか。 ●画像表示モードがドットバイドットになっていませんか。 ●INPUT(入力)1または2の信号が無信号になったり、解像度、リフレッシュレート(垂直周波数)が変更されていませんか。	57
本体ボタンで電源を入/待機状態にできない	●キーロックレベルが設定されていませんか。レベルBに設定されている場合、すべてのボタンが動きません。レベルAに設定されている場合、入力切換、音量、以外のボタンは動きません。	71

故障かな?と思ったら(つづき)

こんなとき	ここをお調べください	ページ
入力1または2の コンポーネントモードで 画面が緑がかる	<ul style="list-style-type: none"> •入力信号タイプが正しく設定されていますか。 	47
入力1または2の RGBモードで 画面がピンクがかる		
映像が暗い	<ul style="list-style-type: none"> •ランプ表示が赤色点滅していませんか。 赤色点滅しているときは、ランプ交換してください。 	84
映像が明るすぎて 白っぽくなる	<ul style="list-style-type: none"> •映像調整は、正しく調整されていますか。 	46
本体の音量ボタンが 働かない	<p>次のときは本体の音量ボタンは働きません。(リモコンのVOL+/-で操作してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> •メニュー表示中 •レンズメニュー表示中 •P in P動作中 •ENLARGE (2倍以上) •パネル解像度より大きい画面解像度のドットバイドット 	—
電源スタンバイ時に コンピュータから RS-232Cコマンドを 使ってプロジェクターを 制御しようとする と、レスポンスコードが 受信されない	<ul style="list-style-type: none"> •電源スタンバイ時にRS-232Cコマンドを送信した場合は、コンピュータがレスポンスコードを受信するのに最大30秒かかります。コンピュータのレスポンスコードの待ち時間を30秒以上に設定してください。 	90

アフターサービスについて

保証書(別添)

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間
 - 光源(ランプ)以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
 - 光源(ランプ)およびその修理工料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。(6ヵ月以内でも使用時間が1,000時間を超えているときは、保証の対象となりません。)

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(98ページ)にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、プロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

- 「故障かな?と思ったら」(95ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品名	: 液晶プロジェクター
形名	: XG-C60X
お買いあげ日	: (年月日)
故障の状況	: (できるだけ具体的に)
ご住所	: (付近の目印も合わせてお知らせください。)
お名前	:
電話番号	:
ご訪問希望日	:

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年 月 日	電話() —

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

愛情点検



長年ご使用のプロジェクターの点検を！ こんな症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 電源を入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。
- 画面が映ったり、消えたりする。
- 映像が乱れたり、色がきれいに出不い。
- その他の異常や故障がある。

このような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後6時 *日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）



0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／PHSでのご利用は	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○ FAXを送信される場合は	F A X	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、

下記地区別窓口にて承っております。

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

〔但し、沖縄・奄美地区〕は.....*月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠 点 名	電 話 番 号	郵便番号	所 在 地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市松台295-1
	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170番1
東海地区	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後6時 *日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL 043 - 297 - 4649	FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06 - 6621 - 4649	FAX 06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（03.10）

仕様

品名	液晶プロジェクター	
形名	XG-C60X	
表示方式	液晶パネル×3、RGB光学シャッター方式	
液晶パネル	パネルサイズ	0.99型(縦15.0mm×横20.0mm)
	画素数	786,432(横1,024×縦768)ドット
標準レンズ	1~1.27倍手動ズームレンズ F1.7~2.2 f 36.5mm~46.3mm	
ランプ	300W	
音声出力	3.0W(モノラル)	
スピーカー	角型4×7cm 16Ω	
定格電圧	AC100V~240V	
定格周波数	50/60Hz	
入力電流	4.0A	
消費電力	400W(パワーセーブOFF時) / 325W(パワーセーブON) / (電源スタンバイ時 0.5W)	
使用温度範囲	5℃~35℃	
保管温度範囲	-20℃~+60℃	
入出力端子	コンピュータRGB/コンポーネント入力端子(INPUT1/2)	RGB分離型アナログ信号/コンポーネント信号 : 15ピンミニD-sub端子 (INPUT1/2) : Y1.0Vp-p (75Ω) : Pb0.7Vp-p (75Ω) : Pr0.7Vp-p (75Ω)
	音声入力端子 (INPUT1/2)	音声: 0.5Vrms、47kΩ以上 : ϕ3.5ステレオミニジャック端子 (INPUT1/2)
	コンピュータRGB/コンポーネントモニター出力端子	RGB分離型アナログ信号/コンポーネント信号 : 15ピンミニD-sub端子 : Y1.0Vp-p (75Ω) : Pb0.7Vp-p (75Ω) : Pr0.7Vp-p (75Ω)
	ビデオ入力端子 (INPUT3)	映像: 1.0Vp-p、75Ω、同期負 : RCAピン端子 (INPUT3)
	S映像入力端子 (INPUT4)	輝度信号入力: 1.0Vp-p、75Ω、同期負: 4ピンミニDINコネクタ 色信号入力: 0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω
	音声入力端子 (INPUT3/4)	音声: 0.5Vrms、22kΩ以上 : RCAピン端子 (INPUT3/4)
	音声モニター出力端子	音声: 0.5Vrms、2.2kΩ以下 : ϕ3.5ステレオミニジャック端子
	ワイヤードリモコン入力端子	ϕ3.5ミニジャック端子
	RS-232C端子	9ピンミニDIN
	キャビネット	プラスチック
外形寸法	幅390mm、奥行294mm、高さ99.0mm(突起部除く)	
質量	5.1kg	
<付属品>	<ul style="list-style-type: none"> リモコン 単3形乾電池×2本 電源コード RGBケーブル USBケーブル ダストカバー レンズキャップ(装着出荷) 交換用エアフィルター DIN-D-sub RS-232Cアダプター リモートマウスレシーバー 取扱説明書(本書) クイックガイドラベル 保証書 使用許諾契約書 CD-ROM(Sharp Advanced Presentation Software、PDF取扱説明書) CD-ROM(XG-C60X PDF取扱説明書) Sharp Advanced Presentation Softwareインストールガイド 	

※垂直周波数100Hz以上の信号を入力し、画面表示を出しているときは、一時的に画面にノイズが現れることがあります。

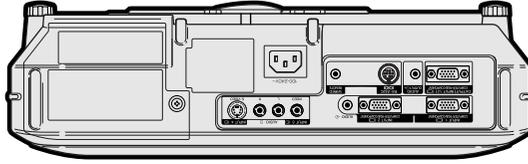
お願い

- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
- ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

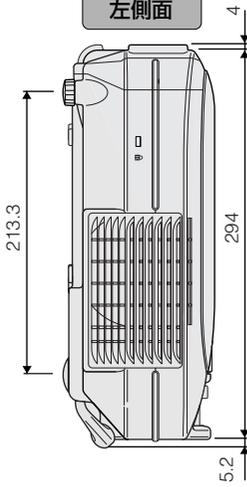
寸法図

単位:mm

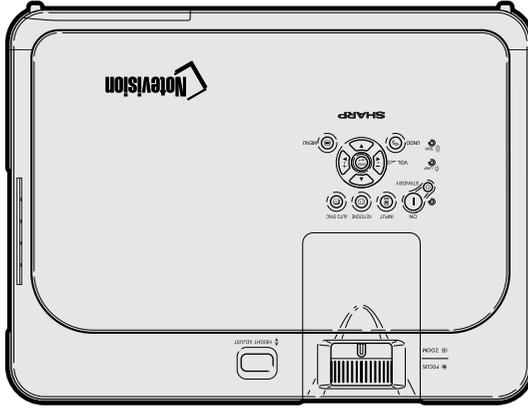
背面



左側面



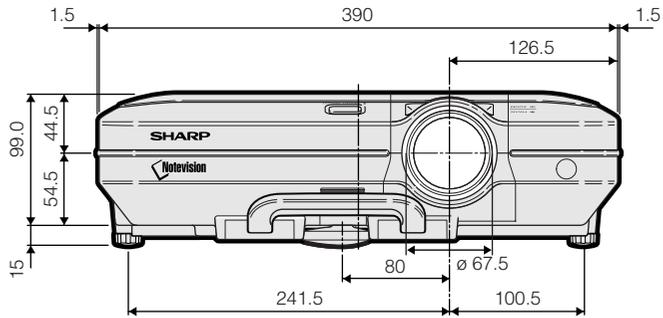
上面



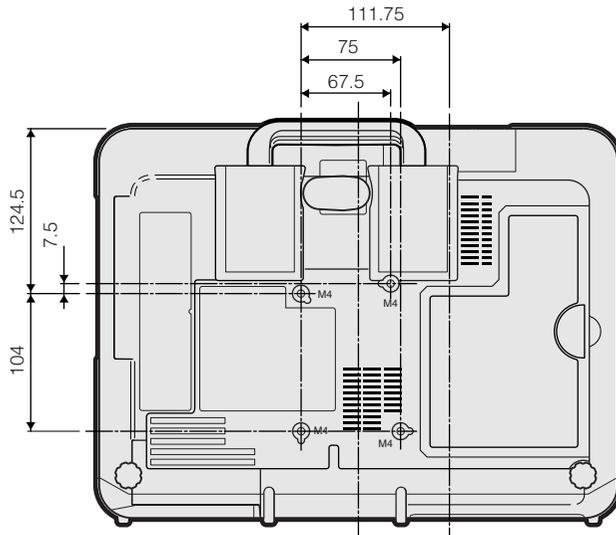
右側面

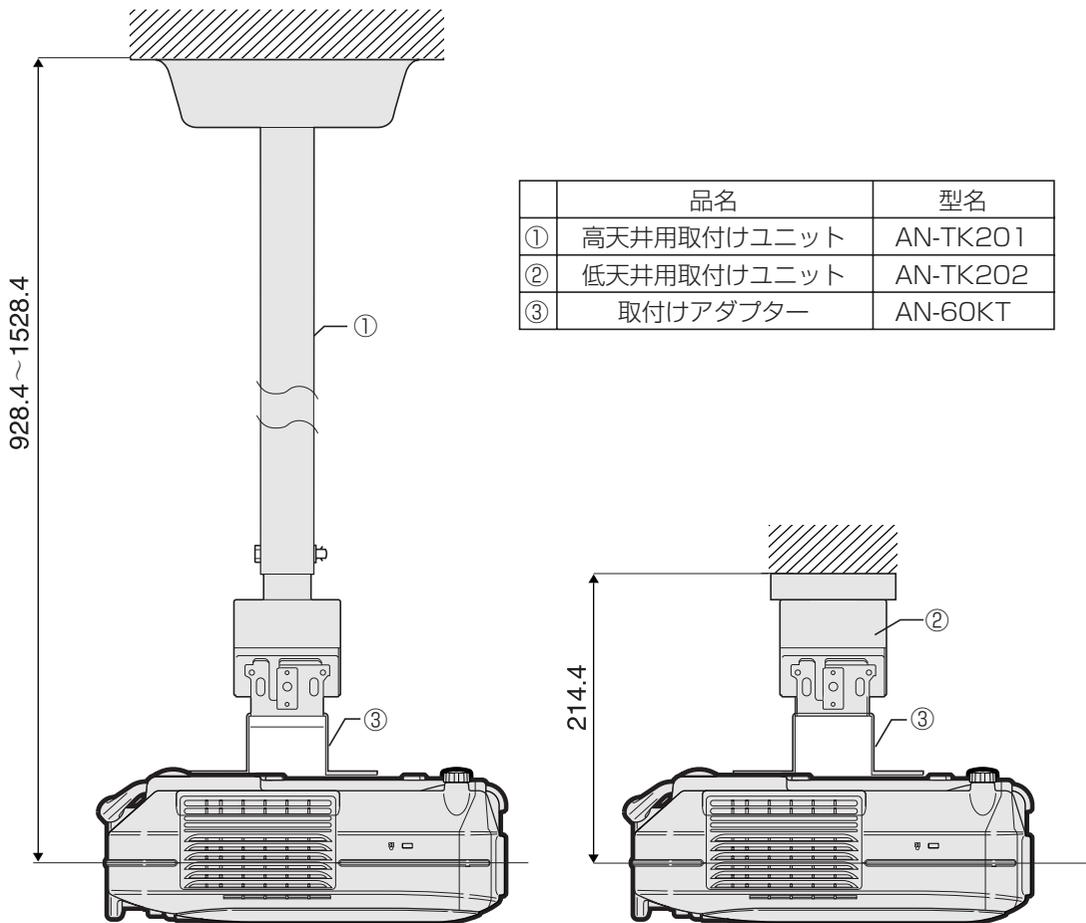


前面



裏面

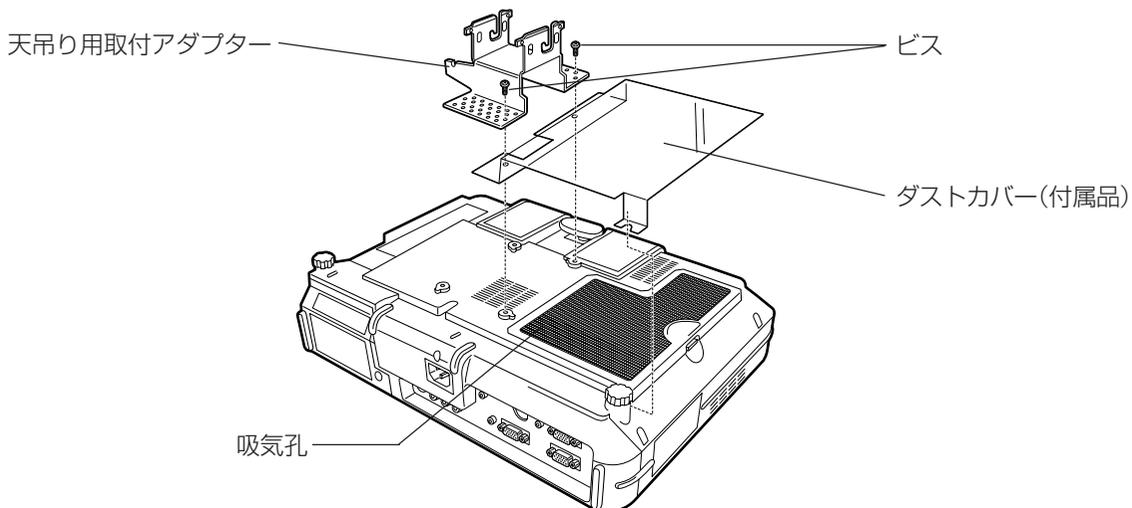




お知らせ

ダストカバーの取り付け方

ほこりが吸気孔からプロジェクターに入らないように、プロジェクターを天井吊り設置するときは必ずダストカバーを取り付けてください。



• ダストカバーを上図のように天井用取付アダプターとプロジェクターの間にはさみ込んで取り付けます。

C.M.S.(カラーマネージメント)機能(60ページ)

赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタの6色の特性を個別に調整できる機能です。

Notevision Lock Down(2ページ)

新しい天吊りの方式で、盗難防止の効果があり、従来に比べてさらに堅牢な設置を実現しています。

sRGB(60ページ)

IEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。一定の色の表現領域を定めたもので、「sRGB」モードに切り換えると、液晶の特性を考慮した色変換を行い、原画像に基いた自然な色合いで表示します。

色温度(46ページ)

プロジェクターに入力された映像のタイプに合わせて、色温度を調節する機能です。自然な肌色を表現したいときは、色温度を下げ、温かさ、赤っぽさを強調し、より明るい画像にしたいときは、色温度を上げて、冷たさ、青っぽさを強調します。

画像表示モード(52ページ)

入力された映像の画質をよくするために、画像表示モードを切り換えることができます。「標準」・「フル」・「ドットバイドット」・「ズーム」・「スクイーズ(フル)」・「ワイド」から選択できます。

ガンマ補正(56ページ)

映像の違いや、部屋の明るさの違いにより映像が見にくい場合、映像の暗い部分をより明るくして映像を見やすくする機能です。「標準」、「プレゼンテーション」、「シネマ」、「ユーザー設定」から選択できます。

キーストーン補正(38ページ)

プロジェクターの映像を投射したとき、台形に歪んだ映像をデジタル修正するための機能です。

キーロック(71ページ)

いたずら防止のため、プロジェクター本体のボタン(キー)操作をロックできます。

クロック調整(48ページ)

コンピュータ入力時、映像の縦方向に出る帯状のノイズを低減するための調整です。

高品位圧縮表示／拡大表示(94ページ)

解像度が低い、または高い映像を投射する場合、プロジェクターの解像度に合わせて映像の画像サイズを高品位に調整します。

システムロック(75ページ)

プロジェクターに設定された「キーコード」を入力しないと、信号を入力しても画像を投射できなくする機能です。

自動同期調整(48ページ)

コンピュータの画像を最適な状態で投射する機能です。

水平位相(48ページ)

同じ解像度を保ったまま、走査のタイミングを調整します。水平位相が最適でないとき、横方向のノイズをともなって、映像がチカチカします。

スクイーズ(フル)(53ページ)

16:9のワイド画像を4:3(縦長サイズ)に圧縮したスクイーズ映像を投射するとき、映像を均一に左右に引き伸ばして、16:9スクリーンいっばいに投射するモードです。

縦横比(52ページ)

映像の横・縦の比率です。コンピュータやビデオにおける通常の縦横比は4:3です。縦横比が16:9/21:9という横幅の広いワイド映像もあります。アスペクト比と呼ばれる場合もあります。

デジタルシフト(39ページ)

ビデオ信号やハイビジョン信号入力時に画像表示モードを標準、スクイーズ(フル)、ワイドに設定すると、▲または▼で簡単に画像を上下に移動することができます。

ドットバイドット(52ページ)

映像を元の解像度で投射するモードです。

パスワード(73ページ)

オプション2メニューの設定内容を変更されたくないときはパスワード(暗証番号)を設定します。

ピクチャーインピクチャー(57ページ)

コンピュータ画面上に小画面でビデオを表示する方法です。

標準(53ページ)

4:3の映像を4:3のアスペクト比を保ったまま、16:9スクリーンの内側いっばいに投射するモードです。

プログレッシブモード(47ページ)

プログレッシブ変換のモードを選択できます。「2D プログレッシブ」、「3D プログレッシブ」、「フィルム」から選択できます。

無信号時画面(68ページ)

信号が入力されていないときに投射される初期設定映像です。

ワイド(53ページ)

4:3の映像を投射するとき、映像の中心部付近の縦横比を維持しながら、周辺部分だけを引き伸ばして、16:9スクリーンいっばいに投射するモードです。

索引

記号英数

2D プログレッシブ	47
3D プログレッシブ	47
AC電源ソケット	17
AUDIO INPUT(音声入力)1、2端子	17
AUDIO (L/R)INPUT(音声入力)3、4端子	19
AUDIO OUTPUT(音声出力)端子	21
AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン	50
BACK(戻し)ボタン	24
BLACK SCREEN(ブラックスクリーン)ボタン	58
BREAK TIMER(休憩時間)ボタン	59
C.M.S.(カラーマネージメント)機能	60
DIN-D-sub RS-232Cアダプター	22
DNR	65
ENLARGE(拡大/縮小)ボタン	55
ENTER(決定)ボタン	44
FORWARD(送り)ボタン	24
FREEZE(静止画)ボタン	54
GAMMA(ガンマ補正)ボタン	56
HEIGHT ADJUST(高さ調整)ボタン	25
INPUT(入力)1端子	17
INPUT(入力)2端子	17
INPUT(入力)3端子	19
INPUT(入力)4端子	19
INPUT(入力)切り替えボタン	35
KEYSTONE(キーストーン補正)ボタン	38
MENU(メニュー)ボタン	42
MUTE(ミュート)ボタン	36
ON(電源入)ボタン	34
OSD表示	65
OUTPUT(出力)(INPUT1、2)端子	23
PDF	80
PinPボタン	57
RESIZE(画像サイズ)ボタン	52
RGBケーブル	17
RS-232C端子	22
Sharp Advanced Presentation Software	80
sRGB	60
STANDBY(スタンバイ)ボタン	37
UNDO(戻す)ボタン	39
USBケーブル	24
VOLUME(音量)ボタン	35

ア行

アジャスター	25
一覧表示	78
色温度	46
エアフィルター	82
映像左右反転/上下反転機能	71
映像信号方式	66
映像調整	46
オープニング画面	68
音声出力可変	63
音声出力固定	63
温度モニター	9
温度モニター表示	84

カ行

画像取込み	67
画面表示言語	36
カラー設定	60
乾電池	13
ガンマ補正	56
キーストーン補正	38
キーロックレベル	71
キャリングハンドル	10
吸気孔	10・81
クロック	48
コンピュータ音声ケーブル	17
コンピュータ画面の調整	48

サ行

彩度	61
色相	61
システムロック	75
自動電源オフ	70
自動同期調整	50
自動同期調整画面	50
自動入力サーチ	64
ズーム(表示イメージ)	53
ズームレバー	26
水平位相	48
スクイーズ(フル)	53
スピーカー	63
設定値初期化	77

タ行

ターゲット	60
調整に使用するボタン	42
デジタルシフト	39
電源コード	17
電源表示	34・84
天井取り付け	32
投映方式	71
同期調整	48
盗難防止用コネクター	11
特殊モード	49
ドットバイドット	52

ナ行

入力1~4モード	35
入力信号確認	49
入力信号タイプ	47

ハ行

排気孔	11・81
パスワード	73
パワーセーブ	69
ピクチャーインピクチャー	57
標準	52・53
フィルム	47
フォーカスリング	26
付属品	14
フル	52・53
プログレッシブモード	47
別売品	14

マ行

明度	61
無信号時画面	68
メモリー選択	49
メモリー保存	48

ラ行

ランプ	9・86
ランプ交換	9・86
ランプ残存率	70
ランプ表示	84
リモコン	12
リモコン受信部	13
リモートマウスレシーバー	24
レンズキャップ	10
レンズ調整	26

ワ行

ワイド	53
ワイヤードリモコン端子	23
ワイヤードリモコン入力端子	23
ワイヤレスプレゼンテーション機能	24

● 製品についてのお問い合わせは・・・

お客様相談センター

東日本相談室 TEL **043-297-4649** FAX **043-299-8280**

西日本相談室 TEL **06-6621-4649** FAX **06-6792-5993**

〈受付時間〉 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は・・・

[98ページ](#)記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/>

シャープ株式会社

本社
AVシステム事業本部

〒545-8522
〒329-2193

大阪市阿倍野区長池町22番22号
栃木県矢板市早川町174番地

TINS-B044WJZZ

03P10-JTM